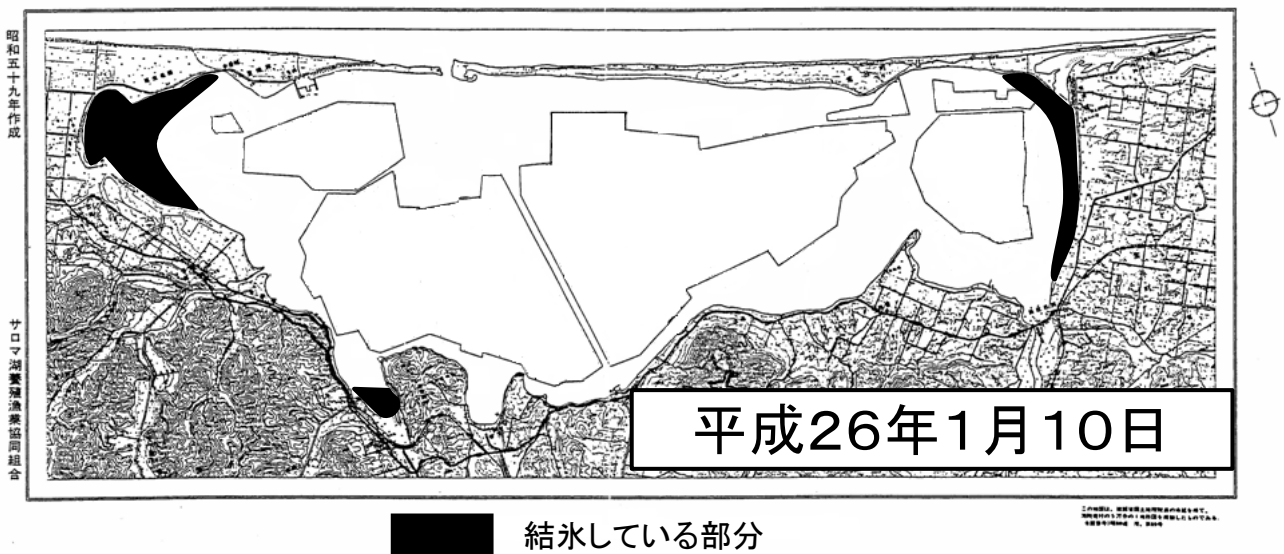


◎湖内結氷状況（1月10日）

1月10日に湖内結氷状況を確認しました。

その結果、下の図のようにテイネイの沿岸部、志撫子、赤川の沿岸部で結氷が始まりました。昨年は1月8日に全面結氷しましたが、それ以前の数年間は1月11日から19日の間に赤川が結氷していることから、結氷はやや遅れています。

サロマ湖結氷状況

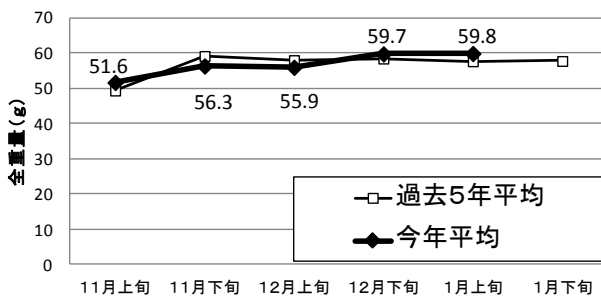


◎カキ成長モニタリング（1月10日）

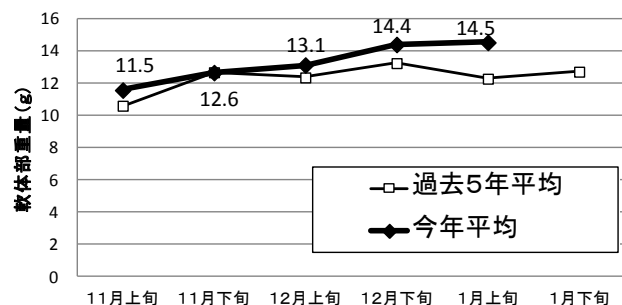
1月10日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均（57.6g）よりもやや重い、59.8g、軟体部重量については5年平均（12.2g）よりも重い14.5gでした。いずれも前回とほぼ同じ値でした。

身入り具合を5段階評価した熟度（良：5 4 3 2 1：悪）については依然として熟度5の割合が高く、良い身入り状況が続いていました。

1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量

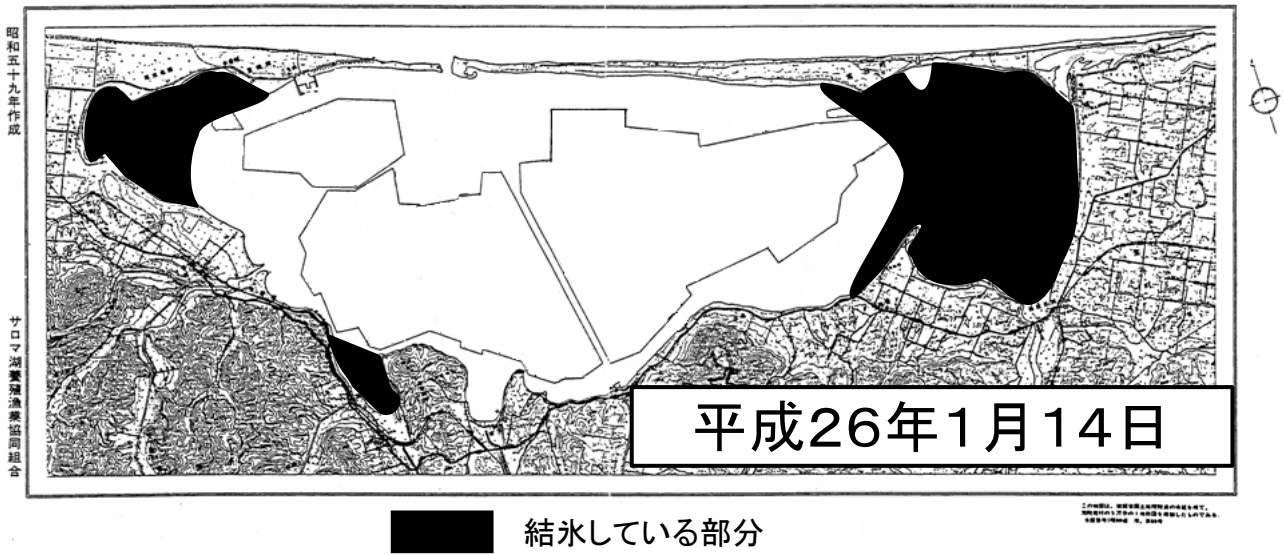


◎ 湖内結氷状況（1月14日）

1月14日に湖内結氷状況を確認しました。

その結果、1月10日には赤川の沿岸部で結氷していたのみでしたが、ここ数日の冷え込みで結氷域が一気に拡大し、赤川全域が結氷しました。

サロマ湖結氷状況



過去7年間の結氷状況を下の表に示しました。昨年は赤川の結氷が12月28日と極端に早かったものの、今年は例年並みの結氷状況になりました。

過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日
平成26年	1月14日			

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸（芭露付近）まで解氷した日

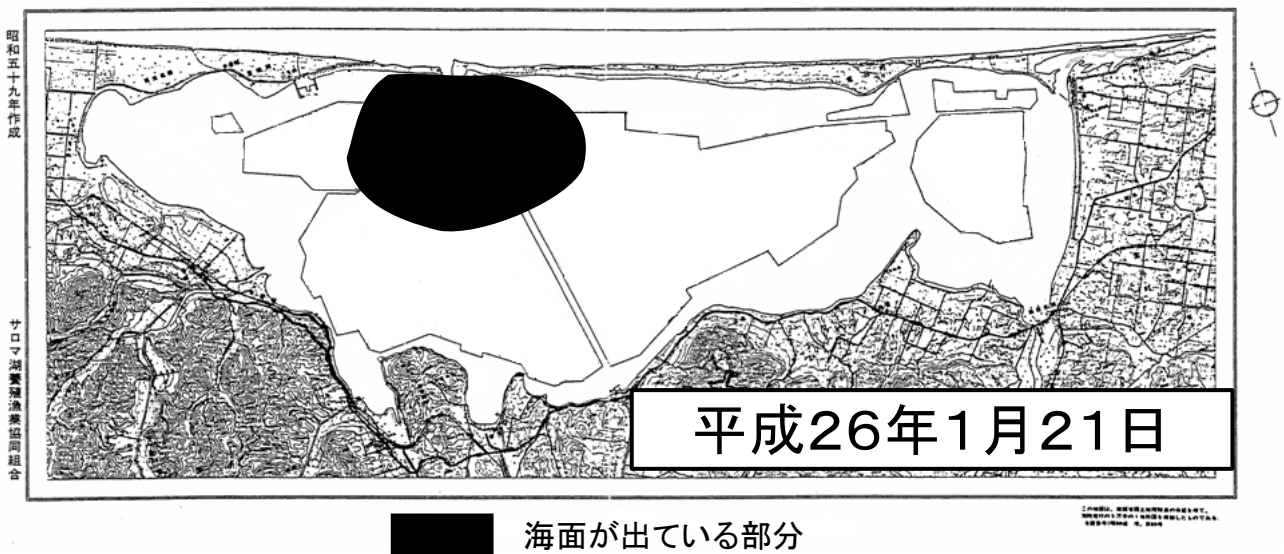
※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎湖内結氷状況（1月21日）

1月21日に湖内結氷状況を確認しました。

その結果、下の図のように第1湖口周辺で海面が出ている海域がありますが、ここ数日で完全結氷する見込みです。例年の完全結氷は1月末から2月初めにかけてなので、今年は結氷の開始がやや遅れていたものの、完全結氷はやや早めになりそうです。

サロマ湖結氷状況

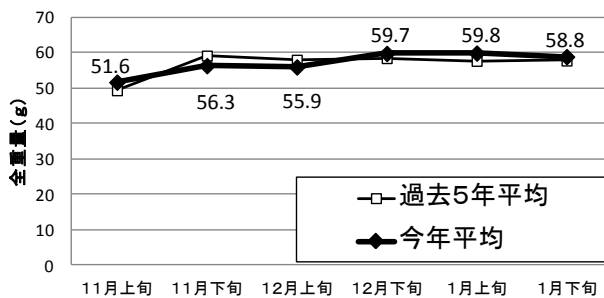


◎カキ成長モニタリング（1月21日）

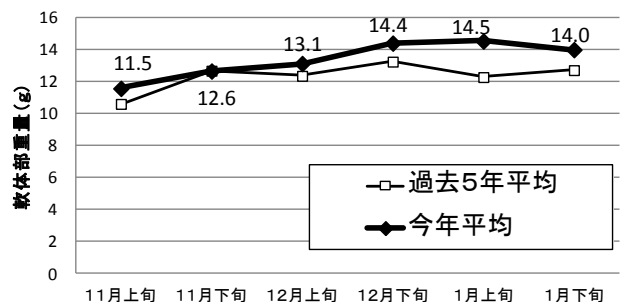
1月21日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均（57.7g）よりもやや重い、58.8g、軟体部重量については5年平均（12.7g）よりも重い14.0gで、前回よりもやや減少していました。

身入り具合を5段階評価した熟度（良：5 4 3 2 1：悪）については依然として熟度5の割合が高く、良い身入り状況が続いていました。

1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量



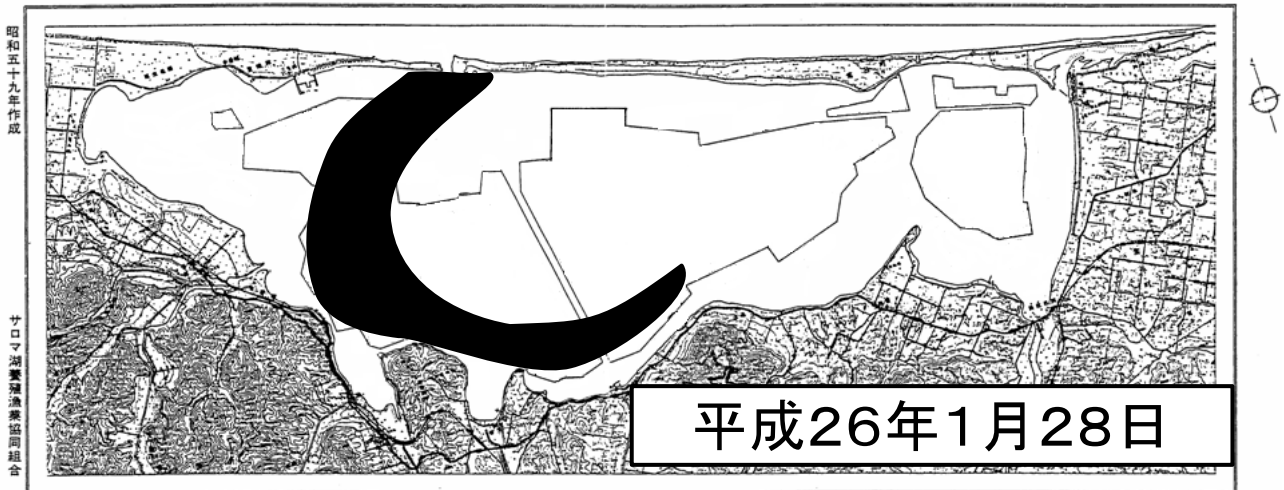
◎ 湖内結氷状況（1月28日）

1月23日と28日に湖内結氷状況を確認しました。

その結果、1月23日には第1湖口周辺まで結氷し、全面結氷しましたが、その後28日に確認したところ、ここ数日のプラスの気温と風で氷が解けて海面が出ていました。

また、その他の海域でも上水が上がり、氷がゆるんでいましたので、氷上作業を行う際は十分注意して下さい。

サロマ湖結氷状況



■ 海面が出ている部分

過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日
平成26年	1月14日			

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸（芭露付近）まで解氷した日

※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

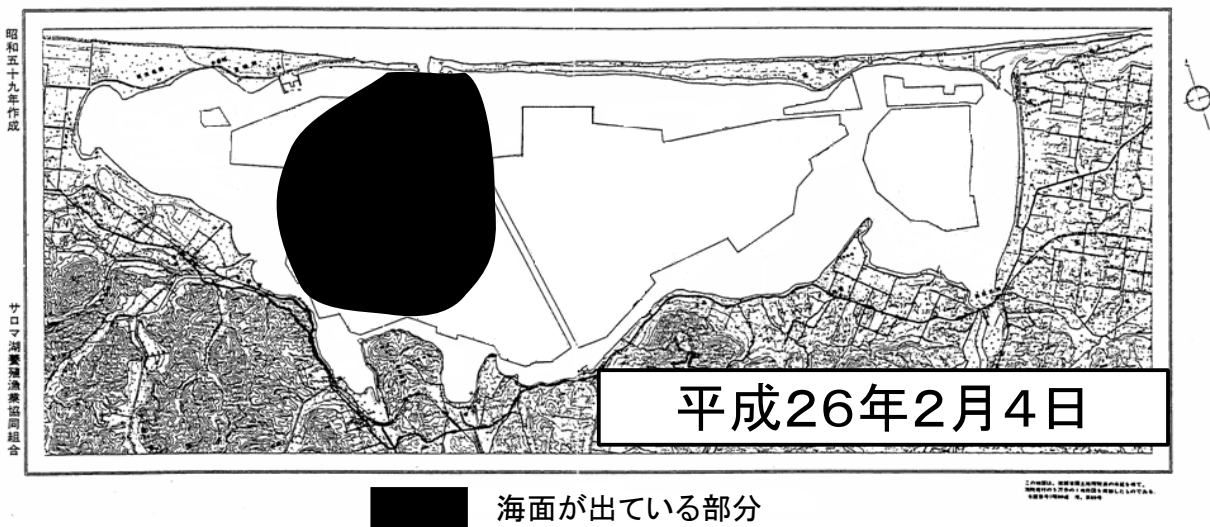
◎ 湖内結氷状況（2月4日）

2月4日に湖内結氷状況を確認しました。

その結果、先日のプラスの気温と風で一度結氷した海域も解けて海面が出ていました。

また、その他の海域でも氷がゆるんでいましたので、氷上作業を行う際は十分注意して下さい。

サロマ湖結氷状況

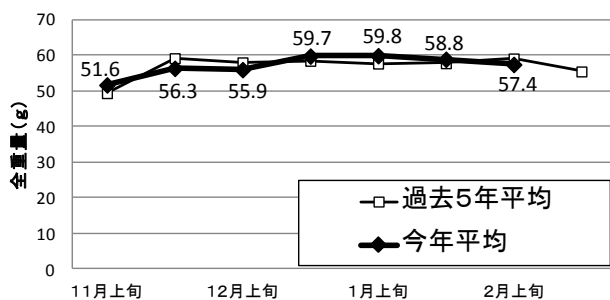


◎ カキ成長モニタリング（2月4日）

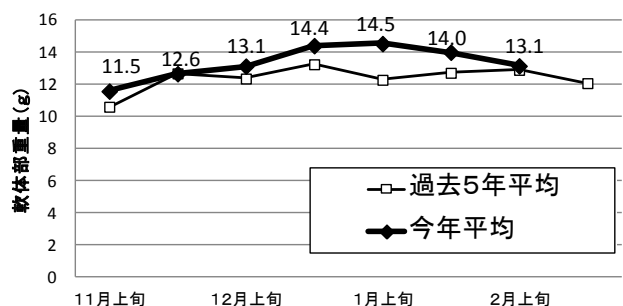
2月4日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均（59.0g）よりもやや軽い、57.4g、軟体部重量については5年平均（12.9g）とほぼ同じ13.1gで、前回よりもやや減少していました。

身入り具合を5段階評価した熟度（良：5 4 3 2 1：悪）については依然として熟度5の割合が高く、良い身入り状況が続いていますが、徐々に身が痩せてきていました。

1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量

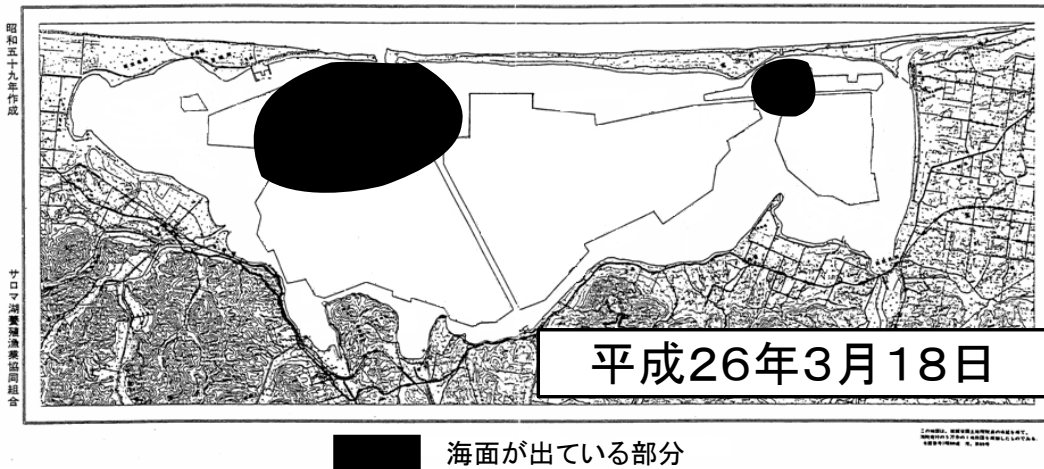


◎ サロマ湖解氷状況（去年並の遅い解氷）

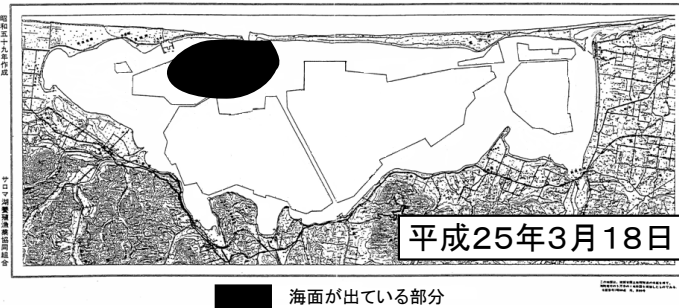
3月18日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。

その結果、第1湖口周辺と第2湖口周辺で解氷域が広がってきました。全面解氷が4月13日と遅かった去年と同様の解氷状況となっており、平年並みの平成23年よりは遅い解氷となっています。

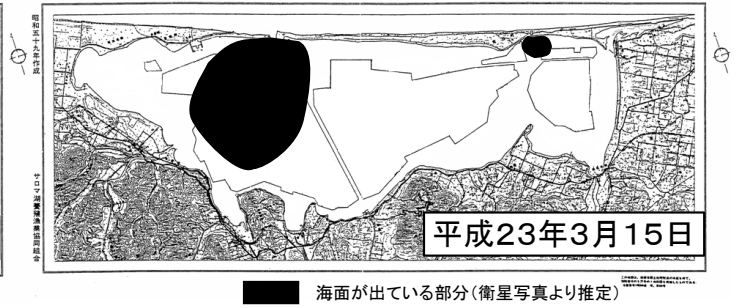
サロマ湖結氷状況(平成26年)



サロマ湖結氷状況(平成25年)



サロマ湖結氷状況(平成23年)



過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日
平成26年	1月14日	2月14日		

※赤川結氷日: 赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日: 第1湖口周辺が大きく解氷し対岸(芭露付近)まで解氷した日

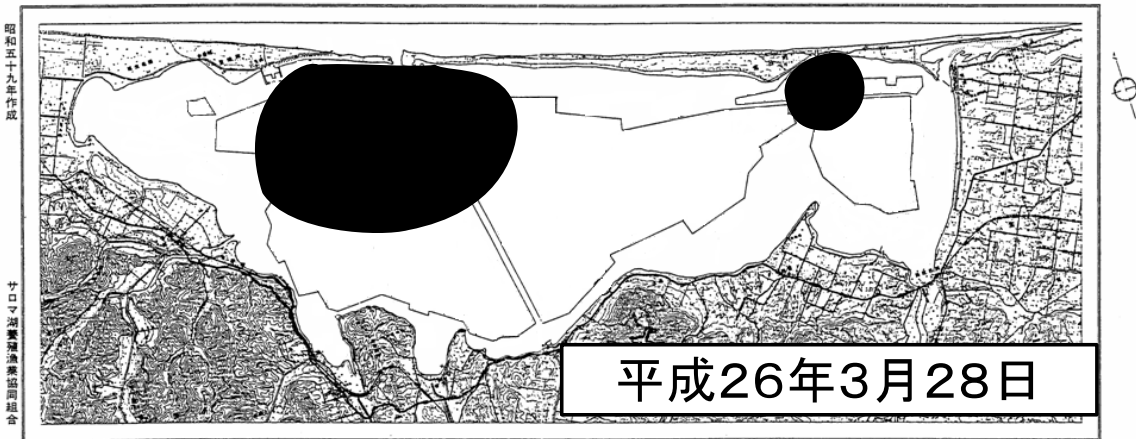
※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎ サロマ湖解氷状況（去年並の解氷）

3月28日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。

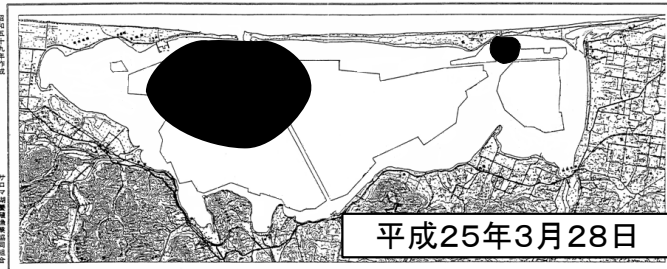
その結果、第1湖口周辺と第2湖口周辺で解氷域が広がってきました。全面解氷が4月13日だった去年と同様の解氷状況となっており、平年並みの平成23年よりは遅い解氷となっています。

サロマ湖結氷状況(平成26年)



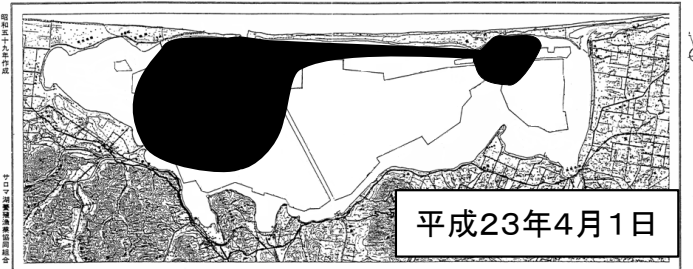
■ 海面が出ている部分

サロマ湖結氷状況(平成25年)



■ 海面が出ている部分

サロマ湖結氷状況(平成23年)



■ 斜線部は海面が出ている部分

過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日
平成26年	1月14日	2月14日		

※赤川結氷日: 赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日: 第1湖口周辺が大きく解氷し対岸(芭露付近)まで解氷した日

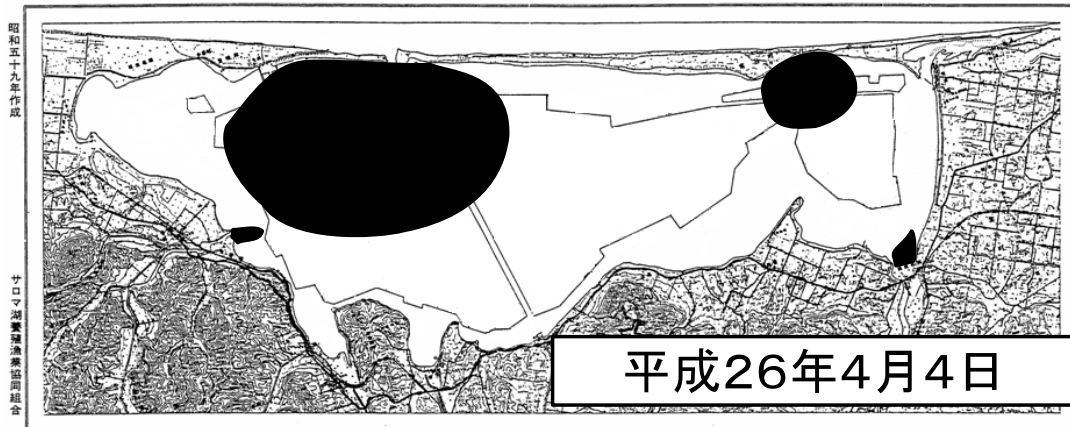
※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎ サロマ湖解氷状況（去年よりもやや遅い）

4月4日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。

その結果、第1湖口周辺と第2湖口周辺で解氷域がさらに広がってきましたが、去年よりもやや遅い解氷状況となっています。みちしお8号による氷割り作業は、芭露、床丹航路、富富士航路に切れ目を入れましたが、氷が厚いため来週から実施する見込みです。

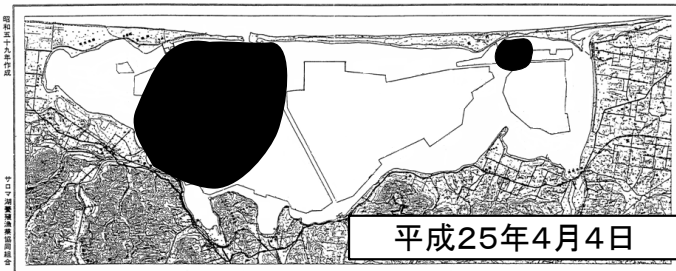
サロマ湖結氷状況(平成26年)



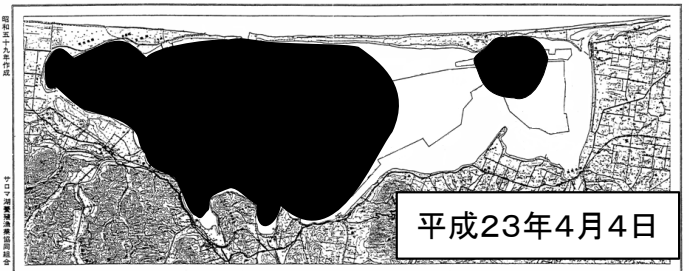
■ 海面が出ている部分

サロマ湖結氷状況(平成25年)

サロマ湖結氷状況(平成23年)



■ 海面が出ている部分



■ 海面が出ている部分

過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日	施設浮上開始	4/1現在積雪 (佐呂間)
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日	4月17日前後	10cm
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日	4月10日前後	28cm
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日	4月17日前後	38cm
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日	4月18日前後	33cm
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日	4月29日前後	59cm
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日	4月20日前後	30cm
平成26年	1月14日	2月14日				55cm

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸(芭露付近)まで解氷した日

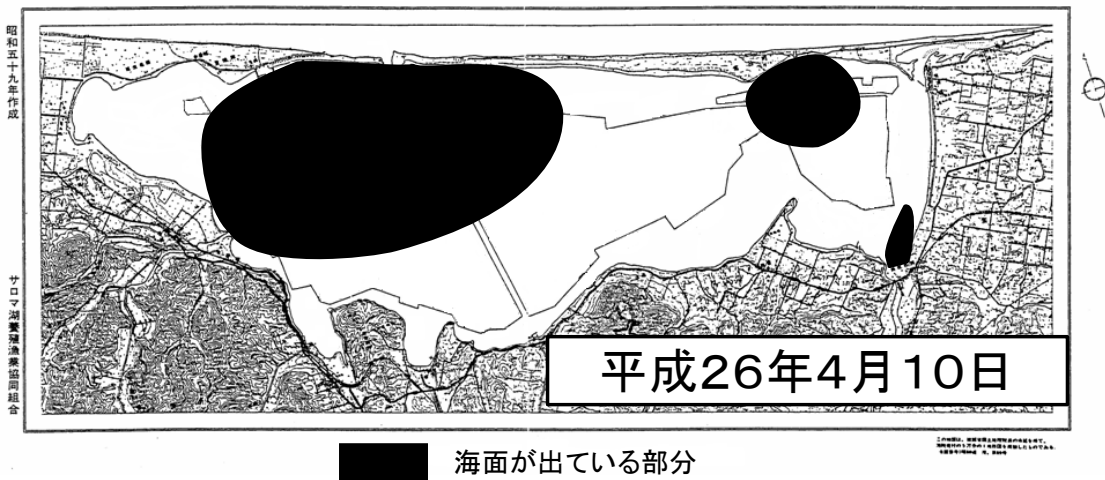
※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎ サロマ湖解氷状況（解氷は去年よりも遅い）

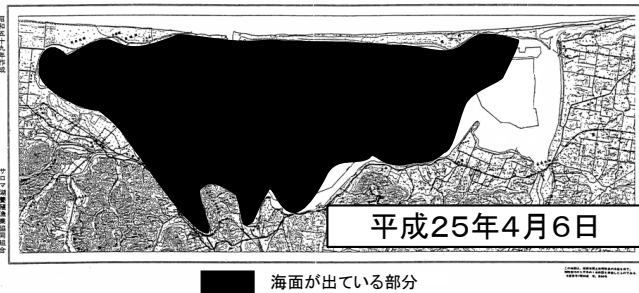
4月10日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。その結果、第1湖口周辺で解氷域がさらに広がり対岸の芭露まで解氷しましたが、去年よりも遅い解氷状況となっています。

みちしお8号による氷割り作業は、芭露漁港、若里漁港で実施しましたが、その後、氷が厚く硬いため富武士に入港できませんでした。気温が低いので解氷が進まないことが予想され、時化の予報が出ていることから、一時作業を中断しています。

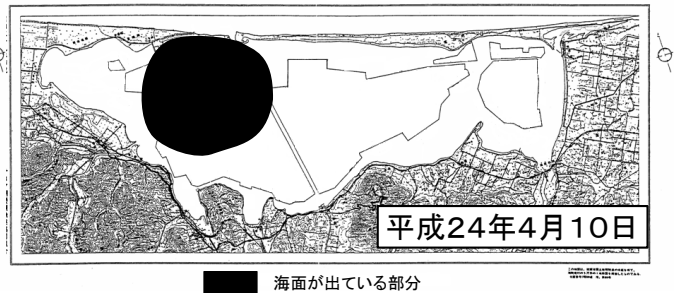
サロマ湖結氷状況(平成26年)



サロマ湖結氷状況



サロマ湖結氷状況



過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日	施設浮上開始	4/10現在積雪 (佐呂間)
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日	4月17日前後	0cm
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日	4月10日前後	0cm
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日	4月17日前後	17cm
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日	4月18日前後	0cm
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日	4月29日前後	48cm
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日	4月20日前後	0cm
平成26年	1月14日	2月14日	4月7日			50cm

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸（芭露付近）まで解氷した日

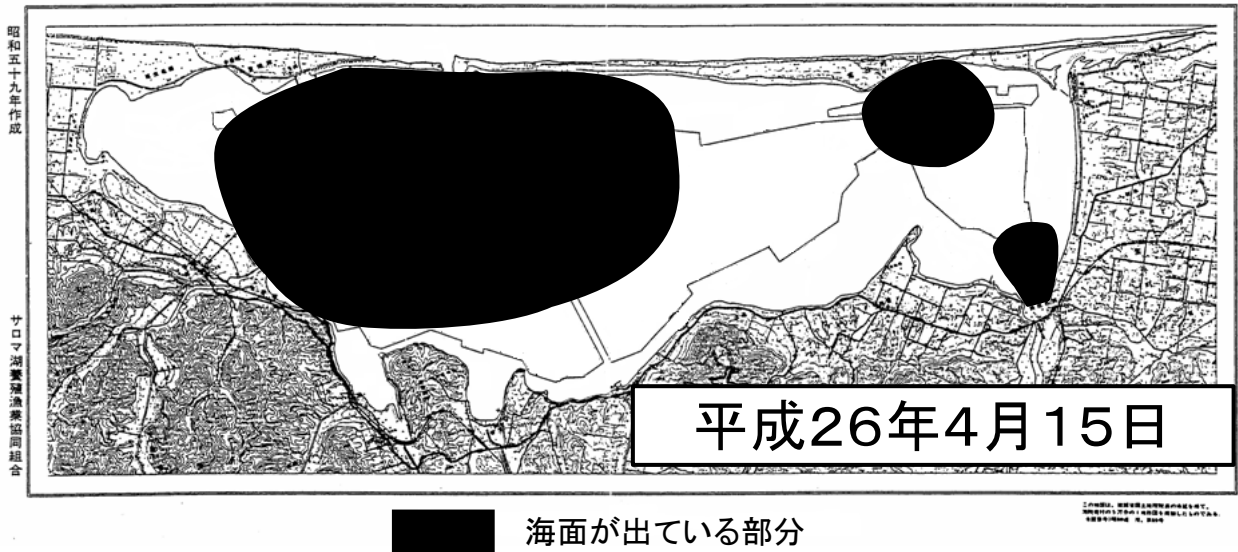
※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎ サロマ湖解氷状況（解氷は去年よりも遅く平成24年並）

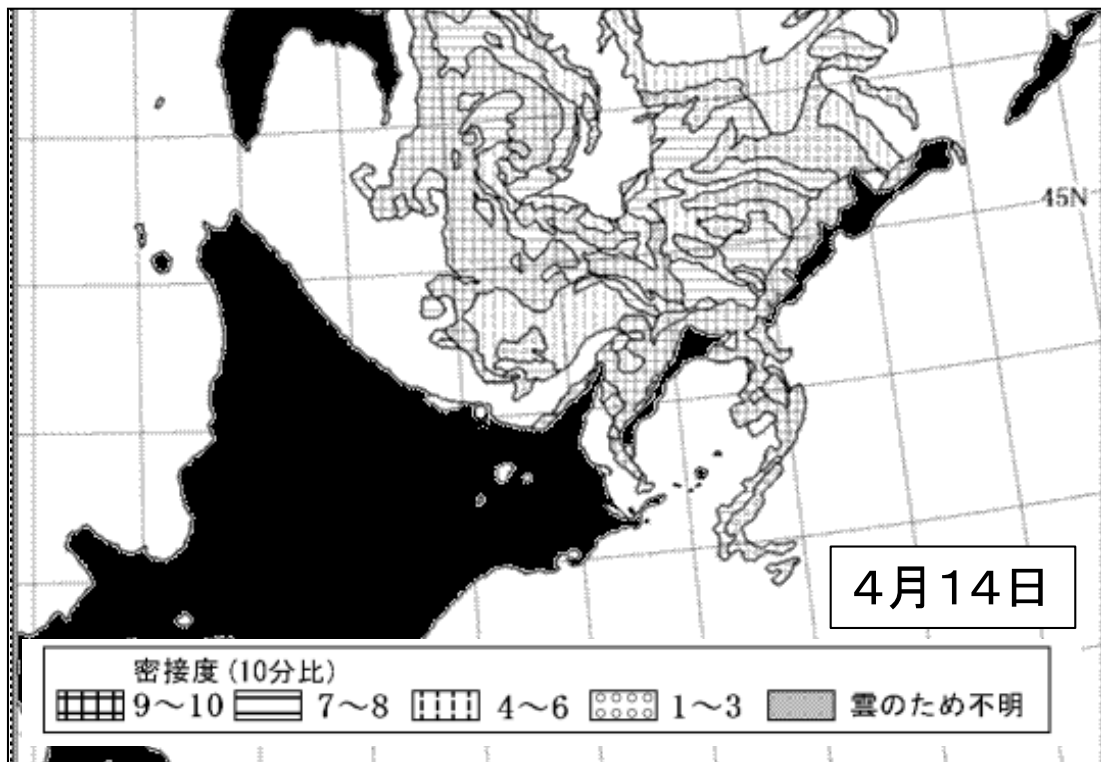
4月15日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。その結果、氷は幾分柔らかくなっていますが、去年よりも遅く平成24年並の解氷状況となっています。

みちしお8号による氷割り作業は、本日、富富士で実施しました。明日はワッカを砕氷しますが、まだ氷が硬いことから赤川方面へは氷の状況を見て実施します。

サロマ湖結氷状況（平成26年）



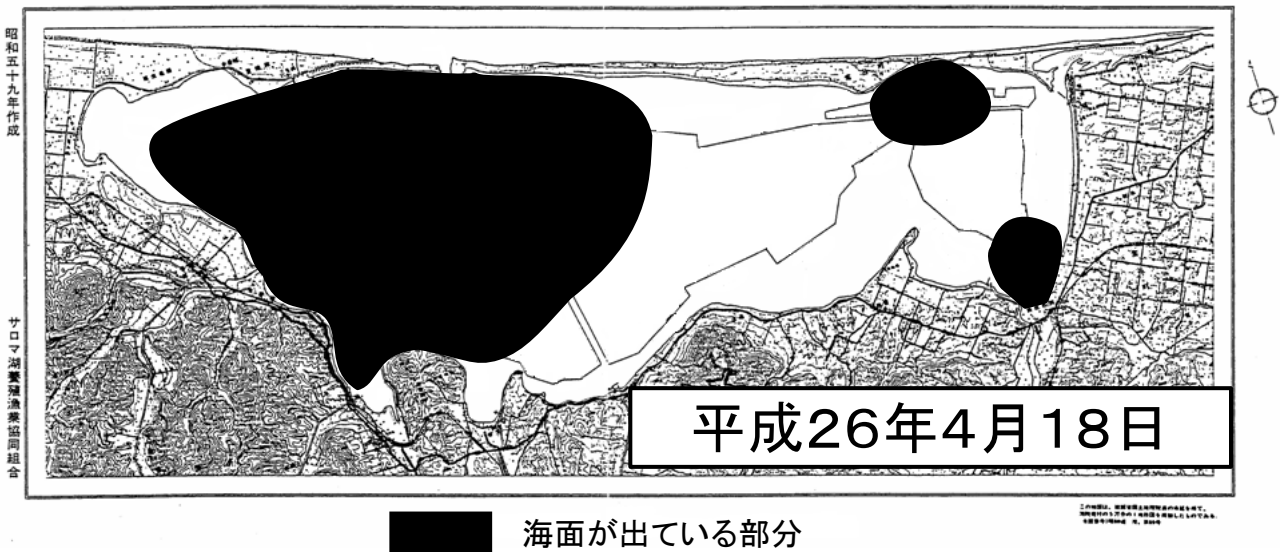
◎ 流水状況（沖合約20kmに流水あり）



◎ サロマ湖解氷状況（解氷は平成 2 4 年よりも更に遅い）

4 月 1 8 日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。その結果、氷は幾分柔らかくなり芭露、志撫子海域で解氷しましたが、富武より東側でまだ解氷していません。ワッカの氷は柔らかくなっていますが、赤川では依然として厚く硬い氷です。

サロマ湖結氷状況（平成26年）



過去4年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日	施設浮上開始	4/15現在積雪 (佐呂間)
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日	4月18日前後	8日に0cm
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日	4月29日前後	15cm
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日	4月20日前後	5日に0cm
平成26年	1月14日	2月14日	4月7日			37cm

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日
 ※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸（芭露付近）まで解氷した日
 ※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

◎ 砕氷作業状況（明日、栄浦とトウフツの砕氷作業）

今日のみちしお 8 号による氷割り作業は、ワッカ方面に筋を入れる作業を行った後、栄浦へ入港しました。第 2 湖口までは比較的柔らかい氷だったものの、第 2 湖口からは非常に硬く、福島の前から栄浦まで砕氷に 6 時間を要しました。

明日は栄浦漁港とトウフツの砕氷作業を行い、その後時間の許す限り赤川の氷に筋を入れる作業を行います。

赤川の氷が硬いことから浜佐呂間漁港への入港は 2 0 日以降になる見込みです。

◎ サロマ湖解氷状況（解氷は平成24年よりも更に遅い）

4月21日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。その結果、解氷域が第2湖口までつなげましたが、風で移動した氷が第1湖口沖に停滞していました。

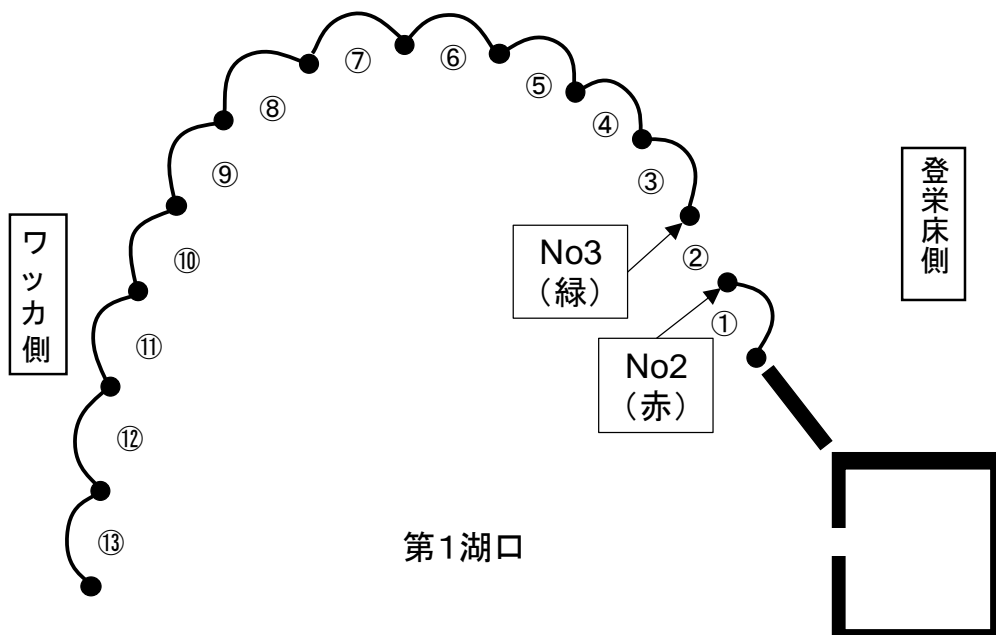
サロマ湖結氷状況（平成26年）



◎ アイスブーム取り外し状況（登栄床側1箇所のみ取り外し）

第1湖口のアイスブームは、沖合に流氷があるものの予報ではサロマ湖沿岸に接岸しないこと、すぐに取り付けが可能な場所であることなどから、本日登栄床側2番目を取り外しました。その他のアイスブームについては未定です。

現在の第1湖口アイスブーム設置状況

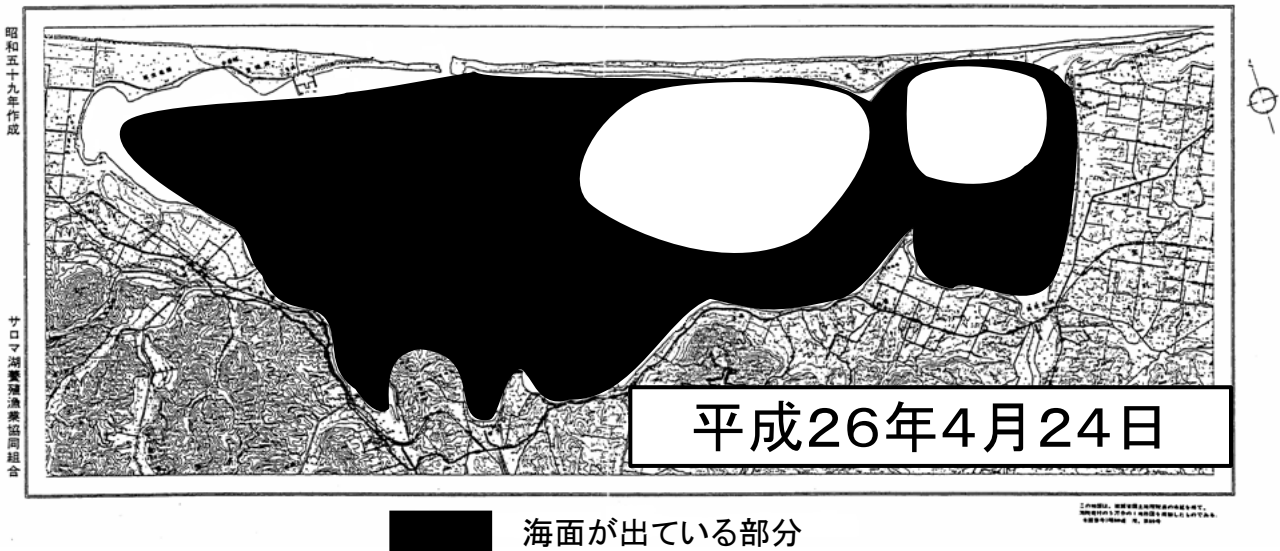


◎ サロマ湖解氷状況（解氷は平成24年よりも更に遅い）

4月24日にサロマ湖の解氷状況を確認しました。

その結果、湖内全域でほぼ沿岸からは氷が離れましたが、赤川と幌岩沖に柔らかくなっているものの大きな氷の塊がありました。これは、昨日、登栄床沖にあった塊が流れたものと、赤川の氷とみられます。また、午前中の南風でテイネイから中番屋などにかけて砕け氷が寄せられていました。

サロマ湖結氷状況（平成26年）



過去7年間のサロマ湖結氷状況

	赤川結氷日	全面結氷日	解氷開始日	全面解氷日	施設浮上開始	積雪0cmの日 (佐呂間)
平成20年	1月15日	1月22日	3月22日	4月8日	4月17日前後	4月4日
平成21年	2月20日	全面結氷せず	3月10日	3月27日	4月10日前後	4月8日
平成22年	1月19日	2月4日	3月15日	4月12日	4月17日前後	4月12日
平成23年	1月11日	1月28日	3月20日	4月9日	4月18日前後	4月8日
平成24年	1月11日	2月3日	4月10日	4月20日	4月29日前後	4月18日
平成25年	12月28日	1月8日	4月4日	4月13日	4月20日前後	4月5日
平成26年	1月14日	2月14日	4月7日			4月24日

※赤川結氷日：赤川のほぼ全域が結氷した最初の日

※解氷開始日：第1湖口周辺が大きく解氷し対岸（芭露付近）まで解氷した日

※平成21年は2分の1結氷せず、3月2日が最大

養殖センターだより (第14号)

平成26年4月26日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

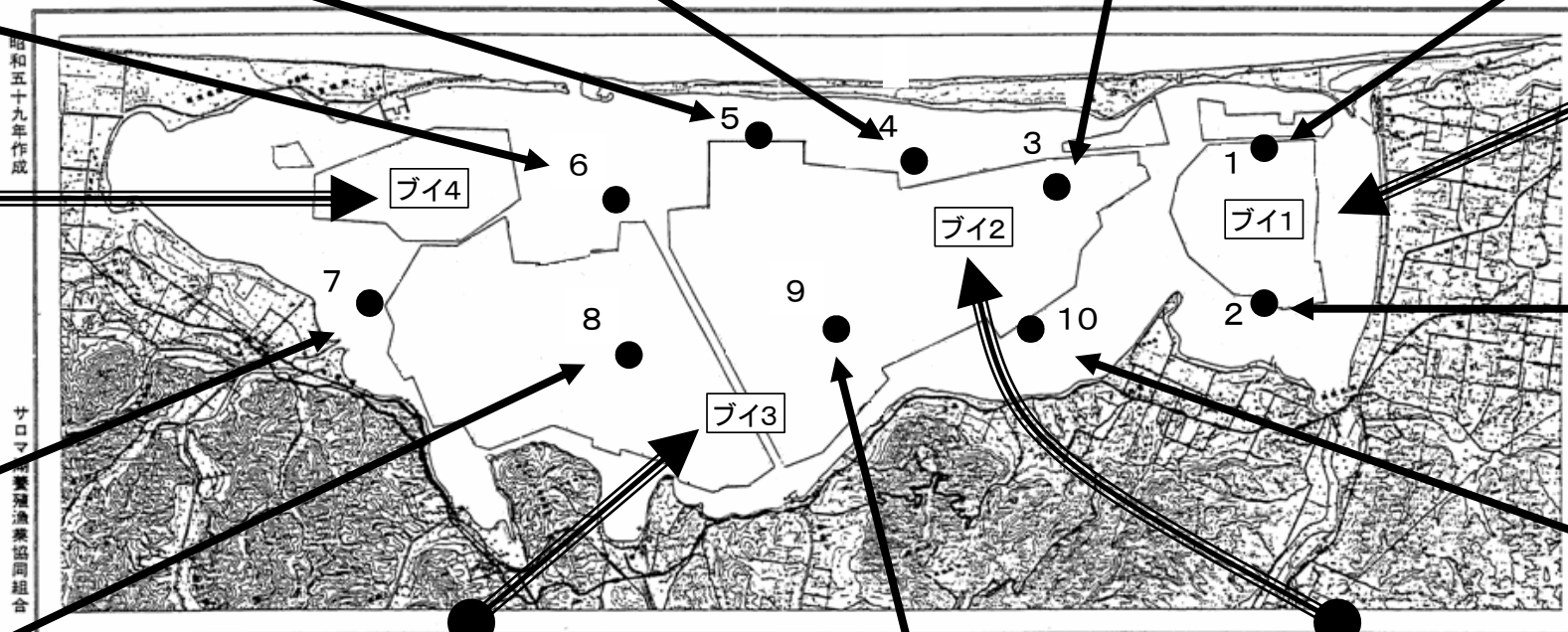
- ・ 4月26日午前中には三里沖に小型の氷の塊がありますが、まもなく消えるものと思われます。
- ・ 本日、湖内14点で塩分調査を実施しました。
- ・ サロマ湖全域で水深2~3m位まで塩分30以下でした。
- ・ 芭露川、佐呂間別川のすぐ沖では塩分が10以下でした。

<水温>

- ・ 水温は、表層で4.3~7.0℃、底層で-0.4~1.1℃でした。
- ・ 去年の4月26日の水温は表層で5.6~7.0℃、底層で3.1~6.3℃でした。
- ・ 透明度は0.2~2.1mで、佐呂間別川、芭露川の付近で低い値でした。
- ・ 次回の調査は28日の予定です。

6			5			4			3			1			ブイ1		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0 m	6.9	17.1	0 m	7.0	9.9	0 m	6.0	15.9	0 m	5.2	16.8	0 m	4.3	13.0	0 m	5.9	10.8
1 m	6.6	24.1	1 m	5.6	22.8	1 m	5.5	23.3	1 m	3.9	25.9	1 m	3.9	20.3	1 m	4.0	27.0
2 m	3.9	28.9	2 m	3.6	28.8	2 m	3.6	28.0	2 m	1.8	29.7	2 m	2.4	29.1	2 m	1.7	29.8
3 m	2.5	30.1	3 m	2.2	30.1	3 m	1.9	30.2	3 m	1.3	30.4	3 m	1.4	29.9	3 m	1.1	30.4
5 m	1.4	30.9	5 m	1.3	30.8	5 m	0.7	30.7	5 m	0.4	30.8	5 m	0.8	30.5	5 m	0.4	30.8
底	1.0	31.1	底	0.5	31.0	底	0.2	31.0	底	-0.3	31.3	底	-0.1	31.6	底	0.0	31.5

ブイ4		
水深	水温	塩分
0 m	6.8	16.1
1 m	4.8	25.9
2 m	3.5	29.1
3 m	3.2	29.9
5 m	2.7	31.1
底	0.8	31.5



2		
水深	水温	塩分
0 m	5.1	7.6
1 m	4.4	23.6
2 m	2.1	29.2
3 m	1.1	30.2
5 m	0.3	30.7
底	0.1	31.3

7			8			ブイ3			9			ブイ2			10		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0 m	7.0	0.3	0 m	5.9	17.9	0 m	5.6	17.8	0 m	5.3	22.7	0 m	5.3	16.1	0 m	5.1	21.1
1 m	5.8	26.4	1 m	5.9	24.9	1 m	5.5	26.8	1 m	4.4	27.5	1 m	4.4	25.5	1 m	4.0	27.5
2 m	4.6	29.0	2 m	4.6	28.3	2 m	2.9	29.5	2 m	1.5	30.5	2 m	2.6	29.1	2 m	3.2	29.2
3 m	3.7	29.7	3 m	2.5	30.0	3 m	1.6	30.2	3 m	1.3	30.7	3 m	1.0	30.4	3 m	2.2	29.9
5 m	2.1	30.5	5 m	1.1	30.9	5 m	0.8	30.9	5 m	1.0	30.9	5 m	0.4	30.9	5 m	0.9	30.7
底	1.1	31.1	底	0.2	31.7	底	0.2	31.5	底	-0.4	31.9	底	-0.3	31.9	底	-0.1	31.2

養殖センターだより (第15号)

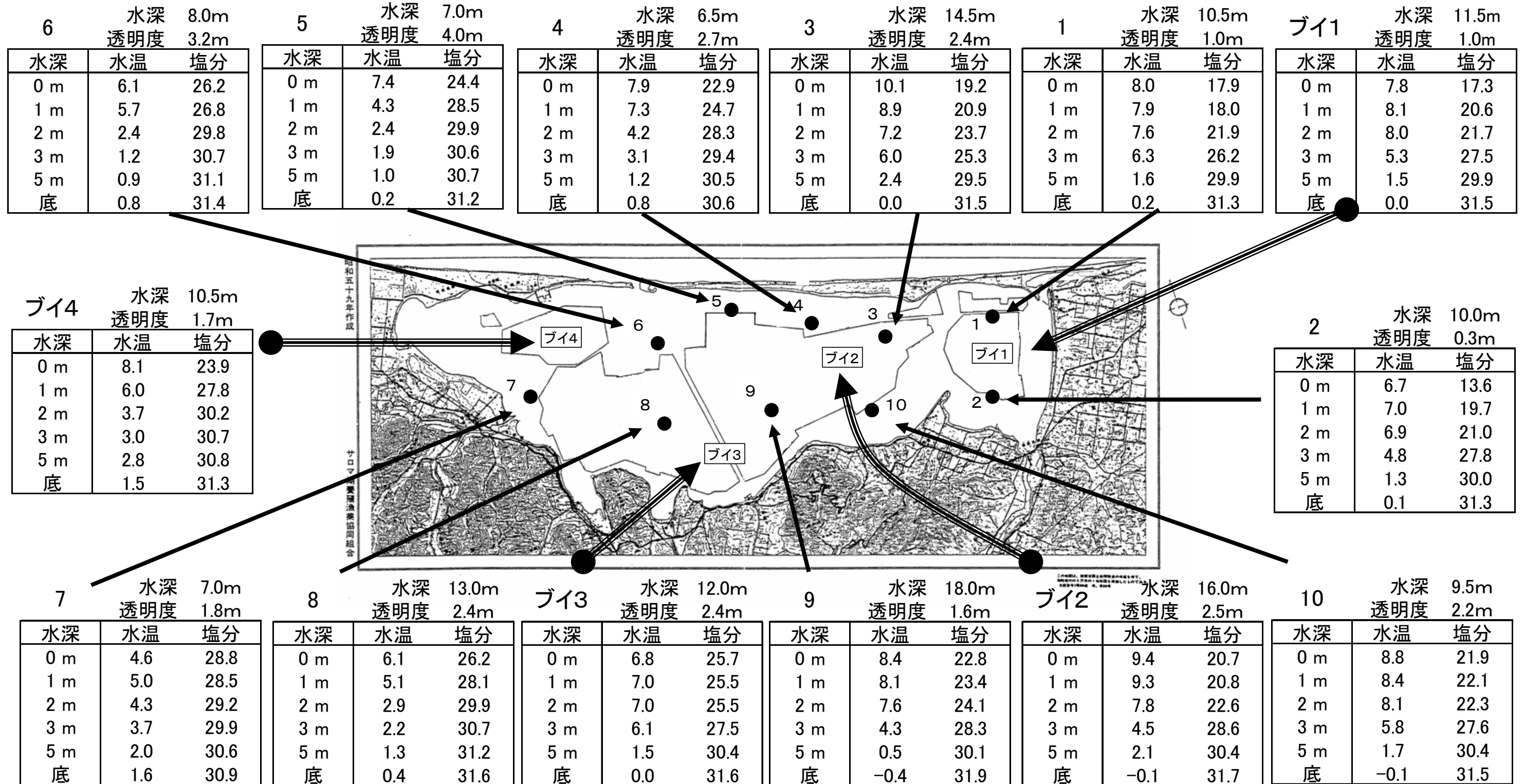
平成26年4月28日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- ・サロマ湖は4月26日に海明けしました。
- ・本日、湖内14点で塩分調査を実施しました。
- ・サロマ湖東部で水深5m位、西部で3m位まで塩分30以下でした。

<水温>

- ・水温は表層で10℃を超えた場所もありましたが(4.6~10.1℃)、5m以下では急激に低下し(0.5~2.8℃)、底層では-0.4~1.6℃でした。
- ・前回(4月26日)の水温は表層で4.3~7.0℃、底層で-0.4~1.1℃でした。
- ・透明度は0.3~4.0mで、前回(0.2~2.1m)より上昇しています。
- ・次回の調査は30日の予定です。

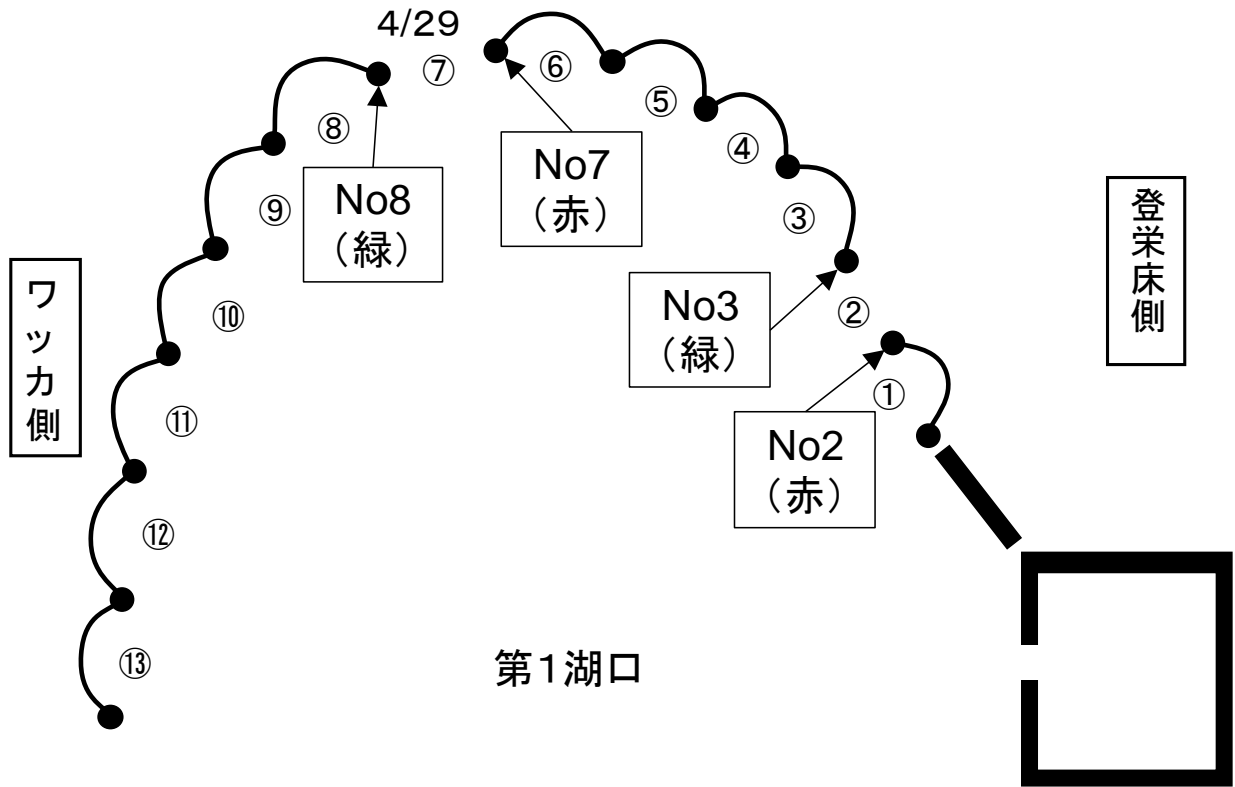


◎ アイスブーム取り外し状況（登栄床側 1箇所のみ取り外し）

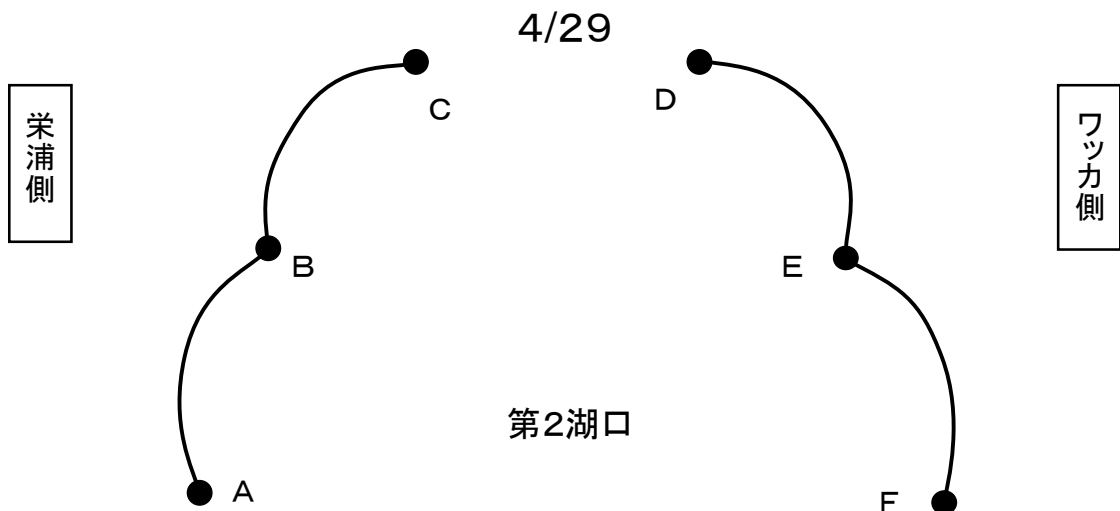
第1湖口のアイスブームは、明日29日に7番を撤去し、標識灯は下記の通り変更する予定です。

第2湖口は正面のCD間の1箇所を撤去する予定です。

第1湖口アイスブーム撤去予定



第2湖口アイスブーム撤去予定



養殖センターだより (第16号)

平成26年4月30日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

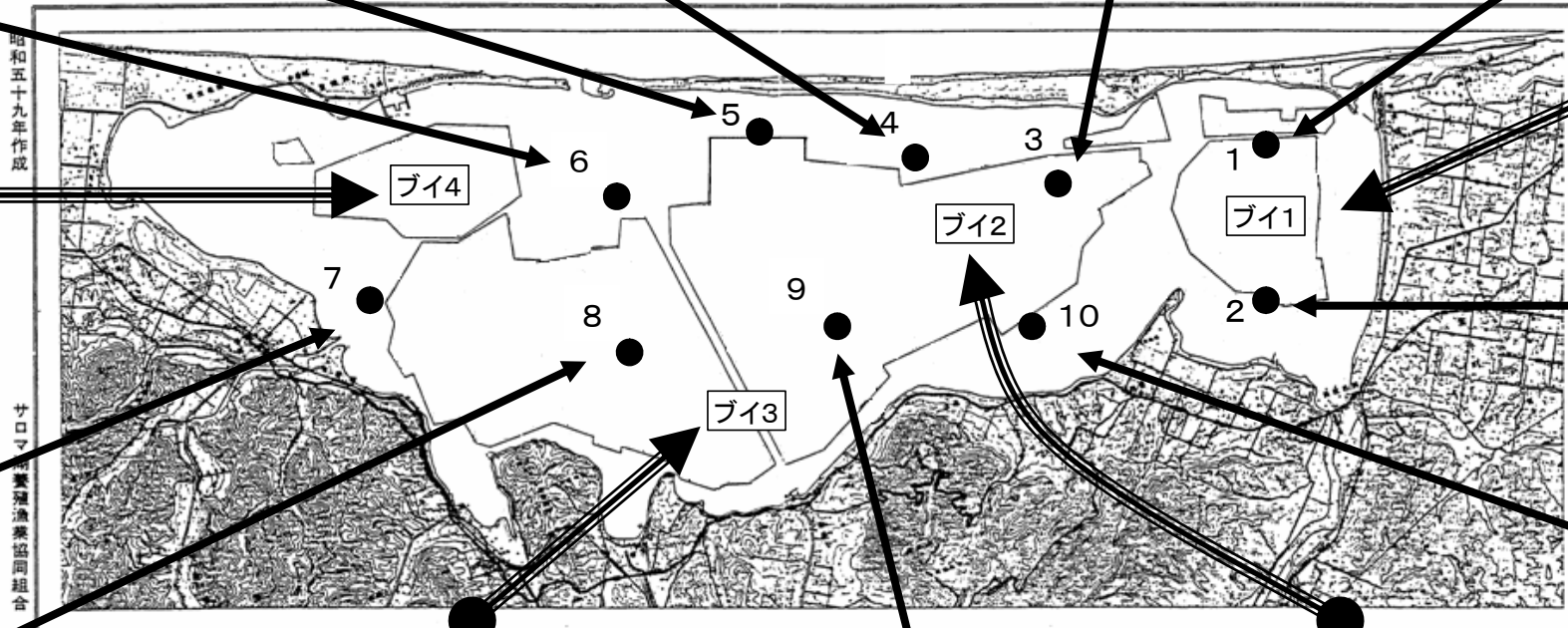
- ・本日、湖内14点で塩分調査を実施しました。
- ・サロマ湖全域で水深3m位まで塩分30以下でした。
- ・前回と比較して、表面の低塩分水が下の層まで拡散している状況です。

<水温>

- ・水温は、表層で5.4~9.4℃、底層で-0.4~2.9℃でした。
- ・去年の4月30日の水温は表層で4.0~5.6℃、底層で4.4~5.4℃でした。
- ・透明度は1.5~2.8mで、前回より上昇している地点が多くみられました。
- ・次回の調査は5月1日の予定です。

6			5			4			3			1			ブイ1		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0m	6.8	25.0	0m	8.9	20.2	0m	7.9	21.0	0m	6.7	22.6	0m	6.4	20.8	0m	7.3	18.9
1m	6.4	25.7	1m	8.6	20.7	1m	6.3	26.0	1m	6.4	26.0	1m	6.3	20.9	1m	5.7	26.9
2m	6.1	28.0	2m	7.3	26.6	2m	4.7	28.2	2m	4.2	28.6	2m	5.2	28.9	2m	3.6	29.2
3m	5.5	29.9	3m	5.4	28.8	3m	4.1	29.2	3m	3.3	29.7	3m	2.1	30.3	3m	1.9	30.1
5m	4.1	30.8	5m	2.5	30.1	5m	2.4	30.2	5m	1.7	30.5	5m	1.1	31.2	5m	1.0	30.7
底	2.3	31.3	底	0.7	31.0	底	0.9	30.8	底	-0.1	31.7	底	0.1	31.4	底	0.1	31.5

ブイ4		
水深	水温	塩分
0m	7.4	26.0
1m	7.1	26.3
2m	5.9	28.8
3m	5.5	29.4
5m	3.0	30.6
底	2.9	30.7



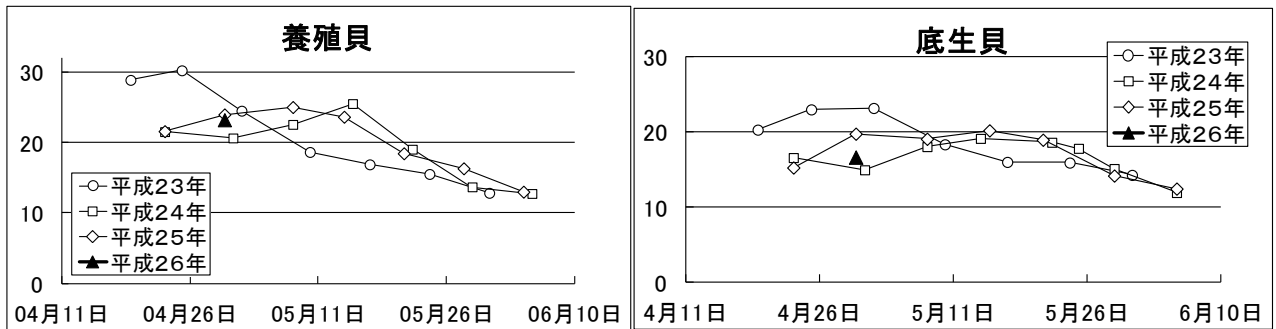
2		
水深	水温	塩分
0m	7.4	13.2
1m	5.2	27.8
2m	3.8	29.1
3m	2.8	29.8
5m	0.6	30.6
底	0.1	31.3

7			8			3			9			ブイ2			10		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0m	7.2	23.0	0m	5.4	27.2	0m	6.7	22.6	0m	8.7	17.7	0m	7.2	19.9	0m	9.4	19.7
1m	6.6	27.2	1m	5.3	27.4	1m	6.4	26.0	1m	8.4	23.2	1m	7.1	24.7	1m	8.4	23.8
2m	5.4	29.3	2m	4.6	28.7	2m	4.2	28.6	2m	5.1	28.1	2m	4.8	28.5	2m	5.0	28.0
3m	4.3	29.9	3m	4.2	29.2	3m	3.3	29.7	3m	3.9	29.8	3m	3.1	30.0	3m	3.8	29.3
5m	2.9	30.6	5m	3.8	30.9	5m	1.7	30.5	5m	2.6	30.6	5m	2.1	30.5	5m	2.4	29.9
底	2.2	30.9	底	1.7	31.2	底	-0.1	31.7	底	-0.4	31.8	底	-0.2	31.7	底	0.9	30.7

◎ 生殖巣熟度調査

4月30日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。これはホタテの生殖巣の重さと軟体部の重さの関係から、産卵時期を推定する調査です。

その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は 23.2（幌岩、床丹の平均）、底生貝は 16.6（第1湖口、ワッカ、芭露地区の平均）で、養殖貝は昨年と同じくらいの値でしたが、底生貝は低い値でした。産卵はこれからの見込みです。



◎成長モニタリング調査結果（3年貝は小型、2年貝は平年並み）

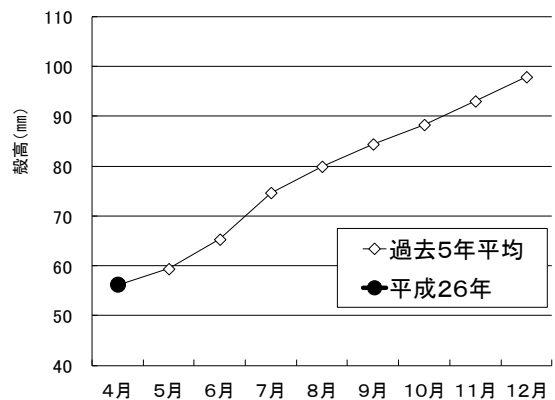
4月30日に養殖ホタテガイの成長モニタリング調査を行いました。その結果、3年貝の成長は、殻高については過去10年平均並の成長を示していましたが、重量と貝柱が低い値を示していました。

2年貝（ポケット入れ替え前）は殻高、重量で過去5年と比較すると、ほぼ平年並みでした。

養殖3年貝のモニタリング調査結果

	4月(今回)	10年平均
殻高(mm)	99.5	99.5
重量(g)	134.4	143.4
貝柱(g)	14.0	15.5
歩留まり(%)	10.3	10.7

2年貝の成長状況(殻高)



◎ 水温観測ブイについて

4月29日に水質観測ブイ5基（赤川、幌岩、富富士、三里、ブイ5）を投入しました。

ただし、富富士沖ブイはデータが表示されていない時は、養殖組合か佐呂間組合へお問い合わせ下さい。

養殖センターだより (第18号)

平成26年5月1日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

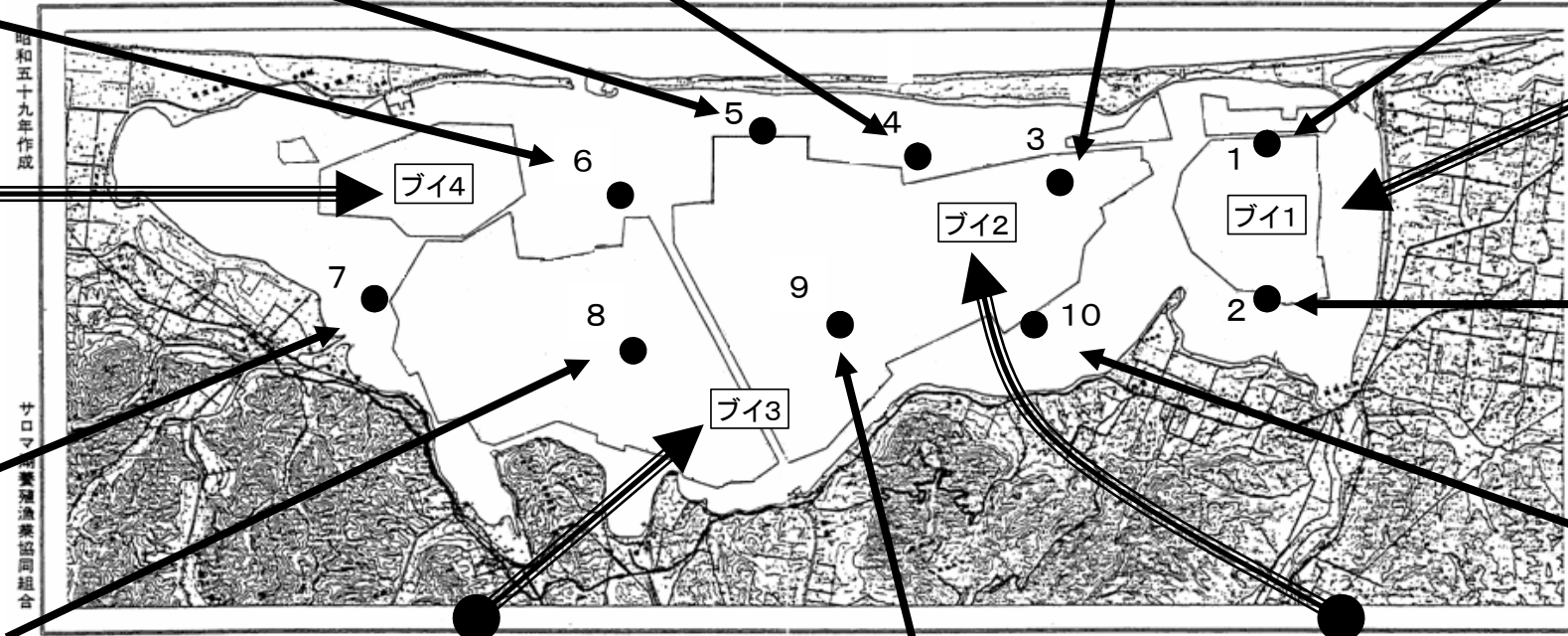
- ・本日、湖内14点で塩分調査を実施しました。
- ・サロマ湖全域で水深3~5m位まで塩分30以下でした。
- ・幌岩沖(調査点10)では8m、ブイ2では7mまで低塩分水が広がっていました。

<水温>

- ・水温は、表層で2.8~8.9℃、底層で-0.4~4.7℃でした。西側に比べて東側で低い傾向にあります。
- ・透明度は1.5~3.0mで、前回より上昇している地点が多くみられました。
- ・次回の調査は5月2日の予定です。

6			5			4			3			1			ブイ1		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0m	7.4	26.5	0m	7.1	26.2	0m	4.9	28.6	0m	4.8	28.8	0m	6.0	25.6	0m	5.4	26.4
1m	7.1	26.7	1m	6.8	26.6	1m	4.9	28.6	1m	4.8	28.8	1m	6.0	26.0	1m	4.4	28.1
2m	7.0	27.0	2m	5.4	27.9	2m	4.7	28.8	2m	4.8	28.8	2m	4.5	28.1	2m	3.4	29.4
3m	6.3	27.9	3m	5.1	28.2	3m	4.6	29.0	3m	4.8	28.7	3m	4.1	28.7	3m	3.0	29.7
5m	3.8	31.0	5m	2.7	30.3	5m	2.1	30.5	5m	3.9	29.6	5m	2.5	30.2	5m	1.9	30.3
底	3.8	32.3	底	1.5	30.6	底	1.3	30.8	底	0.0	31.5	底	0.2	31.4	底	0.1	31.4

ブイ4		
水深	水温	塩分
0m	8.7	25.6
1m	7.9	26.8
2m	7.2	27.5
3m	6.9	27.6
5m	3.6	31.0
底	4.3	31.8



2		
水深	水温	塩分
0m	2.8	28.0
1m	2.9	28.3
2m	3.0	28.9
3m	3.0	29.6
5m	1.5	30.5
底	0.2	31.3

7		
水深	水温	塩分
0m	7.0	27.4
1m	6.9	26.5
2m	6.2	29.1
3m	5.3	30.1
5m	3.0	30.4
底	2.1	30.9

8		
水深	水温	塩分
0m	7.3	26.6
1m	6.8	26.8
2m	6.1	27.1
3m	5.7	28.1
5m	5.2	31.0
底	4.7	32.4

ブイ3		
水深	水温	塩分
0m	7.7	26.7
1m	7.1	26.6
2m	6.2	27.2
3m	5.0	28.7
5m	3.3	30.7
底	0.0	31.5

9		
水深	水温	塩分
0m	8.9	26.3
1m	7.1	26.2
2m	6.1	27.1
3m	4.0	29.3
5m	2.8	30.4
底	-0.4	31.9

ブイ2		
水深	水温	塩分
0m	4.7	28.9
1m	4.5	29.0
2m	4.4	29.1
3m	4.3	29.1
5m	3.9	29.3
7m	2.8	30.5
底	-0.2	31.7

10		
水深	水温	塩分
0m	6.1	27.8
1m	4.5	28.8
2m	3.6	29.7
3m	3.5	29.8
5m	3.4	29.8
7m	2.6	29.8
8m	1.7	30.5
底	1.4	30.6

養殖センターだより (第19号)

平成26年5月2日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- ・ 本日、湖内14点で塩分調査を実施しました。
- ・ 赤川で水深5m位まで、その他の海域では3~4mまで塩分30以下でした。
- ・ 幌岩沖で8mまで広がっていた低塩分水は解消され、他の海域と同程度になっていました。

<水温>

- ・ 水温は、表層で6.1~9.8℃、底層で-0.3~5.2℃でした。依然として西側に比べて東側で低い傾向にあります。
- ・ 透明度は2.0~3.5mで、前回より上昇していました。
- ・ 次回の調査は5月3日の予定です。

6		
水深	水温	塩分
0 m	8.1	27.9
1 m	8.1	27.9
2 m	8.0	28.1
3 m	7.3	28.9
4 m	5.6	28.8
5 m	4.7	31.1
底	5.2	32.1

5		
水深	水温	塩分
0 m	6.7	28.2
1 m	5.5	28.4
2 m	3.8	29.5
3 m	3.3	29.9
5 m	2.3	30.7
底	1.0	31.2

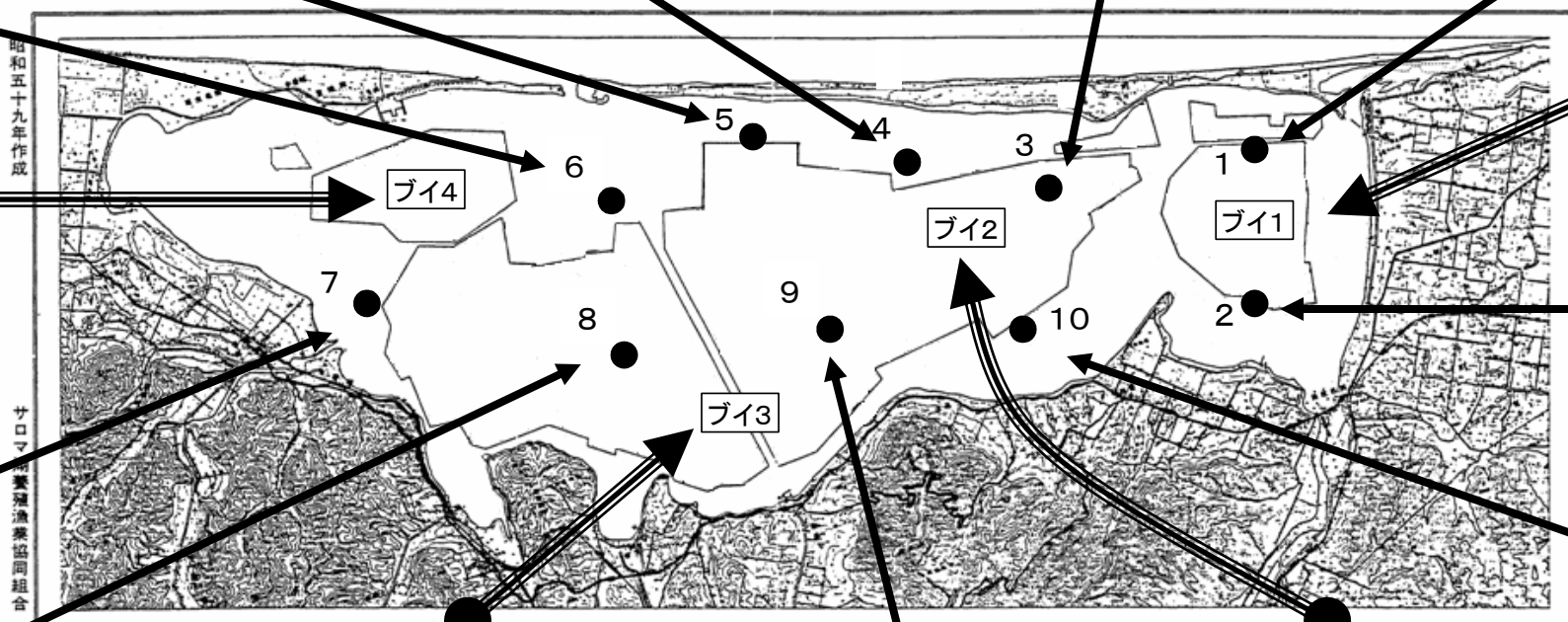
4		
水深	水温	塩分
0 m	6.1	28.5
1 m	6.0	28.5
2 m	5.7	28.4
3 m	3.1	30.1
5 m	2.0	30.2
底	0.3	31.0

3		
水深	水温	塩分
0 m	7.0	28.0
1 m	7.0	28.5
2 m	7.0	28.6
3 m	6.0	29.4
5 m	3.6	30.1
底	-0.1	31.6

1		
水深	水温	塩分
0 m	7.2	26.8
1 m	7.2	26.8
2 m	6.4	27.9
3 m	5.6	29.6
5 m	3.4	30.1
底	0.4	31.1

ブイ1		
水深	水温	塩分
0 m	7.5	27.2
1 m	7.5	27.2
2 m	7.3	27.1
3 m	5.8	29.2
5 m	3.1	29.6
6 m	2.2	30.3
底	0.2	31.2

ブイ4		
水深	水温	塩分
0 m	8.4	27.8
1 m	7.9	28.3
2 m	6.6	29.9
3 m	5.9	30.6
5 m	5.3	30.6
底	4.8	32.2



2		
水深	水温	塩分
0 m	6.9	26.8
1 m	6.7	26.9
2 m	6.6	27.0
3 m	5.7	27.5
5 m	3.6	29.1
底	0.3	31.1

7		
水深	水温	塩分
0 m	9.8	26.7
1 m	9.6	26.5
2 m	6.4	30.0
3 m	4.2	30.6
5 m	3.7	30.1
底	3.7	32.1

8		
水深	水温	塩分
0 m	7.4	27.9
1 m	7.4	27.9
2 m	7.2	27.9
3 m	6.8	27.3
4 m	5.3	29.8
5 m	4.1	31.1
底	5.2	32.0

ブイ3		
水深	水温	塩分
0 m	9.0	27.2
1 m	9.0	27.2
2 m	8.9	27.1
3 m	6.7	28.1
4 m	5.3	30.2
5 m	3.7	30.1
底	1.6	31.8

9		
水深	水温	塩分
0 m	7.8	27.9
1 m	7.8	27.8
2 m	7.8	28.0
3 m	4.9	29.9
5 m	3.8	30.7
底	-0.3	31.8

ブイ2		
水深	水温	塩分
0 m	6.7	28.2
1 m	6.6	28.2
2 m	5.6	28.8
3 m	4.3	29.3
5 m	2.6	30.3
底	-0.2	31.7

10		
水深	水温	塩分
0 m	7.5	27.3
1 m	7.5	27.3
2 m	6.1	28.1
3 m	3.9	29.4
4 m	3.2	29.9
5 m	2.3	30.3
底	0.3	31.2

養殖センターだより (第20号)

平成26年5月3日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- ・本日、湖内14点で13時から15時にかけて塩分調査を実施しました。
- ・赤川で水深5m位まで、その他の海域では3~4mまで塩分30以下でした。
- ・赤川海域では昨日より塩分が低下し、特に浜佐呂間沖では表面で塩分5.2と非常に低くなっていました。

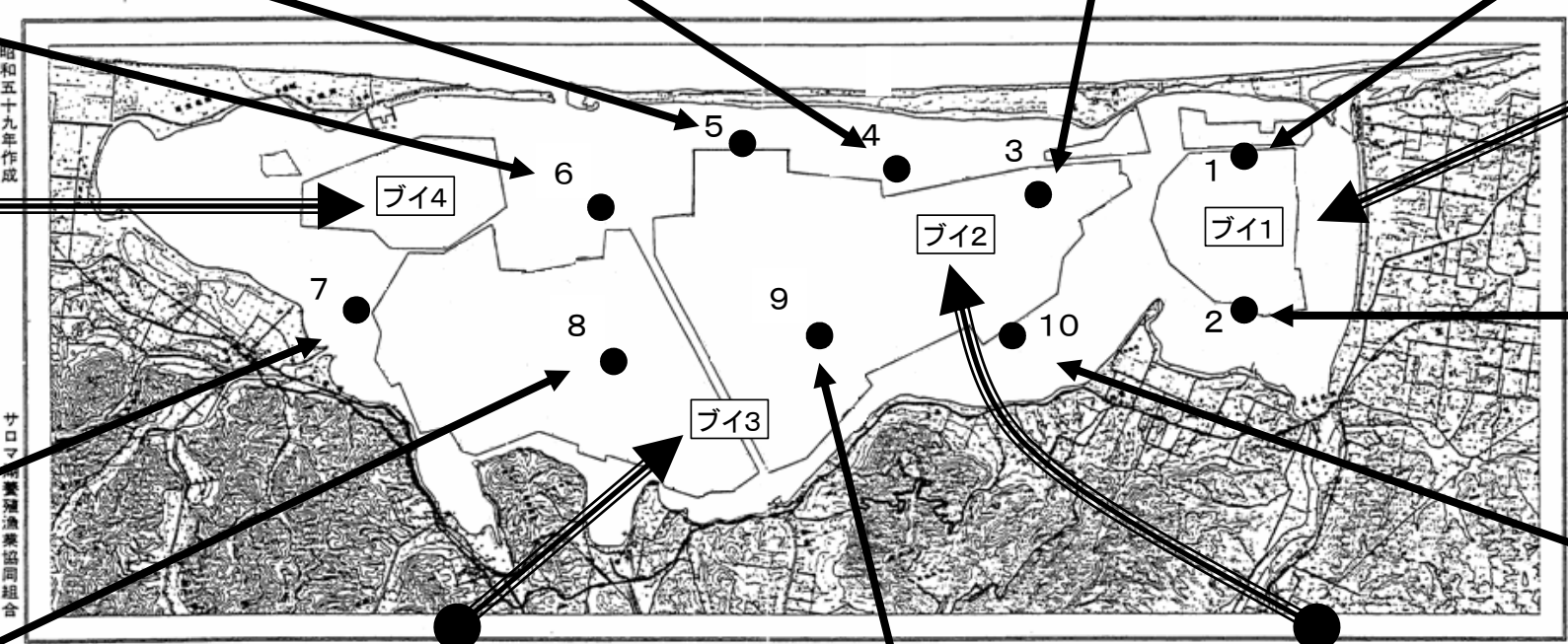
<水温>

- ・水温は、表層で7.9~9.5℃、底層で-0.2~5.6℃でした。
- ・透明度は1.5~4.0mで、前回より上昇していました。
- ・次回の調査は5月5日の予定です。

6			5			4			3			1			ブイ1		
水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分	水深	水温	塩分
0m	8.4	28.1	0m	8.3	27.5	0m	8.6	26.7	0m	8.6	25.4	0m	7.9	25.8	0m	9.5	21.9
1m	8.4	28.2	1m	8.0	27.8	1m	8.7	26.7	1m	8.6	26.0	1m	7.8	26.0	1m	8.9	25.3
2m	8.0	28.6	2m	8.0	27.8	2m	7.8	27.6	2m	7.7	27.4	2m	7.6	26.7	2m	8.5	27.4
3m	6.6	30.0	3m	6.9	28.6	3m	5.9	28.8	3m	5.7	29.3	3m	6.2	27.6	3m	5.6	27.8
5m	2.9	29.6	5m	3.3	29.5	5m	1.9	30.4	5m	3.1	30.2	5m	2.7	29.9	5m	2.2	30.4
6m	1.7	31.1	6m	1.9	30.5	底	0.9	30.9	底	-0.2	31.8	底	0.2	31.4	底	0.2	31.3

ブイ4		
水深	水温	塩分
0m	8.9	27.5
1m	7.6	29.4
2m	6.7	30.5
3m	6.3	30.8
5m	5.9	31.3
底	3.7	31.8

2		
水深	水温	塩分
0m	8.3	5.2
1m	8.4	24.2
2m	8.0	26.2
3m	3.5	29.1
5m	1.3	30.6
底	0.3	31.2



7		
水深	水温	塩分
0m	9.4	26.9
1m	7.9	29.3
2m	6.7	30.5
3m	6.6	30.7
5m	6.1	31.0
底	5.6	30.9

8		
水深	水温	塩分
0m	8.7	27.6
1m	8.7	27.6
2m	8.7	27.6
3m	8.2	28.8
4m	6.4	29.4
5m	4.9	31.6
底	4.8	32.0

ブイ3		
水深	水温	塩分
0m	8.2	27.8
1m	8.2	27.9
2m	8.2	27.9
3m	7.3	29.8
5m	3.9	30.0
底	4.2	31.5

9		
水深	水温	塩分
0m	9.1	26.2
1m	9.1	26.3
2m	7.6	27.7
3m	5.1	30.0
5m	2.9	30.3
底	-0.2	32.4

ブイ2		
水深	水温	塩分
0m	8.0	27.4
1m	7.9	27.6
2m	7.4	27.9
3m	5.2	29.6
5m	1.7	30.1
底	-0.2	31.8

10		
水深	水温	塩分
0m	9.1	24.5
1m	8.7	27.2
2m	6.9	27.7
3m	3.8	29.5
5m	1.8	30.4
底	0.6	30.9

養殖センターだより (第21号)

平成26年5月5日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- ・ 栄浦側で5m、湧別側で2m位まで塩分は30以下でした。
- ・ ホタテの水深ができるだけ塩分30以下にならないように心掛けて下さい。
- ・ 浜佐呂間取水口では底まで塩分30以下でした。

<水温>

- ・ 水温は、表層で7.4~9.1℃、底層で-0.2~5.6℃でした。
- ・ 透明度は2.0~4.5mで、赤川側で低くなっていました。
- ・ ブイ1の水深1mは調整中です。次回の調査は5月6日です。

6 水深 8.5m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.5	27.5
1 m	8.1	28.4
2 m	7.2	29.7
3 m	6.9	30.0
底	1.7	31.2

5 水深 8.0m
透明度 4.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.2	28.0
1 m	8.2	28.1
2 m	7.8	28.3
3 m	6.7	29.6
5 m	2.5	30.6
底	1.7	30.9

4 水深 7.5m
透明度 4.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.4	27.7
1 m	8.3	27.8
2 m	8.2	28.0
3 m	7.5	28.3
5 m	3.9	30.3
底	2.3	31.0

3 水深 15.5m
透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.7	25.1
1 m	7.7	25.1
2 m	7.2	27.2
3 m	6.2	28.9
5 m	4.5	29.3
6 m	3.2	30.2
底	-0.2	31.7

1 水深 11.0m
透明度 2.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.9	20.8
1 m	7.9	22.6
2 m	7.5	25.5
3 m	5.9	29.8
5 m	2.7	30.5
底	0.4	31.3

栄浦
取水口 水深 5.0m
透明度 2.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.7	23.3
1 m	7.5	24.6
2 m	5.8	28.8
3 m	3.8	29.4
4m	2.5	30.3
底	2.2	30.6

ブイ4 水深 10.5m
透明度 3.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.4	27.6
1 m	8.2	28.3
2 m	7.4	30.1
3 m	7.0	30.6
底	5.6	32.0

ブイ1 水深 12.0m
透明度 2.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.4	20.5
1 m	7.4	21.6
2 m	6.4	28.9
3 m	4.7	30.0
5 m	3.3	30.1
底	0.2	31.4

7 水深 7.5m
透明度 3.2m

水深	水温	塩分
0 m	8.2	28.6
1 m	7.9	29.1
2 m	7.4	30.0
3 m	6.7	30.7
底	5.0	31.5

2 水深 10.5m
透明度 2.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.8	24.9
1 m	7.7	25.3
2 m	6.6	27.9
3 m	4.8	29.0
5 m	2.7	29.9
6 m	1.9	30.4
底	0.3	31.2

8 水深 13.0m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.4	27.8
1 m	8.3	28.4
2 m	7.6	29.5
3 m	7.0	30.6
底	4.7	31.9

ブイ3 水深 12.5m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	9.1	26.6
1 m	8.7	27.3
2 m	7.1	29.4
3 m	5.8	30.6
5 m	6.0	31.3
底	3.8	31.6

9 水深 18.0m
透明度 4.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.7	27.0
1 m	8.6	27.2
2 m	8.1	27.4
3 m	5.9	29.2
5 m	3.0	30.6
底	0.0	32.3

ブイ2 水深 16.5m
透明度 4.0m

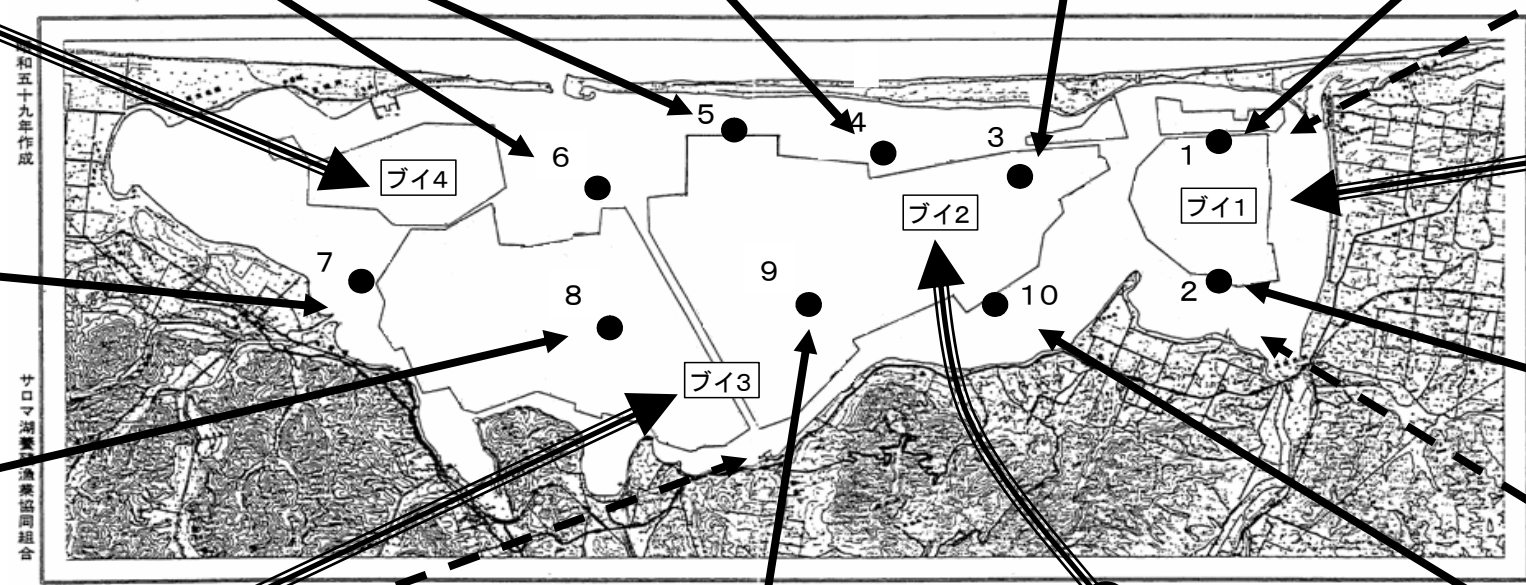
水深	水温	塩分
0 m	8.0	27.9
1 m	7.9	27.9
2 m	7.8	28.1
3 m	7.5	28.3
5 m	3.5	30.3
底	-0.2	31.7

10 水深 12.0m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.1	27.6
1 m	7.9	27.9
2 m	7.8	28.0
3 m	6.8	28.3
5 m	2.8	30.1
底	-0.2	31.6

浜佐呂間
取水口 水深 3.5m
透明度 2.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.6	22.3
1 m	7.6	25.2
2 m	7.3	27.5
底	4.5	29.1



富士
取水口 水深 4.5m
透明度 4.1m

水深	水温	塩分
0 m	9.1	26.5
1 m	9.0	26.6
2 m	8.4	27.0
3 m	6.2	28.5
底	3.0	30.4

養殖センターだより (第22号)

平成26年5月6日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- 湖内全体で3~5m位まで塩分は30以下でした。
- 養殖作業の際には天ボウの調節などにより、ホタテの垂下水深ができるだけ塩分30以下にならないように心掛けて下さい。

<水温>

- 水温は表層で5.7~8.8℃、底層で-0.3~6.5℃でした。
- 透明度は1.5~5.0mで、前回より上昇しています。
- 富武士港の取水口は底まで塩分が30以下でした。

6 水深 8.5m
透明度 5.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.0	29.1
1 m	8.0	29.1
2 m	7.9	29.1
3 m	7.0	29.1
5 m	6.8	29.9
底	5.2	32.2

5 水深 8.0m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.6	28.6
1 m	6.6	28.7
2 m	6.8	29.0
3 m	7.1	29.4
5 m	4.6	30.3
底	1.8	31.1

4 水深 7.5m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.0	28.5
1 m	6.1	29.1
2 m	6.3	29.3
3 m	5.9	28.4
5 m	2.2	30.2
底	0.7	31.1

3 水深 15.0m
透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.3	28.3
1 m	5.8	28.6
2 m	4.8	29.4
3 m	3.9	30.0
5 m	2.7	30.7
底	-0.3	31.8

1 水深 11.0m
透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.7	28.0
1 m	6.6	28.1
2 m	5.9	29.0
3 m	4.7	30.3
5 m	2.3	31.0
底	0.0	31.6

栄浦 水深 5.0m
取水口 透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.0	27.9
1 m	6.9	27.9
2 m	6.4	28.3
3 m	4.1	29.8
5 m	2.4	30.3
底	1.5	31.0

ブイ4 水深 10.5m
透明度 4.0m

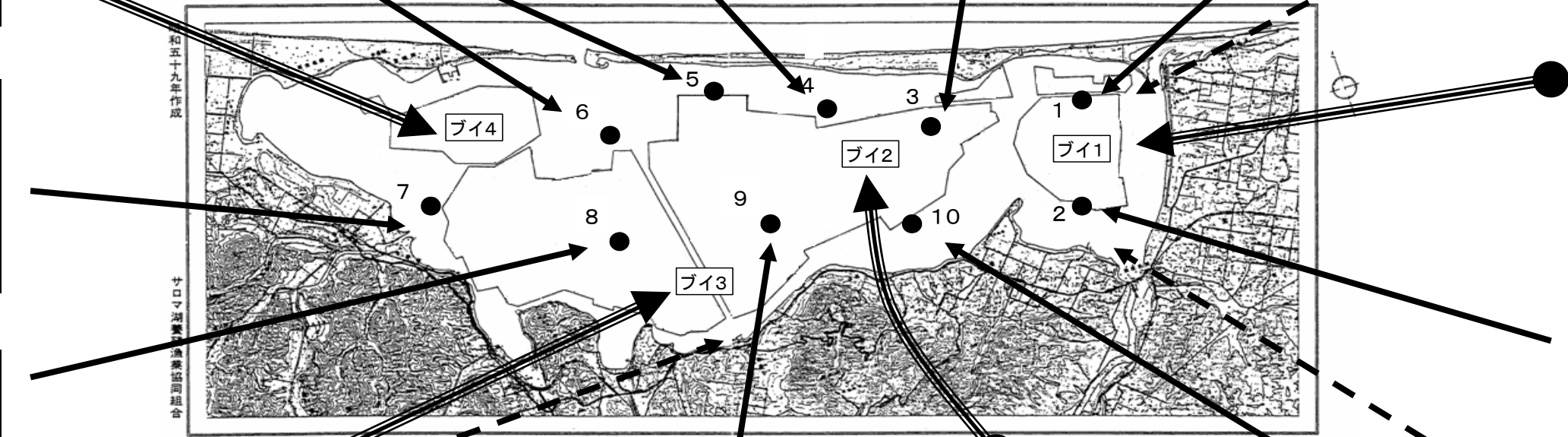
水深	水温	塩分
0 m	8.4	29.3
1 m	8.3	29.3
2 m	8.0	29.4
3 m	7.7	30.1
底	4.9	32.3

ブイ1 水深 12.0m
透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.1	27.8
1 m	7.1	27.9
2 m	6.7	28.3
3 m	3.6	29.9
5 m	1.5	30.8
底	0.1	31.5

7 水深 7.5m
透明度 3.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.8	29.0
1 m	8.7	29.0
2 m	8.6	29.1
3 m	8.1	29.5
5 m	6.9	30.4
底	6.0	31.1



8 水深 13.0m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.0	29.2
1 m	7.9	29.2
2 m	7.9	29.2
3 m	7.2	29.4
5 m	6.4	30.8
底	5.5	32.1

2 水深 10.5m
透明度 3.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.4	28.3
1 m	6.2	28.2
2 m	4.0	29.5
3 m	3.1	30.1
5 m	1.8	30.6
底	0.4	31.3

富武士 水深 4.5m
取水口 透明度 4.1m

水深	水温	塩分
0 m	7.7	29.1
1 m	7.7	29.0
2 m	7.6	29.1
3 m	7.4	29.1
底	6.5	29.2

ブイ3 水深 12.5m
透明度 4.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.7	29.1
1 m	7.7	29.1
2 m	7.7	29.1
3 m	7.6	29.1
5 m	6.9	30.7
底	4.8	31.5

9 水深 18.5m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.4	28.9
1 m	6.4	28.8
2 m	6.4	28.8
3 m	6.3	28.8
5 m	5.8	30.3
底	-0.3	31.7

ブイ2 水深 16.5m
透明度 3.5m

水深	水温	塩分
0 m	5.7	28.4
1 m	5.6	28.5
2 m	5.0	28.9
3 m	3.8	30.2
5 m	2.8	30.8
底	-0.3	31.8

10 水深 11.5m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	5.9	28.6
1 m	5.9	28.6
2 m	5.6	28.7
3 m	5.2	29.0
5 m	3.8	30.5
底	2.4	31.0

浜佐呂間 水深 3.5m
取水口 透明度 1.5m

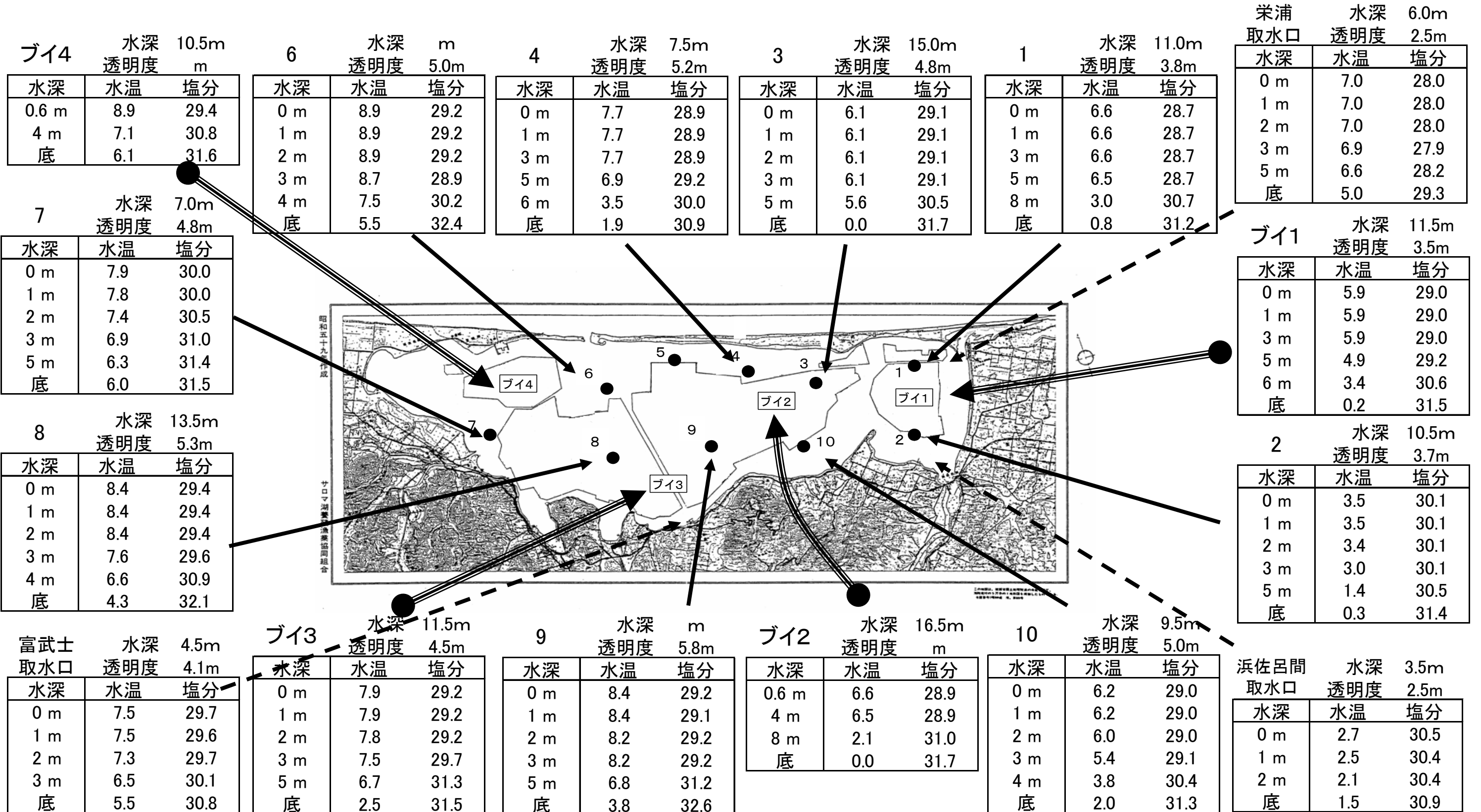
水深	水温	塩分
0 m	6.4	20.8
1 m	6.5	28.2
2 m	4.4	28.8
底	1.9	30.5

養殖センターだより (第23号)

平成26年5月7日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)
 ・ワッカ(北)側では3~8m位まで塩分は30以下でした。
 ・養殖作業の際には天ボウの調節などにより、ホタテの垂下水深ができるだけ塩分30以下にならないように心掛けて下さい。

<水温>
 ・水温は表層で2.7~8.9℃、底層で0.0~6.1℃でした。
 ・透明度は2.5~6.0mで、前回より上昇しています。
 ・栄浦港の取水口は底まで塩分が30以下でした。



養殖センターだより (第24号)

平成26年5月8日
サロマ湖養殖漁業協同組合

<塩分> (ホタテの生残には塩分値30以上が必要です)

- 湖内全体で3~5m位まで塩分は30以下でした。
- 養殖作業の際には天ボウの調節などにより、ホタテの垂下水深ができるだけ塩分30以下にならないように心掛けて下さい。

<水温>

- 水温は表層で6.3~8.9℃、底層で-0.2~6.1℃でした。
- 透明度は3.0~6.0mで、前回より上昇しています。
- 浜佐呂間・富武士港の取水口は底まで塩分が30以下でした。

6 水深 8.0m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.3	29.1
1 m	8.3	29.2
2 m	8.3	29.2
3 m	8.0	30.0
5 m	6.0	31.2
底	5.7	32.1

5 水深 8.0m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.9	28.8
1 m	7.9	28.8
2 m	8.0	29.4
3 m	7.5	30.3
5 m	3.9	30.3
底	1.9	31.0

4 水深 7.0m
透明度 5.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.2	28.7
1 m	7.2	28.7
2 m	7.2	28.7
3 m	6.9	28.5
5 m	3.4	30.5
底	1.8	30.6

3 水深 14.5m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.8	28.8
1 m	6.8	28.9
2 m	6.7	29.1
3 m	6.6	30.2
5 m	4.6	29.7
底	-0.2	31.7

1 水深 11.0m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	6.3	25.3
1 m	6.5	28.0
2 m	6.5	28.5
3 m	5.7	28.9
5 m	3.7	30.2
底	0.2	31.4

栄浦 水深 4.5m
取水口 透明度 2.5m

水深	水温	塩分
0 m	6.7	25.5
1 m	6.6	27.1
2 m	6.0	28.4
3 m	4.7	29.6
4 m	4.0	30.1
底	3.7	30.1

ブイ4 水深 10.0m
透明度 4.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.8	29.5
1 m	8.8	29.5
2 m	8.7	29.6
3 m	8.6	29.9
5 m	7.3	31.3
底	5.8	31.7

7 水深 7.0m
透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.9	29.5
1 m	8.9	29.5
2 m	8.7	29.5
3 m	8.6	29.9
5 m	7.1	30.6
底	6.1	31.5

8 水深 13.5m
透明度 5.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.5	29.3
1 m	8.5	29.3
2 m	8.5	29.3
3 m	8.5	29.3
5 m	7.5	30.6
底	4.6	31.3

富武士 水深 4.5m
取水口 透明度 4.0m

水深	水温	塩分
0 m	8.2	29.7
1 m	8.1	29.6
2 m	7.9	29.7
3 m	7.9	29.8
底	7.5	29.7

ブイ3 水深 12.0m
透明度 5.5m

水深	水温	塩分
0 m	8.3	29.3
1 m	8.3	29.3
2 m	8.3	29.2
3 m	8.1	29.6
5 m	6.7	31.1
底	3.0	31.3

9 水深 18.0m
透明度 6.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.1	29.1
1 m	7.0	29.0
2 m	7.0	29.0
3 m	7.0	29.1
5 m	6.0	30.3
底	2.8	33.2

ブイ2 水深 16.0m
透明度 5.5m

水深	水温	塩分
0 m	7.0	29.2
1 m	7.0	29.2
2 m	7.0	29.2
3 m	7.0	29.0
5 m	3.3	30.5
底	-0.2	31.8

10 水深 9.0m
透明度 6.0m

水深	水温	塩分
0 m	7.0	29.3
1 m	7.0	29.2
2 m	6.9	29.2
3 m	6.8	29.6
5 m	3.9	31.1
底	2.4	31.0

ブイ1 水深 11.5m
透明度 3.0m

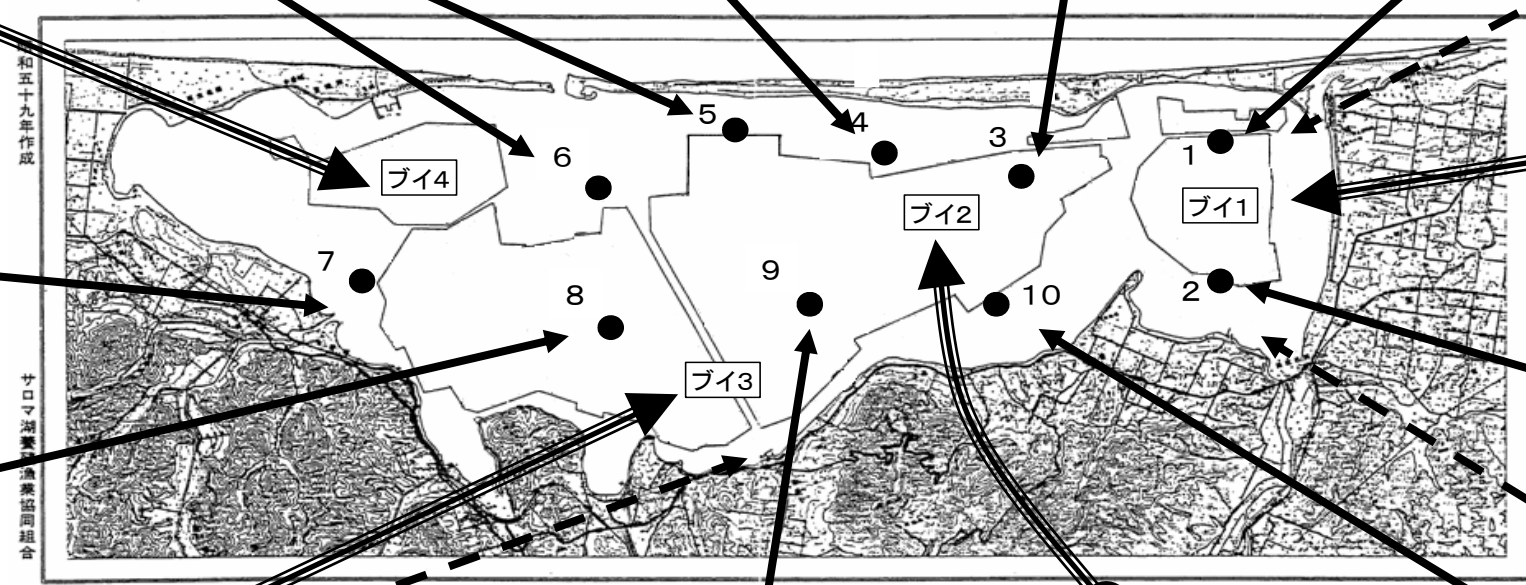
水深	水温	塩分
0 m	6.7	28.2
1 m	6.7	28.2
2 m	6.6	28.3
3 m	5.6	28.8
5 m	2.9	30.5
底	0.3	31.4

2 水深 10.5m
透明度 3.5m

水深	水温	塩分
0 m	6.6	28.7
1 m	6.3	29.0
2 m	5.6	28.9
3 m	4.5	29.5
5 m	2.5	30.3
底	0.5	31.3

浜佐呂間 水深 3.5m
取水口 透明度 3.5m

水深	水温	塩分
0 m	6.8	15.6
1 m	6.2	28.8
2 m	6.2	28.9
底	4.4	29.7

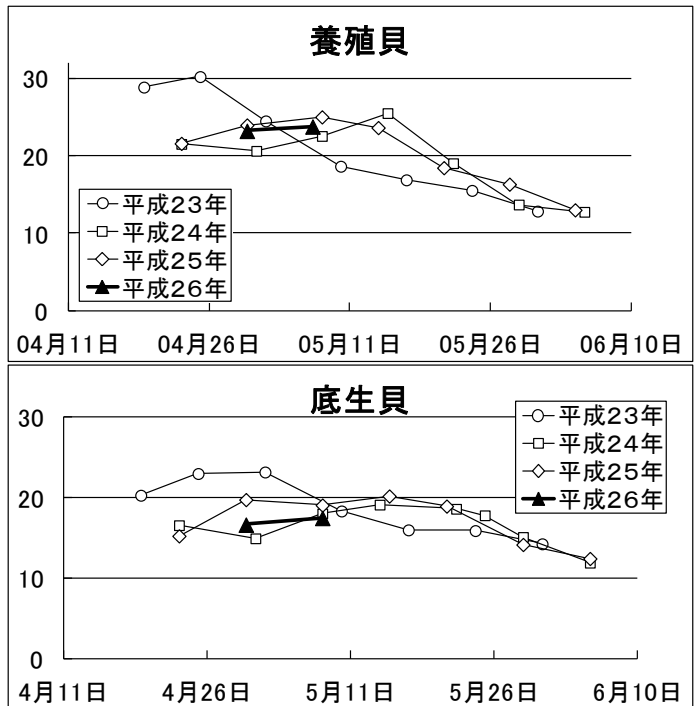


◎ 生殖巣熟度調査（産卵はこれからの見込み）

5月7日、8日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。これはホタテの生殖巣の重さと軟体部の重さの関係から、産卵時期を推定する調査です。

その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は23.8（幌岩、床丹の平均）と前回（23.2）よりもやや増加しました。底生貝は17.5（第1湖口、ワッカ、芭露地区の平均）で、前回（16.6）よりも増加しました。

産卵はこれからの見込みです。

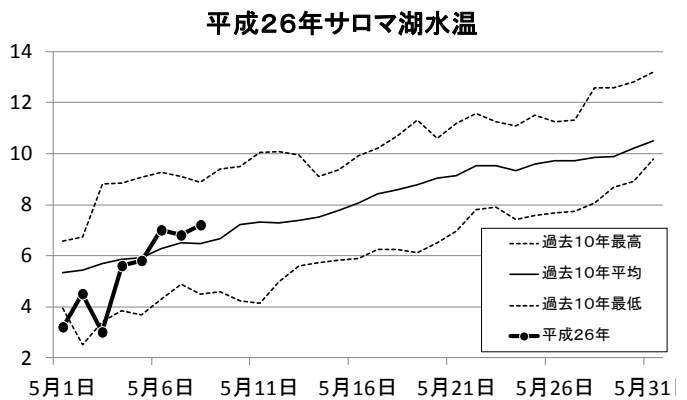


◎ ラーバ調査結果（ホタテラーバは出現せず）

5月7日にサロマ湖内10地点、外海4地点（第1湖口沖2点・常呂漁港沖2点）で網走東部水産指導所、佐呂間漁協青年部、常呂漁協の協力の下、ホタテラーバ調査を行いました。ホタテガイの出現はありませんでした。

サロマ湖の水温は富武ブイの水深4mでは、5月3日頃まで平年よりも2℃近く低い値でしたが、その後はほぼ平年並みになっています。

外海水温は常呂沖の表層で約6℃、底でも約5℃と昨年同時期（3.5℃）よりも高く、ほぼ平年並みの水温でした。



常呂沖水温 (°C)

0m	6.01
5m	5.20
10m	5.12
15m	5.11
20m	5.11

◎ アイスブーム撤去について（9日、10日ですべて撤去）

第1湖口、第2湖口のアイスブームは現在、一部が撤去されていますが、5月9日に第1湖口、10日に第2湖口の残りのアイスブームをすべて撤去する予定です。

尚、撤去後もアイスブームの灯火は変更ありません。

◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

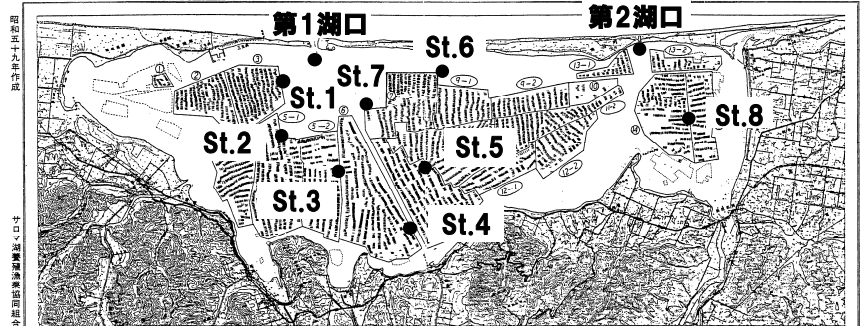
5月12日、サロマ湖内10地点でラーバ調査を行いました。全地点でホタテラーバの出現はみられませんでした。その他2枚貝ラーバは28~822個/トンがみられました。

富武士沖(ブイ3水深4m)の水温は一昨日から急落したため、5.3℃と平年を2℃程度下回っています。

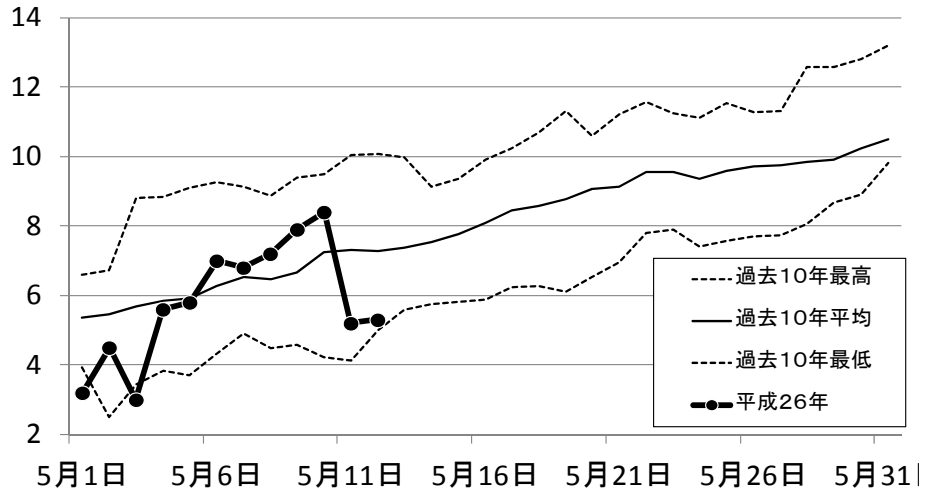
塩分についてはワッカ側及び赤川沖で3m程度まで塩分30以下になっていますので、養殖作業の際には注意が必要です。

透明度は4.0~6.5mに上昇しました。

採苗関連調査地点図



平成26年サロマ湖水温



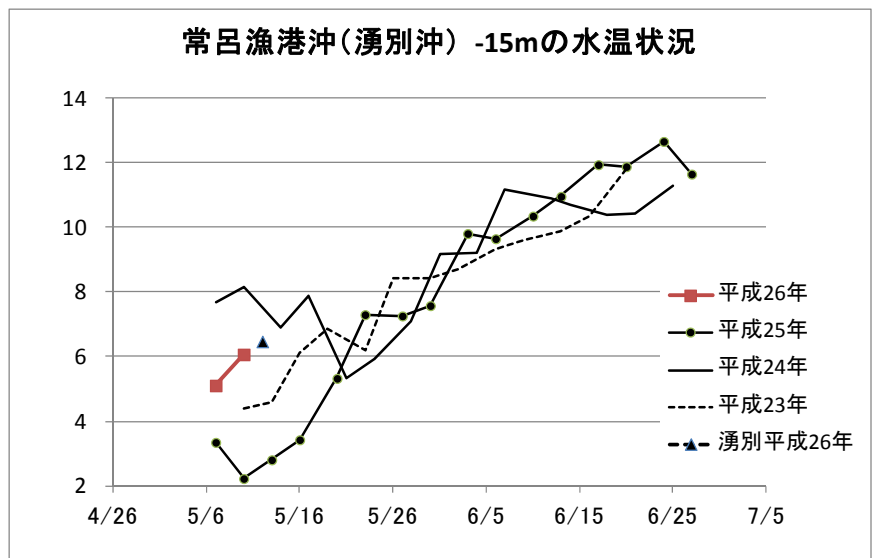
◎ 外海ラーバ調査結果 (5月12日 常呂漁協、佐呂間・湧別青年部調査)

外海の湧別沖、常呂漁港沖ではホタテラーバが1個体ずつ(159μm、142μm)出現しました。

5/10の常呂沖水温は6.1℃、5/12の湧別沖水深15mの水温は6.5℃と、平成24年を下回るものの、平成23年・25年と比べると上回っていました。

次回の調査は5/15(木)の予定です。

常呂漁港沖(湧別沖) -15mの水温状況



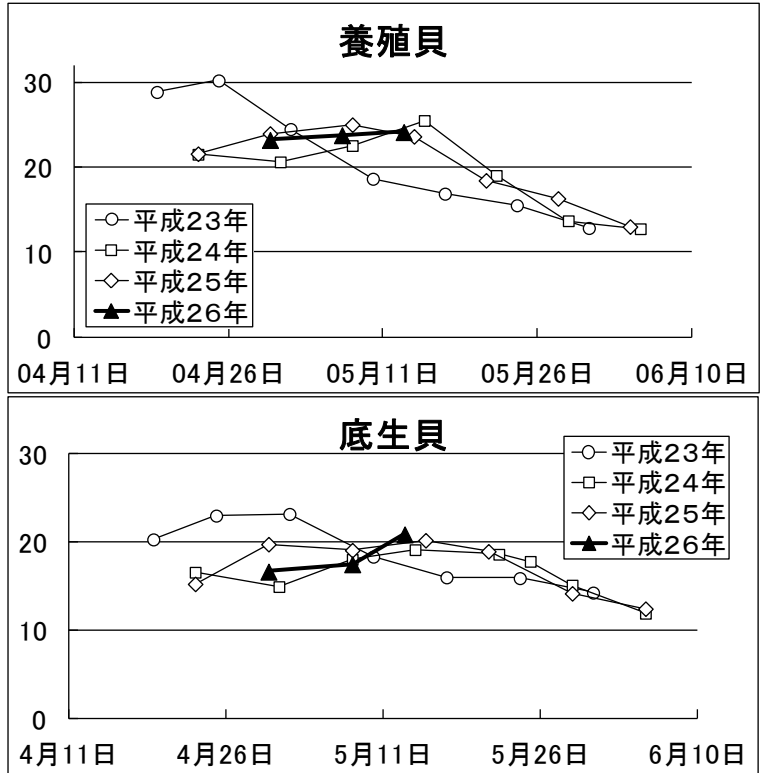
◎ 生殖巣熟度調査（西部海域の養殖貝で産卵）

5月13日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。これはホタテの生殖巣の重さと軟体部の重さの関係から、産卵時期を推定する調査です。

その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は床丹が2.8ポイントの減少、幌岩が3.5ポイントの増加で、平均としては24.1と前回（23.8）よりも増加しましたが、床丹と幌岩で指数の変化に違いがありました。

底生貝は20.9（第1湖口、ワッカ、芭露地区の平均）で、全ての地点で前回（17.5）よりも増加していました。

サロマ湖西部の養殖貝で産卵が始まったものとみられます。



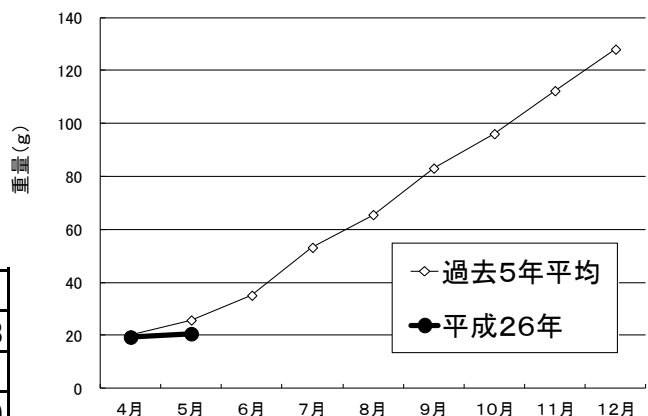
◎ 成長モニタリング調査結果

5月13日に養殖ホタテガイの成長モニタリング調査を行いました。その結果、3年貝の成長は、殻高については過去10年平均よりもやや低い成長を示し、重量と貝柱が低い値を示していました。

2年貝（ポケット入れ替え後）は殻高、重量で過去5年と比較すると、低い値を示していました。

2年貝、3年貝で例年よりも低い値を示していることについて、今年はサロマ湖の解氷が遅く、産卵が遅れているため、例年よりも成長が遅れているものと考えられます。

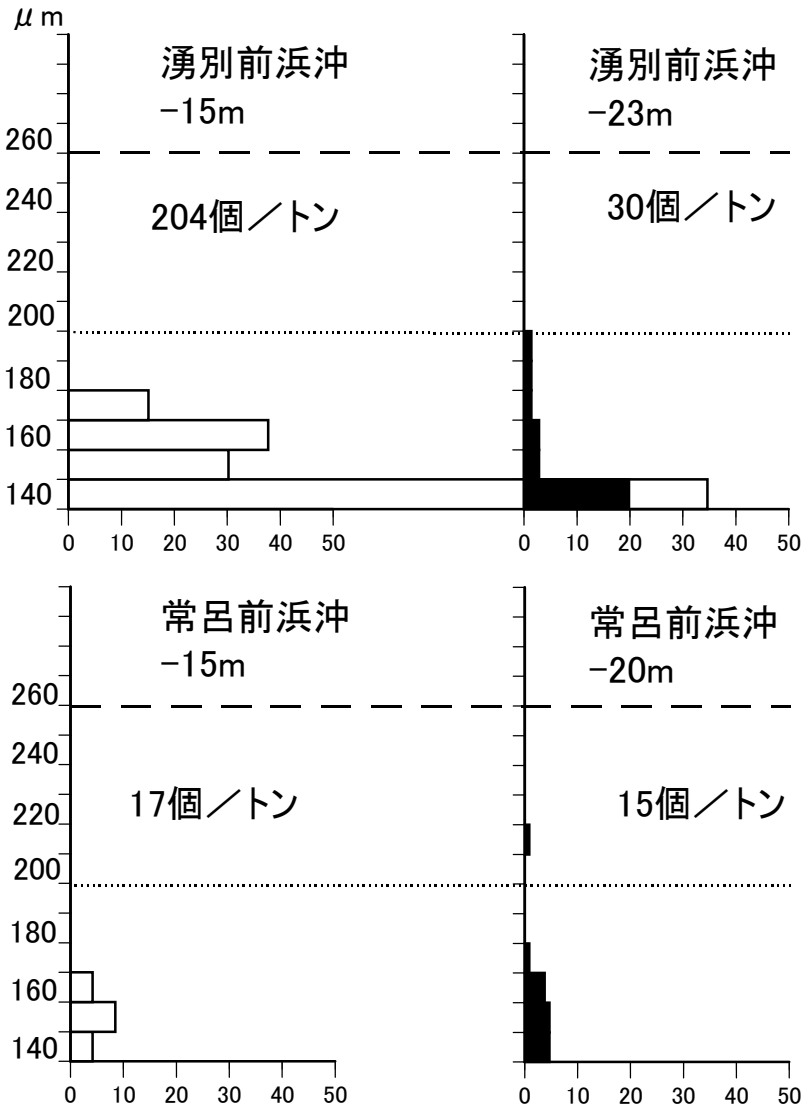
2年貝の成長状況（重量）



養殖3年貝のモニタリング調査結果

	5月(今回)	10年平均
殻高(mm)	101.0	102.3
重量(g)	142.0	148.1
貝柱(g)	13.9	17.9
歩留まり(%)	9.8	12.0

◎外海ラーバ調査(常呂漁協、湧別青年部による調査)



5月15日に湧別前浜沖(紋別境界)、常呂漁港沖でラーバ調査を行いました。

その結果、湧別前浜の丘側では204個/トン、沖側では30個/トン。常呂漁港沖の丘側では17個/トン、沖側では15個/トン出現していました。殻長の中心は140~160ミクロンでしたが、210ミクロンの大型ラーバも1個出現していました。

これ以外に130ミクロン以下の小型のホタテラーバが各地点で645~12,000個/トン出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は7.2℃で、平成24年並の高水温となっています。

次回の湖内、外海ラーバ調査は19日の予定です。

◎他地区の情報

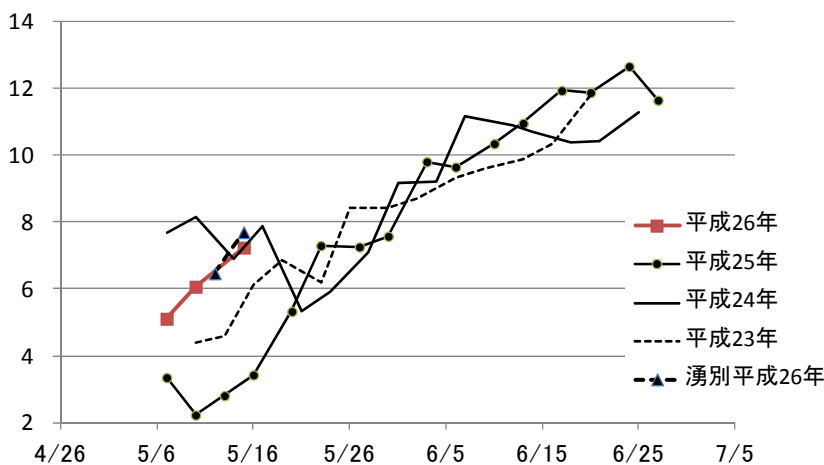
・5/13の宗谷の調査ではホタテラーバが2.2個(135~265ミクロン)出現しました。

・5/15の雄武の調査ではホタテラーバが14.9個(150~210ミクロン)出現しました。

・5/15の紋別の調査ではホタテラーバが8.5個(150~200ミクロン)出現しました。

・5/14の厚田の調査では産卵が終了間近となり、ラーバは19.5個(130~260ミクロン)出現し、採苗器投入の準備を進めています。

常呂及び湧別沖 -15mの水温状況



・5/15の後志ではホタテラーバが4.4個(130~260ミクロン)出現し、採苗器投入の準備中。

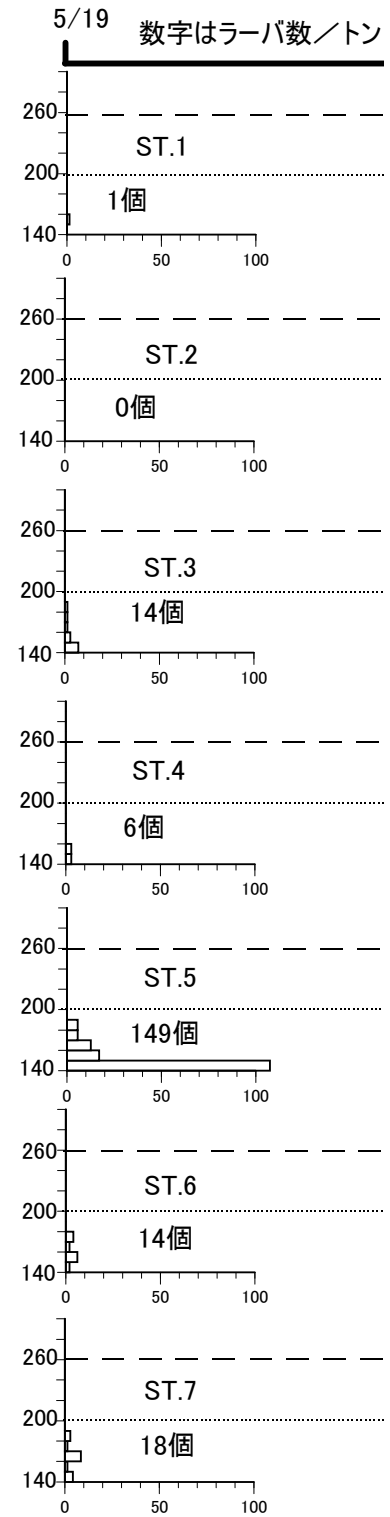
(水産指導所より提供頂いた資料より)

◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

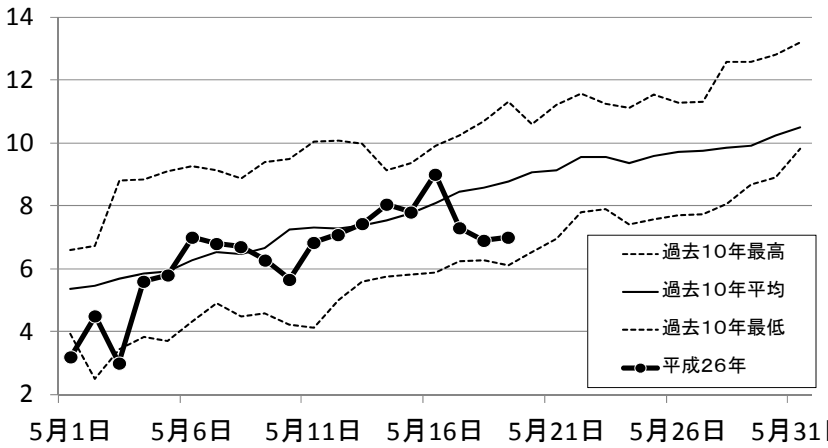
本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で 29 個/トンが出現しました。大きさは 140~150 ミクロンが中心ですが、180 ミクロン以上のラーバも出現していました。140 ミクロン以下の小型ラーバの発生も確認されています。富富士沖 (ブイ3水深4m 正午) の水温は平年を約 2°C 下回っています。

◎ 他地区の情報 (指導所)

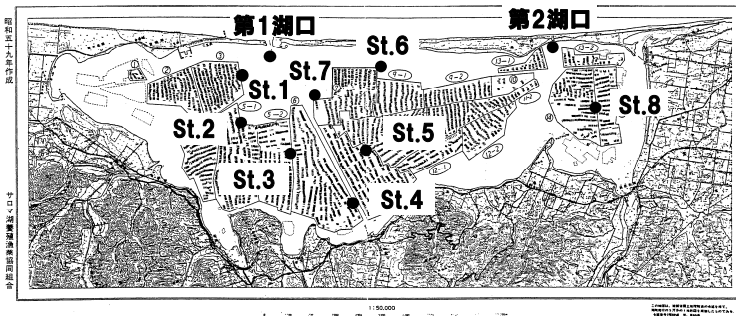
- ・ 苫前~焼尻 (5~65 個/トン)、5/14-15 調査、今週投入予定
- ・ 雄武 (5/15、14.9 個/トン) 投入の可能性あり
- ・ 紋別 (5/15、8.5 個/トン) 投入の可能性あり
- ・ 枝幸 (5/15、24.3 個/トン) 投入の準備中
- ・ 後志 (5/16、3.2 個/トン) 凧しだい投入



平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

5月20日に外海のラーバ調査を行いました。

その結果、湧別前浜(紋別境界)の丘側では55個/トン、沖側では23個/トン。第1湖口沖の丘側で84個/トン、沖側で42個/トン、常呂漁港沖の丘側では76個/トン、沖側では70個/トン出現していました。殻長の中心は湧別~第1湖口では140~160ミクロンでしたが、常呂側では150~170ミクロンでした。

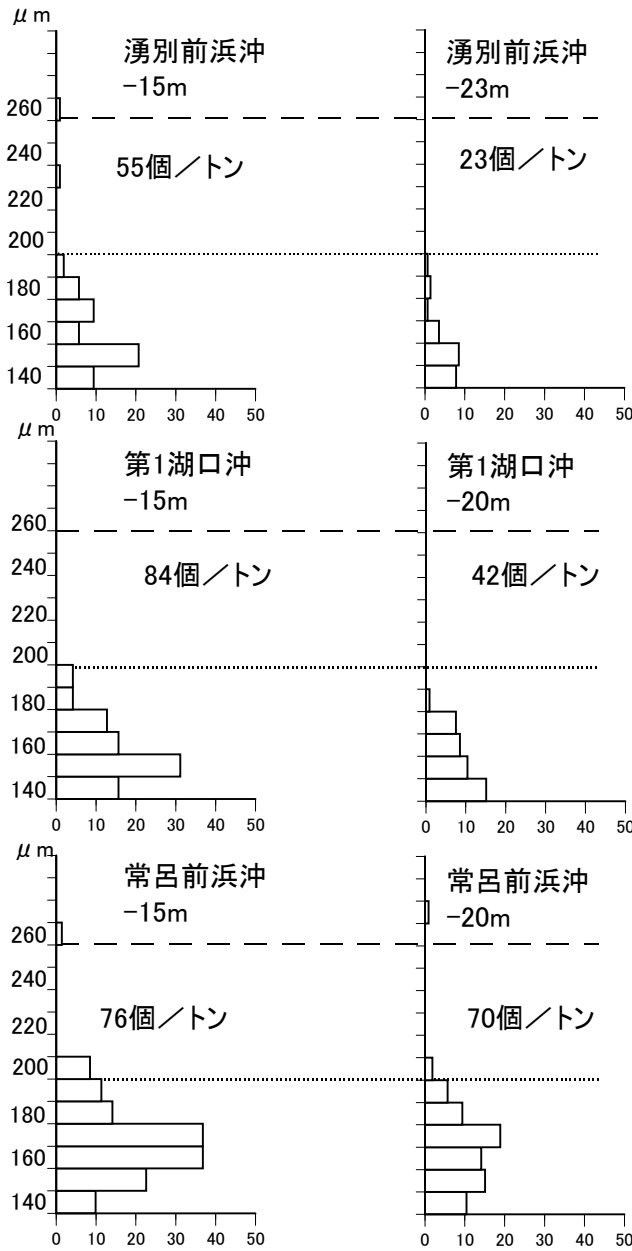
200ミクロン以上の大型のラーバは全体の平均で2.4個/トン(3.5%)出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は6.9℃、湧別沖は6.1℃でともに前回より低下しています。

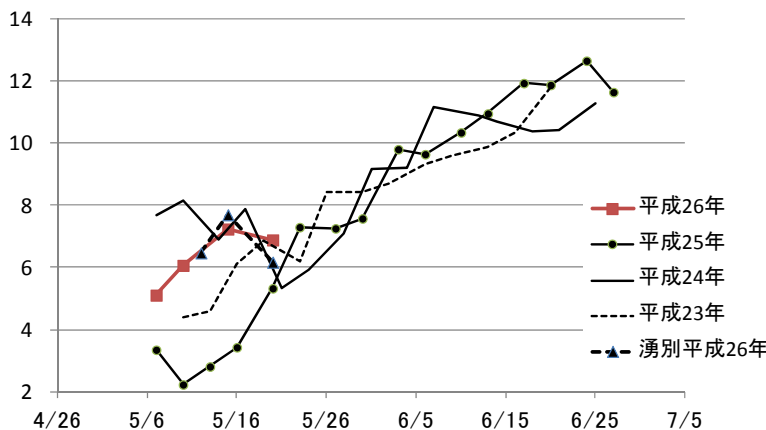
次回のラーバ調査は22日の予定です。

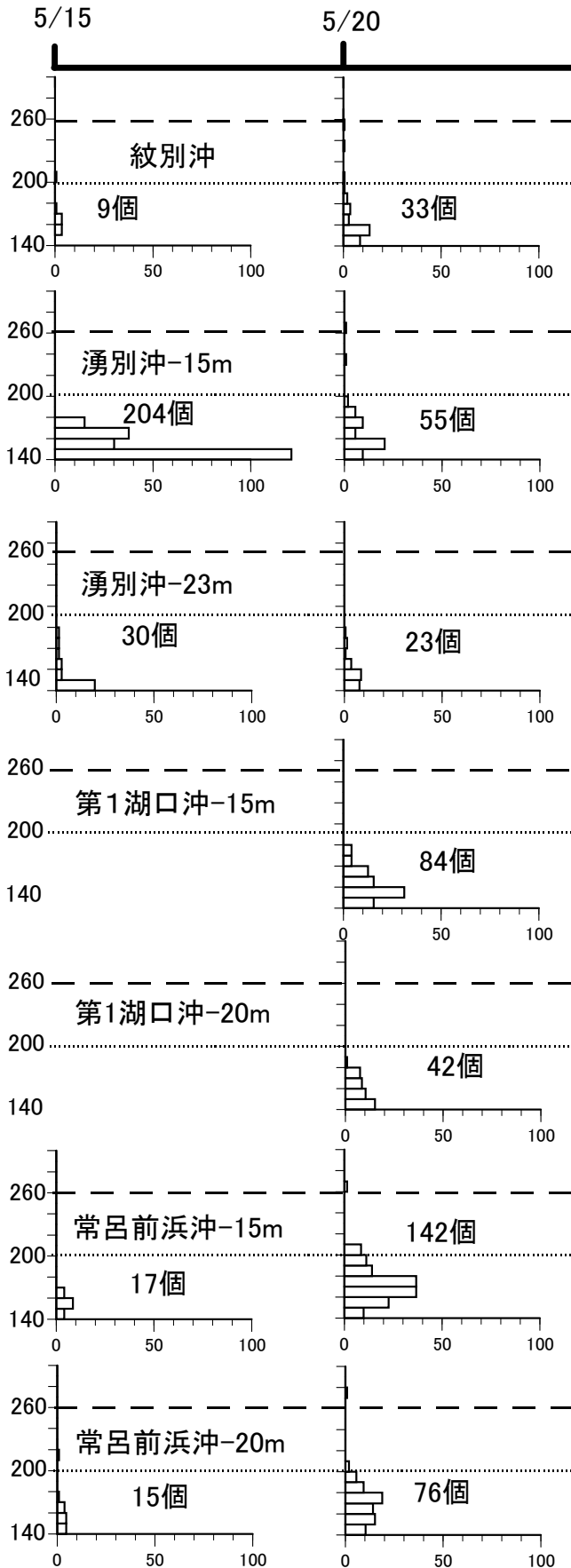
◎他地区の情報

- ・5/19の浜益、厚田の調査ではホタテラーバが13~179個(大型は5~60個)出現し、投入適期となりました。
- ・5/19の苫前、羽幌、焼尻の調査ではホタテラーバが5~36個(130~270ミクロン)出現し、今週が投入適期と考えられます。(水産指導所より提供いただいた資料より)



常呂及び湧別沖 -15mの水温状況





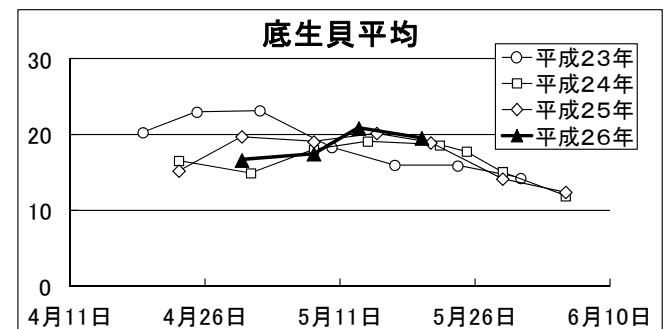
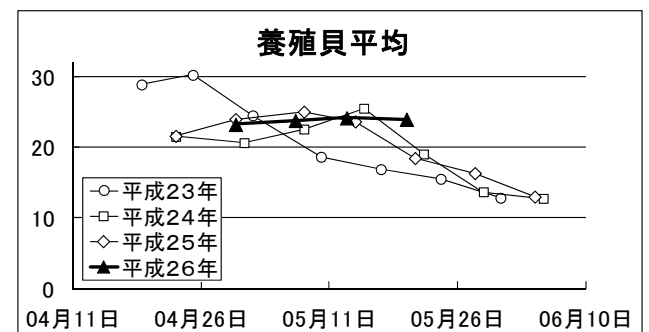
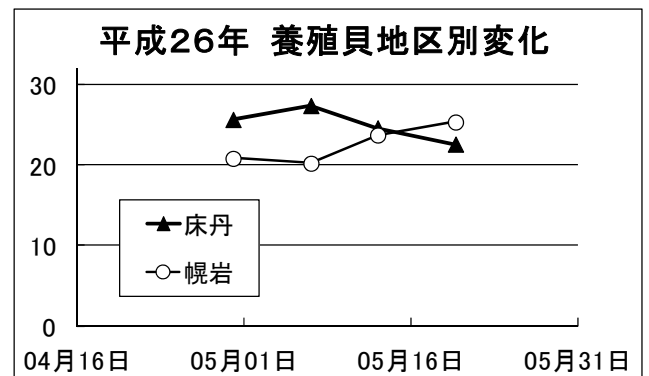
◎生殖巣熟度調査

(西部養殖貝、底生貝で産卵)

5月20日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。

その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は床丹が2.0ポイントの減少、幌岩が1.6ポイントの増加で、平均としては23.9と前回(24.1)よりも減少しましたが、前回に引き続き、床丹と幌岩で指数の変化に違いがあり、東部の産卵はまだのようです。

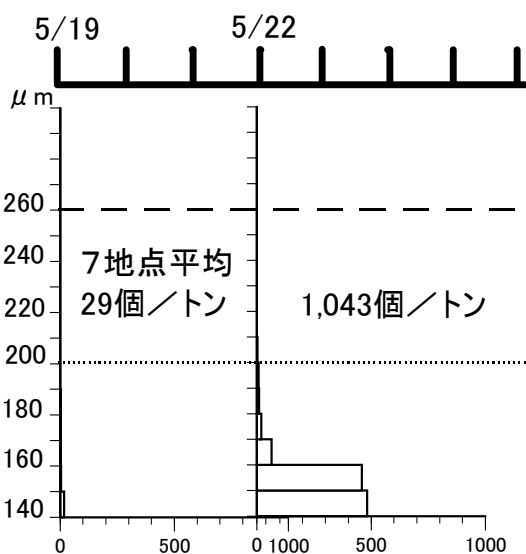
底生貝は19.6(第1湖口、ワッカ、芭露地区の平均)で、前回(20.9)よりも減少し、底生貝の産卵も始まったものとみられます。



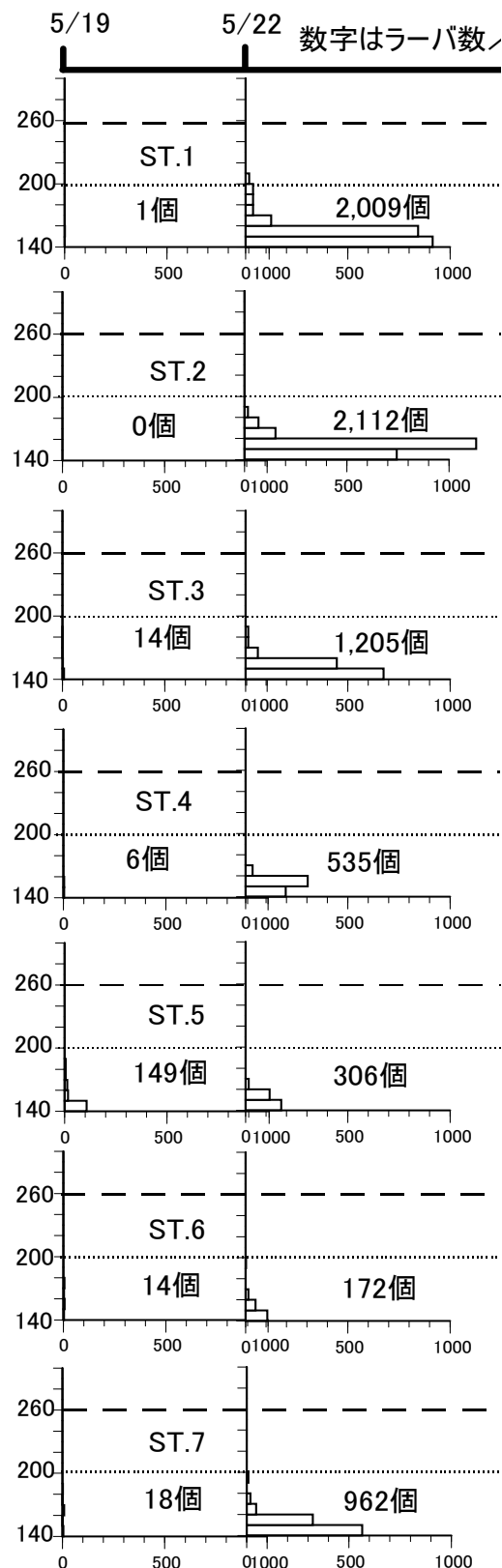
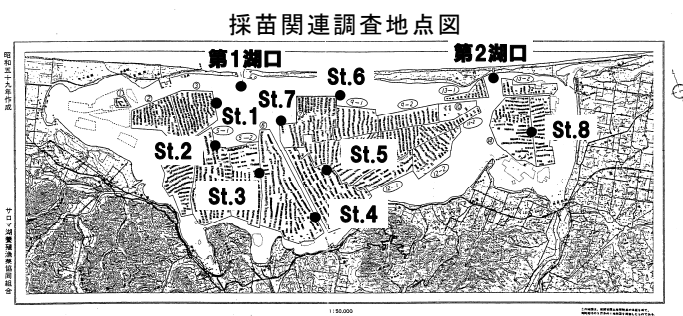
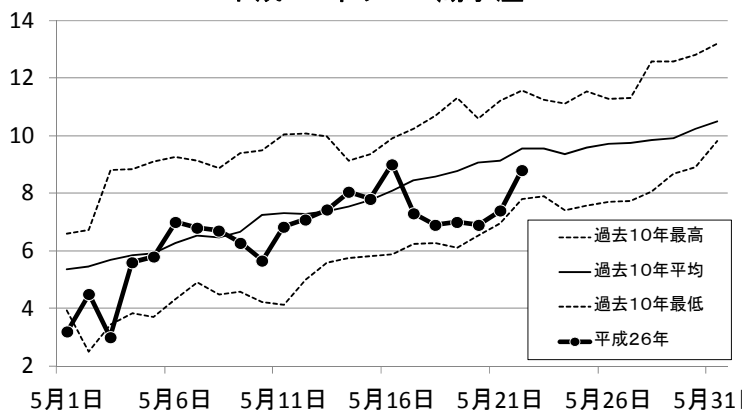
◎ サロマ湖ラーバ調査結果（網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査）

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均（ST.1～7）で1,043個／トンが出現しました（前回は29個）。大きさは140～160ミクロンが中心ですが、ST1では200ミクロン以上の大型ラーバも出現していました。

富富士沖（ブイ3水深4m 正午）の水温は8.8℃で平年値に近づきつつあります。



平成26年サロマ湖水温



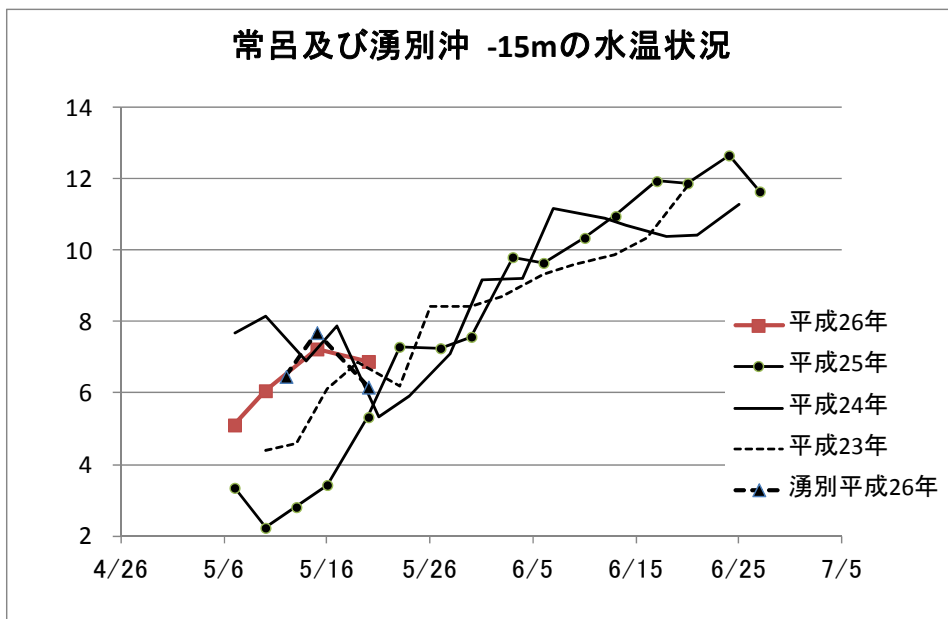
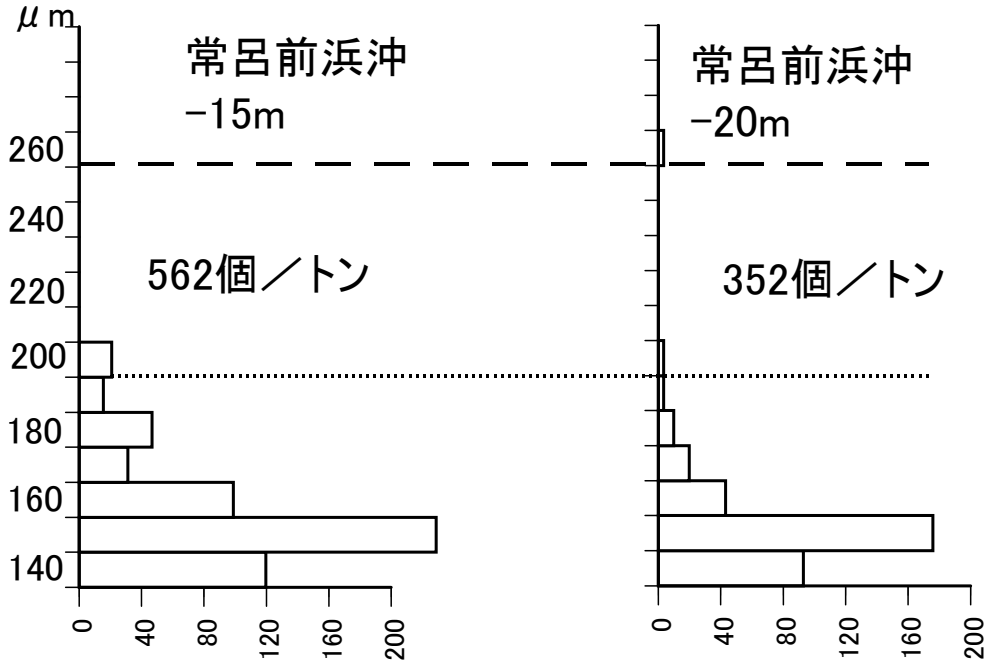
◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

5月22日に常呂外海のラーバ調査を行いました。

常呂漁港沖の丘側では562個/トン、沖側では352個/トン出現していました。殻長の中心は150~160ミクロンでした。

200ミクロン以上の大型のラーバも平均で14個/トン(3%)出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は5.9℃で前回より1℃低下しています。



◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

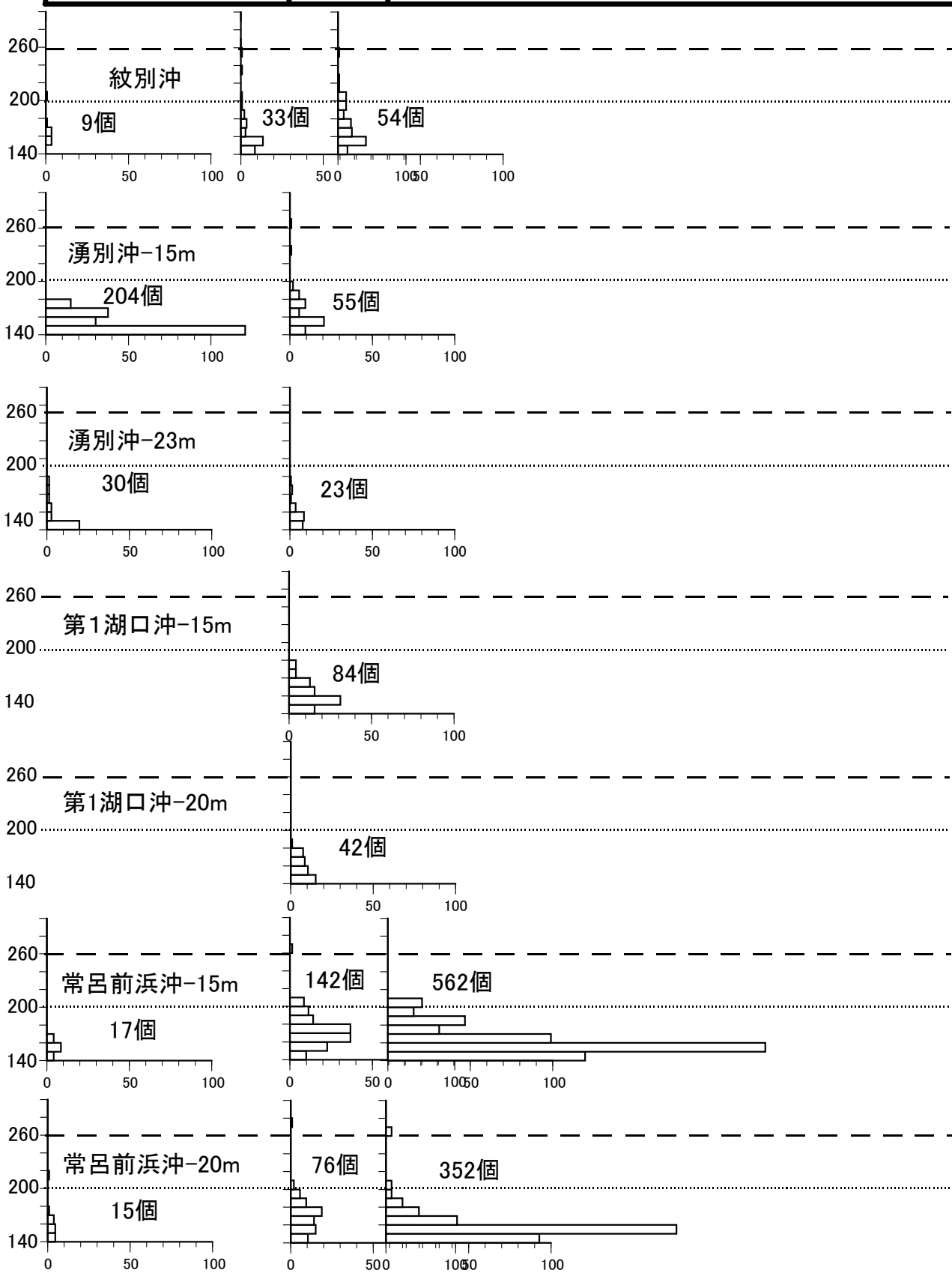
- ・5/19~20の臼谷、増毛、鬼鹿ではホタテラーバが14~21個/トン出現し、投入適期となりました。
- ・5/20の枝幸ではホタテラーバが26個(140~260ミクロン)出現し、採苗器を準備しています。
- ・5/21の雄武ではホタテラーバが45個、沙留では41個、紋別では69個(130ミクロン以上)出現し、採苗器投入の準備をしています。

5/15

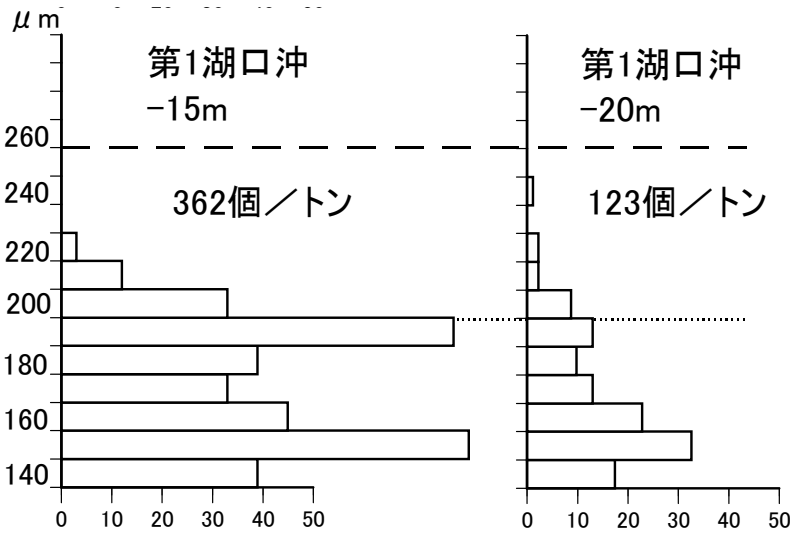
5/20

5/22

数字はラーバ数/トン



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)



5月23日に第1湖口沖のラーバ調査を行いました。

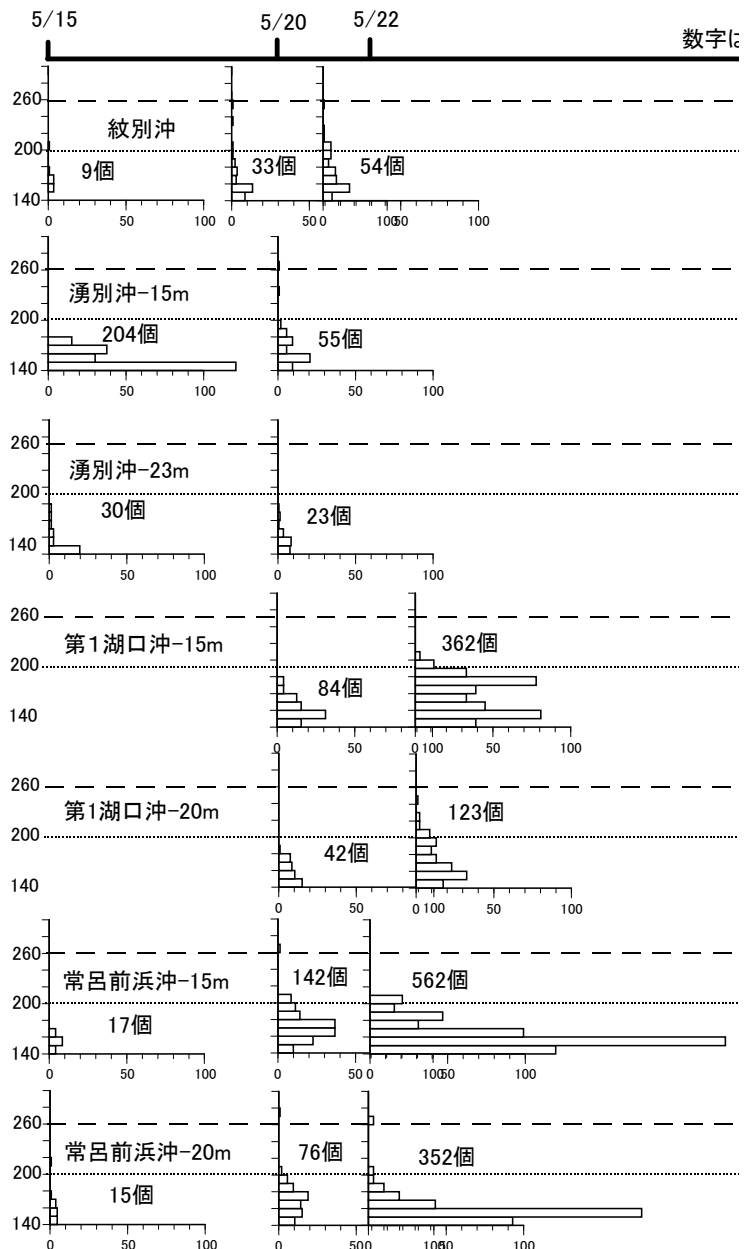
その結果、第1湖口沖の丘側で362個/トン、沖側で123個/トン出現していました。殻長の中心は180~190ミクロンと150~160ミクロンの2つの山がみられました。

200ミクロン以上の大型ラーバも全体の12%程度(31個/トン)出現していました。

◎他地区の情報

(水産指導所提供の資料より)

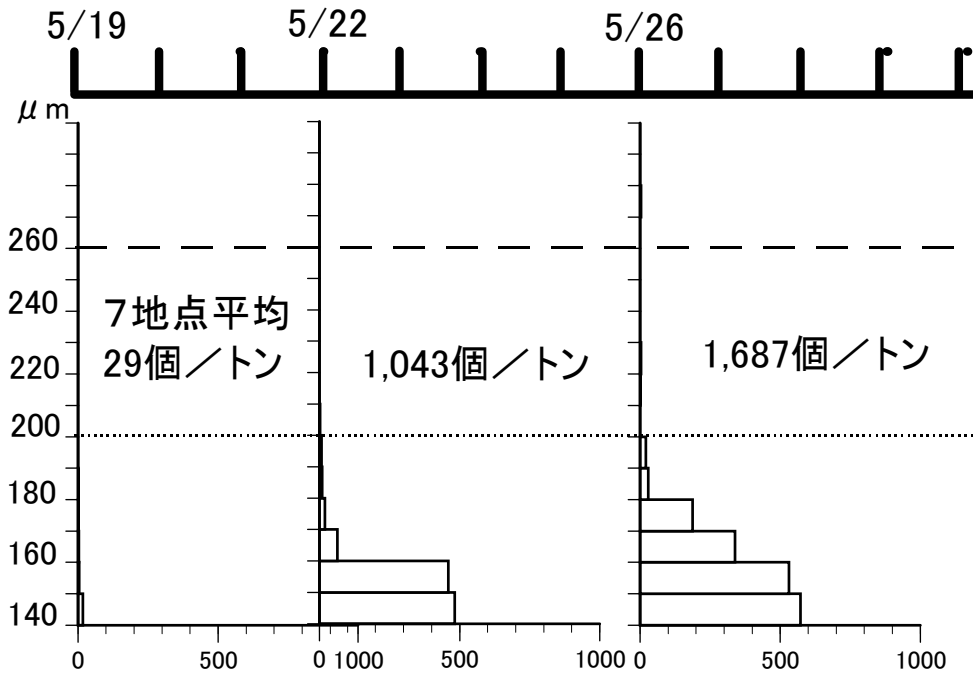
- ・5/21の後志の調査ではホタテラーバが8.6個/トン出現し、残りの採苗器投入指示が出されています。
- ・5/22の浜益の調査では35.4個(150~280ミクロン)、厚田では23.3個出現し、ともに採苗器投入の指示が出されています。
- ・5/23の雄武の調査では2.8個(160~260ミクロン)出現していますが、-10mの水温は3.6℃と前回より3.3℃も低下しています。



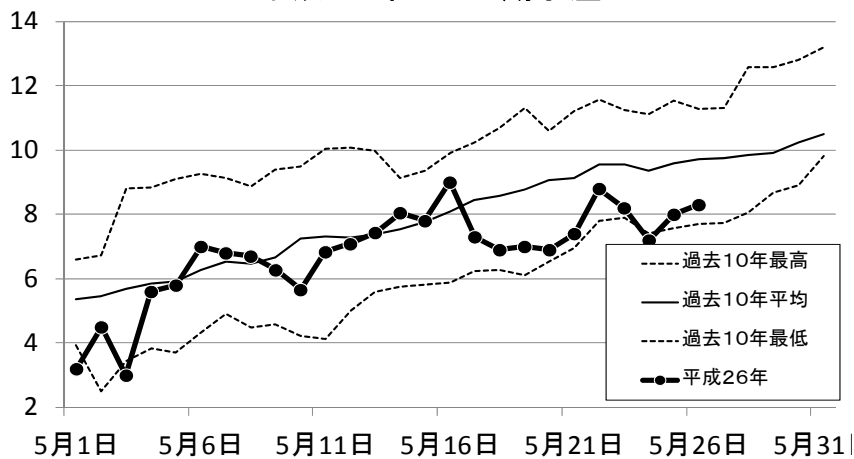
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で1,687個/トンが出現し、前回より増加しています。大きさは140~160ミクロンが中心ですが、160~180ミクロンのものも増加しています。

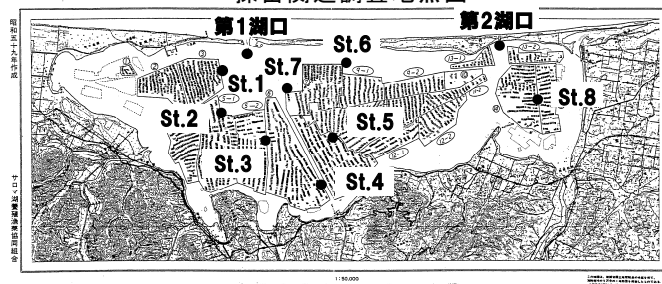
富富士沖 (ブイ3水深4m 正午) の水温は8.3°Cで平年を1.5°C下回っています。



平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図

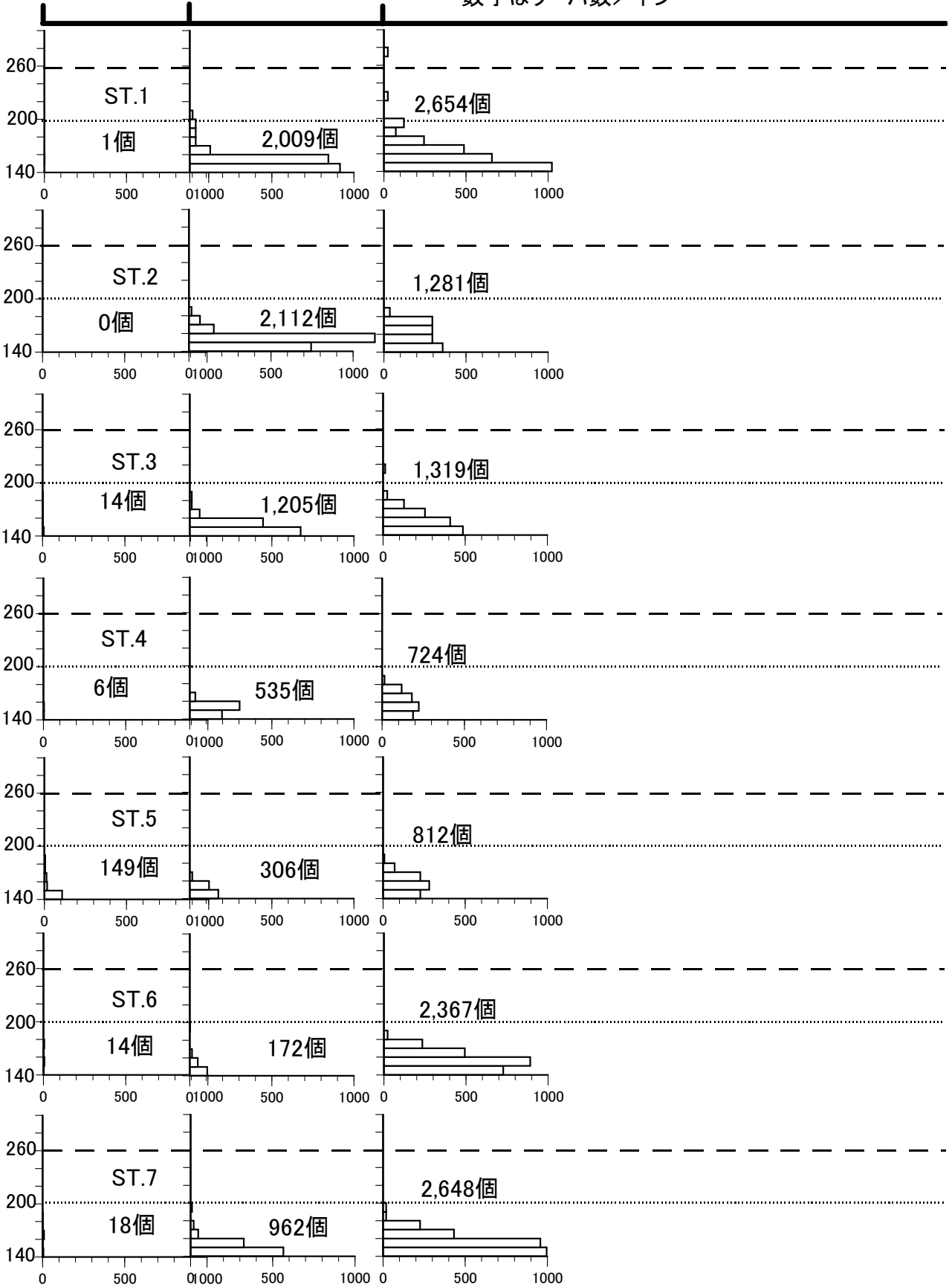


5/19

5/22

5/26

数字はラーバ数/トン

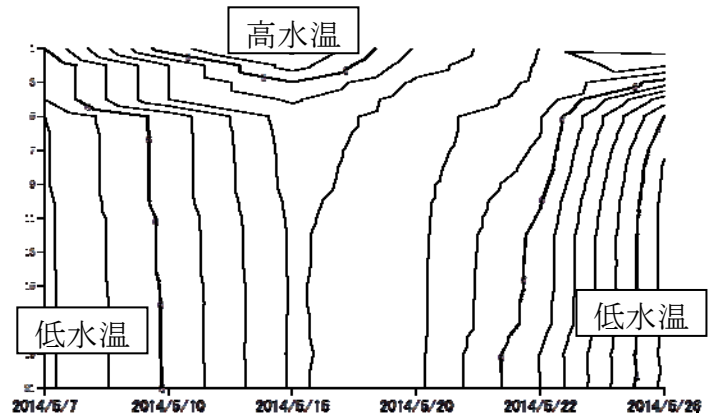
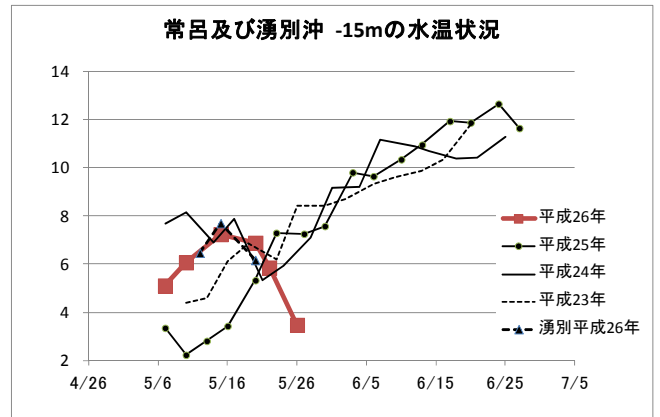
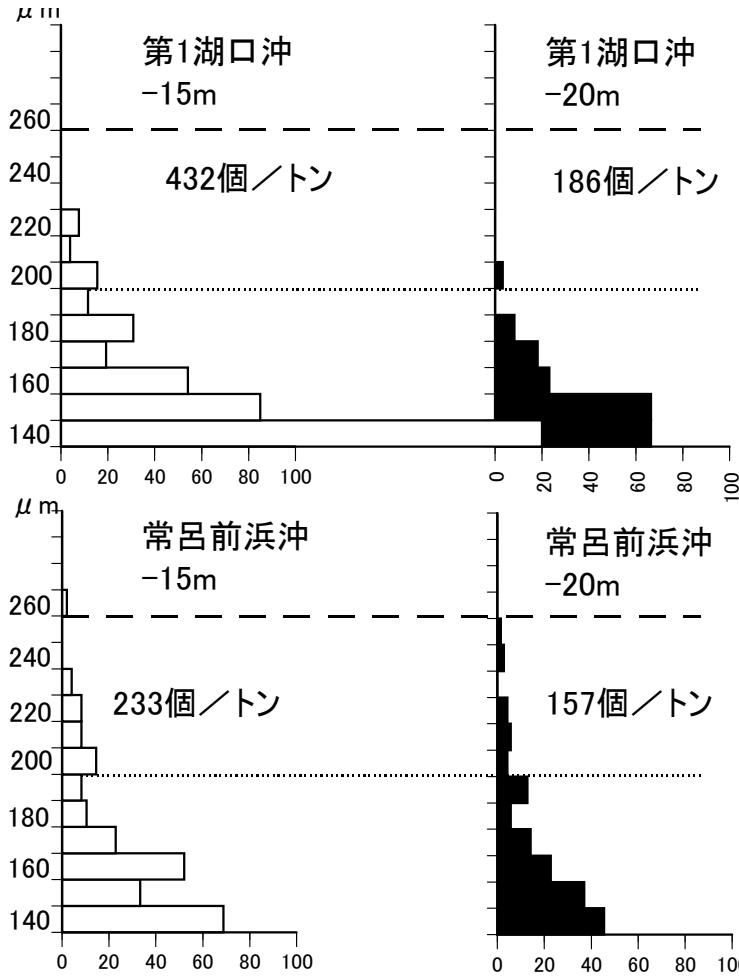


◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

5月26日に第1湖口沖、常呂外海のラーバ調査を行いました。

第1湖口の丘側では 432 個/トン、沖側では 186 個出現し、常呂漁港沖の丘側では 233 個、沖側では 157 個出現していました。殻長は 140~200ミクロンまで連続し、200ミクロン以上の大型のラーバも平均で 14 個/トン(9%)出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は 3.5℃で前回より 2.4℃低下しました。外海には 3.5~6.8℃の低水温塊が流入しています。低水温により、ラーバの数が減少したり、一度付着したラーバが脱落する場合があります。



◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・5/23 の小樽ではホタテラーバが 9.2 個/トン出現し、水温は 9.9℃と平年並です。
- ・5/23 の枝幸ではホタテラーバが 2.6 個/トン出現しています。
- ・5/26 の雄武ではホタテラーバは出現せず、水温は 4.8℃(-10m)で前回より 2.1℃上昇しています。
- ・5/26 の紋別ではホタテラーバが 22 個/トン(130-220ミクロン)出現しましたが、水温は 4.9℃で前回より 1.3℃下降しています。

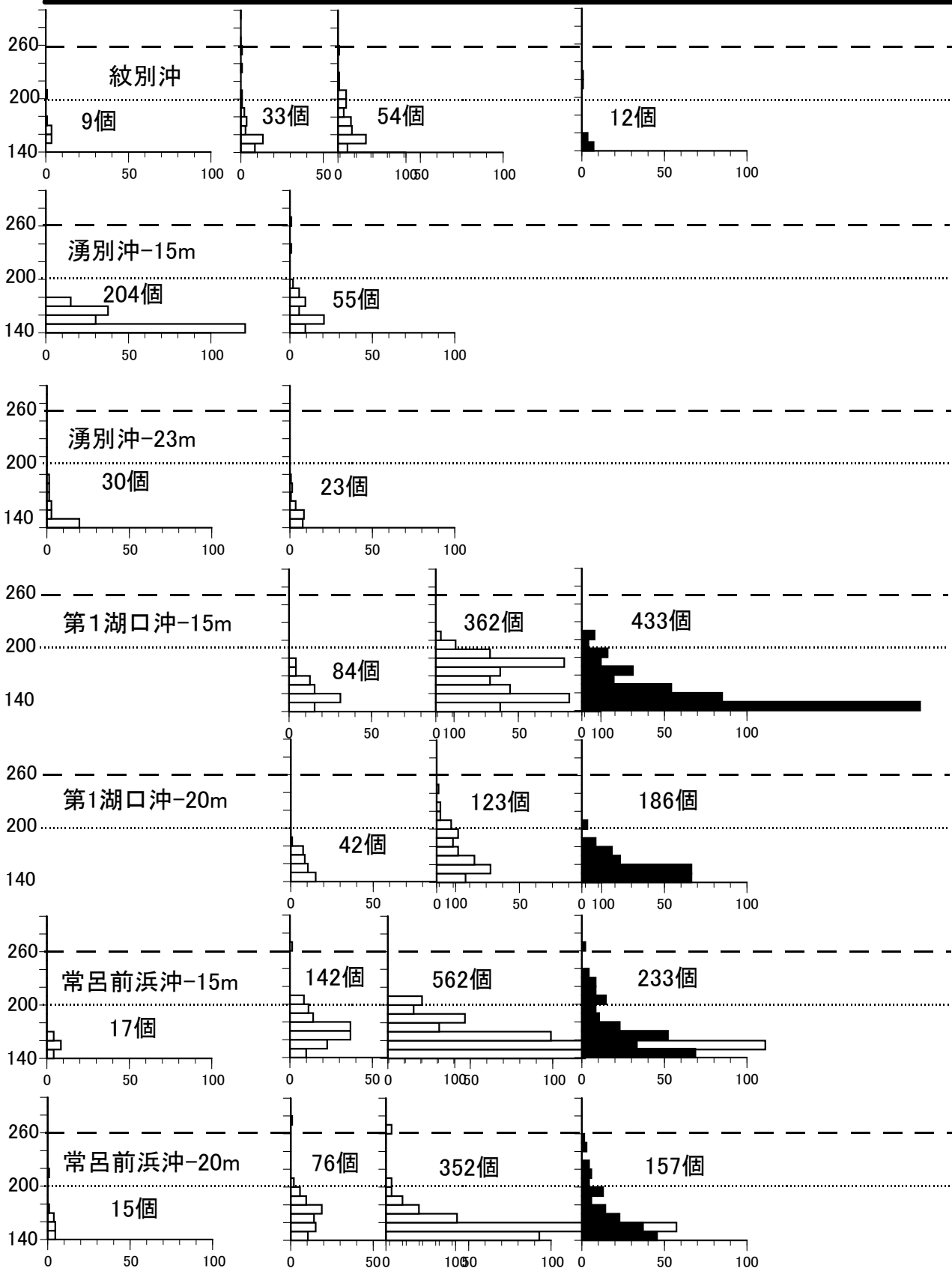
5/15

5/20

5/22

5/26

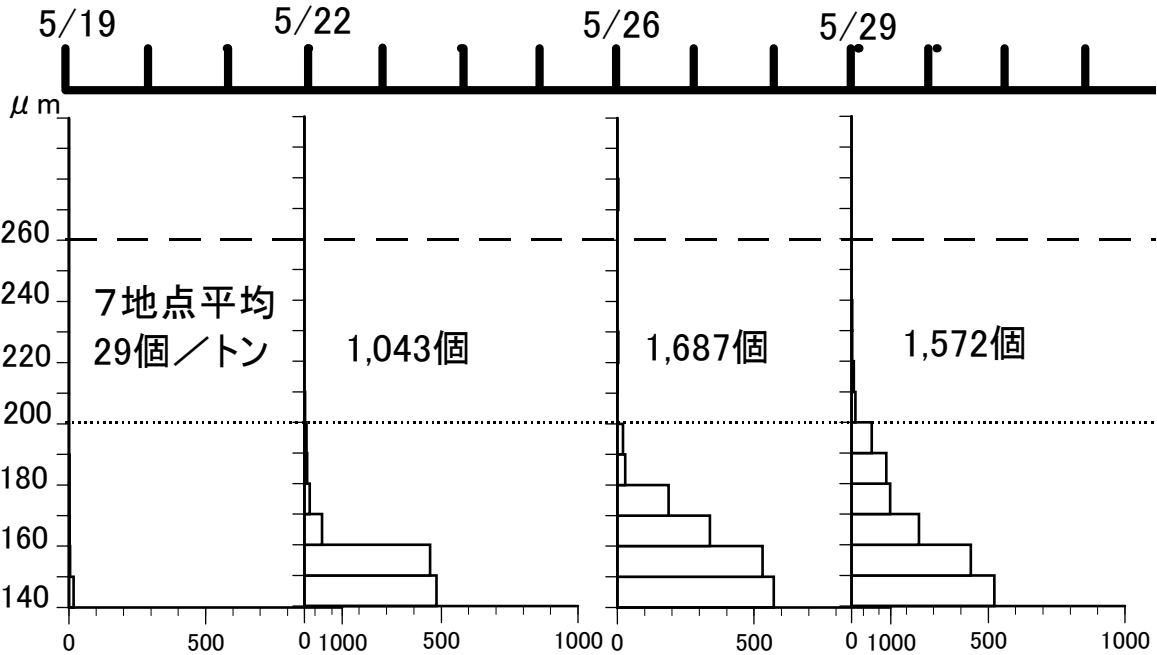
数字はラーバ数/トン



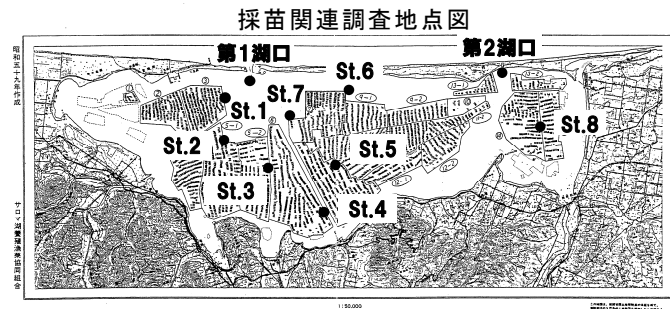
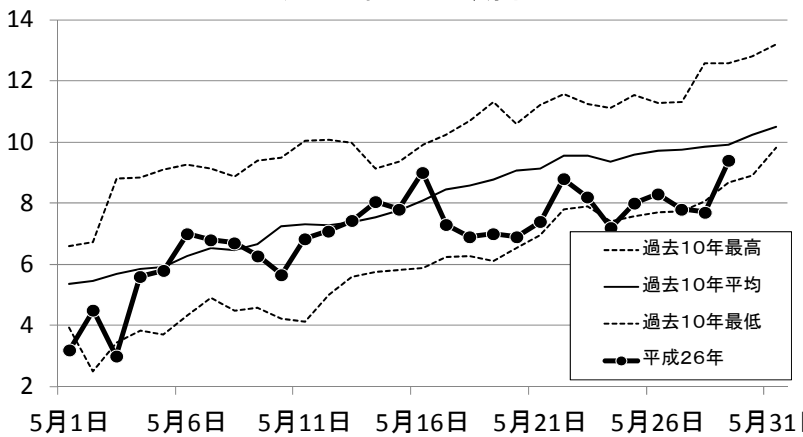
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で1,572個/トンが出現しました (前回と同程度)。大きさは140から240ミクロンまで連続して出現しており、200ミクロン以上の大型ラーバも平均で26個/トンと増加しています。

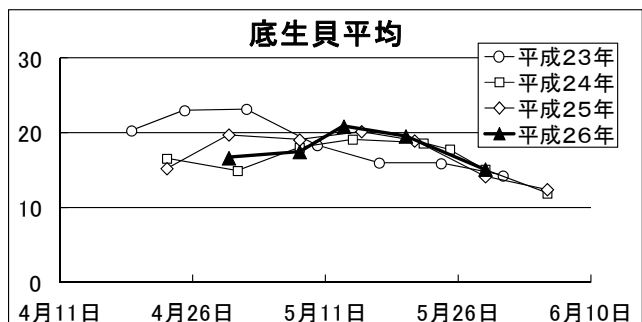
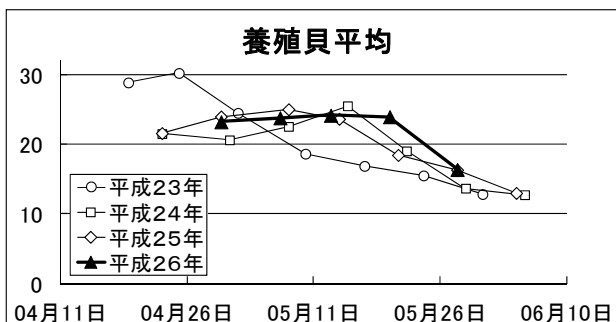
富富士沖 (ブイ3水深4m正午) の水温は9.4℃と平年値 (9.9℃) に近づきました。



平成26年サロマ湖水温



◎ サロマ湖生殖巣調査結果 (養殖貝、底生貝共に産卵しました)



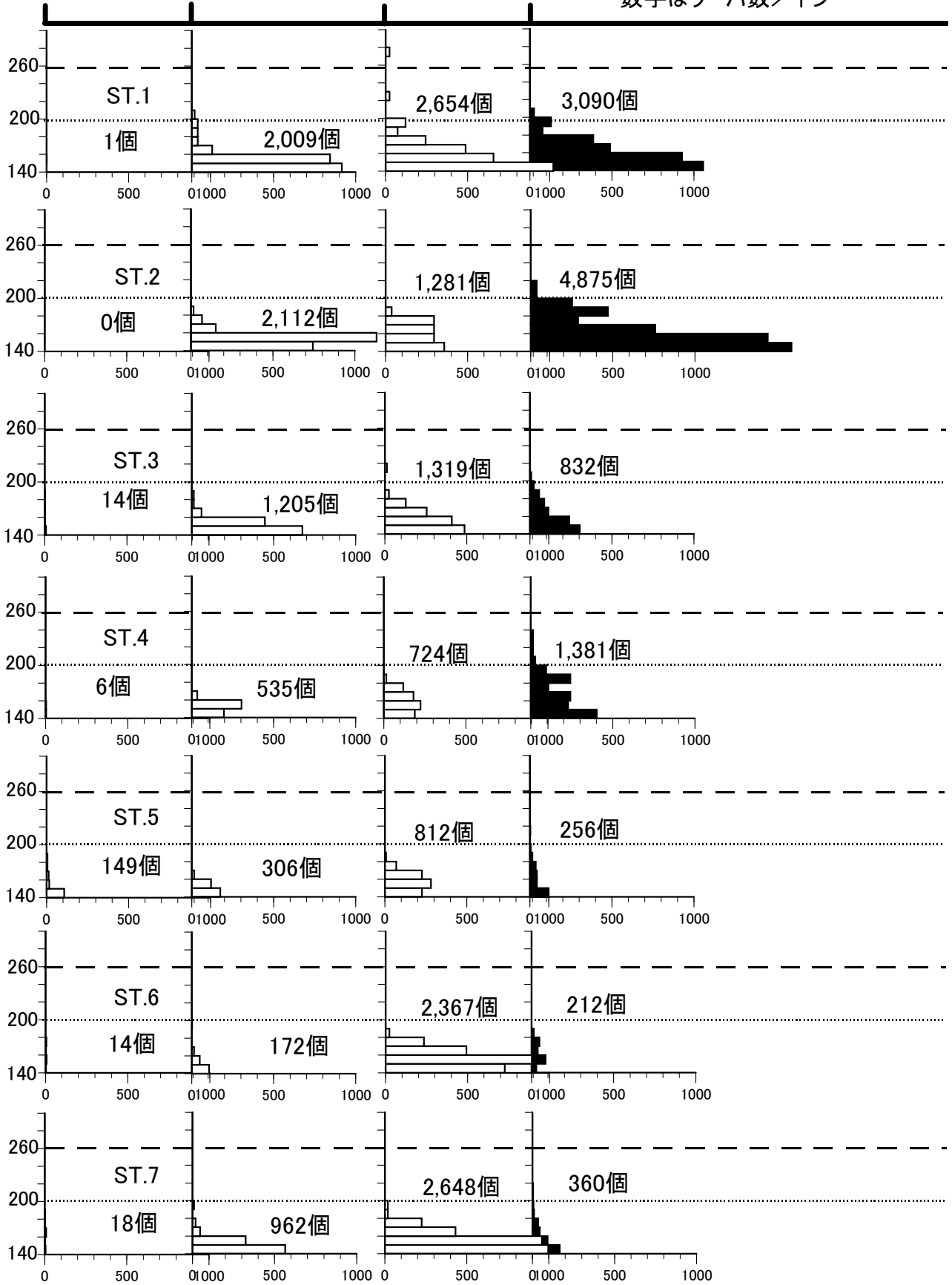
5/19

5/22

5/26

5/29

数字はラーバ数/トン



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

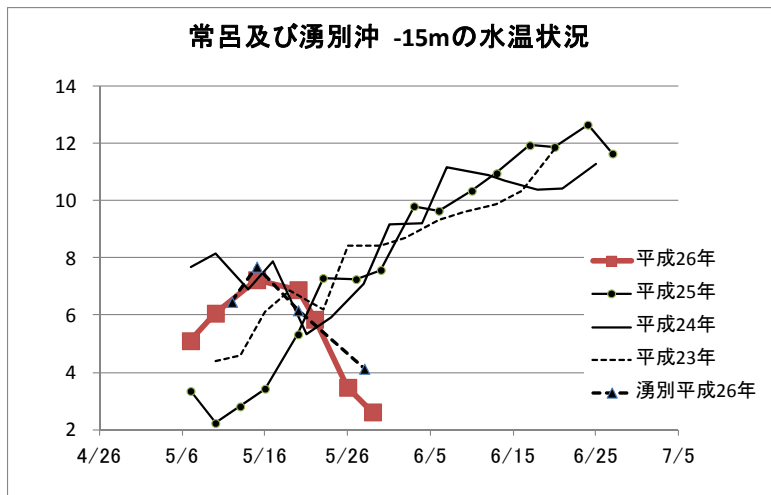
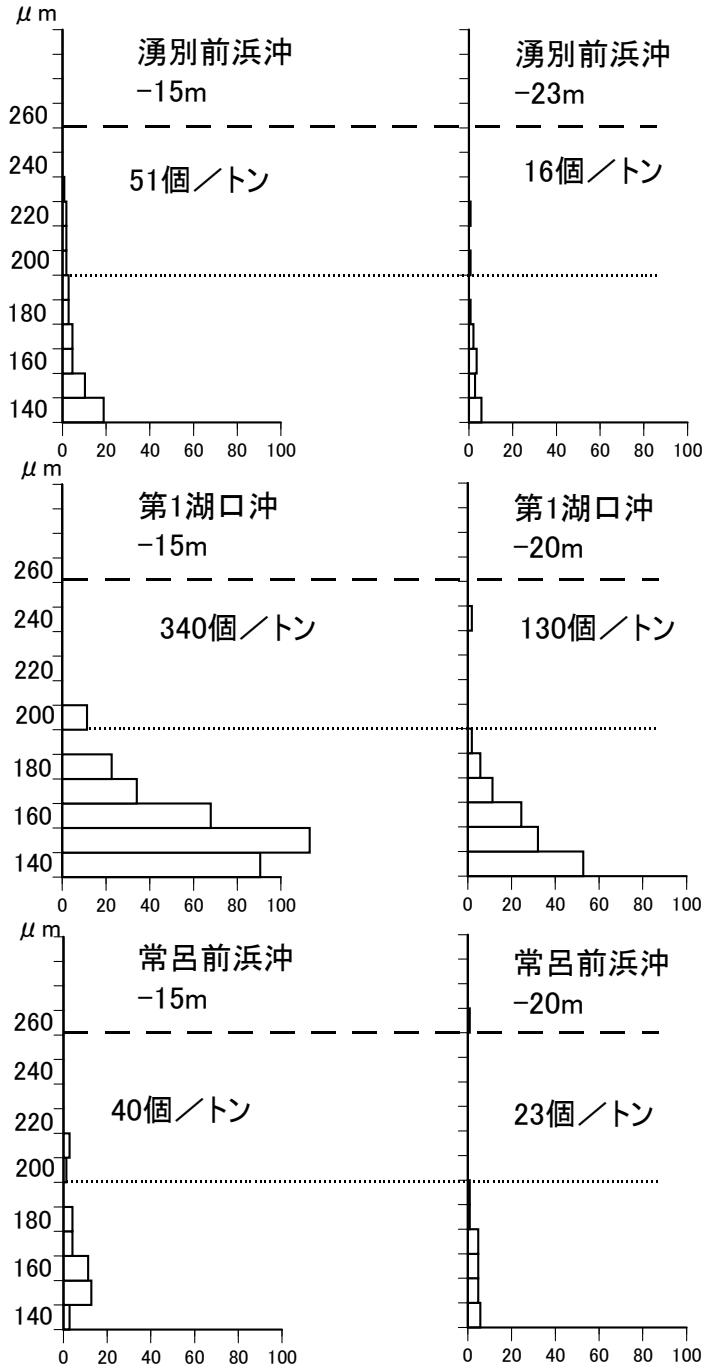
5月28日に湧別前浜沖(紋別境界)、29日に第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

湧別前浜沖では 16~51 個/トン、第1湖口沖では 130~340 個/トン、常呂漁港沖では 23~40 個/トンが出現していました。殻長は 140~260 ミクロンまで連続し、200 ミクロン以上の大型のラーバは平均で 4.4 個/トン(4.4%)出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は 2.6°Cで前回より 1.1°C低下しました。

◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・5/26~27 の鬼鹿、増毛、臼谷ではホタテラーバが 9.8~75.8 個/トン出現し、残りの採苗器を投入しています。
- ・5/28 の沙留、雄武ではホタテラーバが 0~0.4 個/トン出現し、水温は 5°C(-10m)程度でした。
- ・5/28 の枝幸ではホタテラーバは 3.9 個/トン出現し、水温は 5.4°C、採苗器を投入しています。
- ・5/28 の宗谷、猿払ではホタテラーバが 13.7 個/トン(150-280ミクロン)出現し、水温は 7.5°C(前回より 2.5°C上昇)で、採苗器の投入が完了しています。



5/15

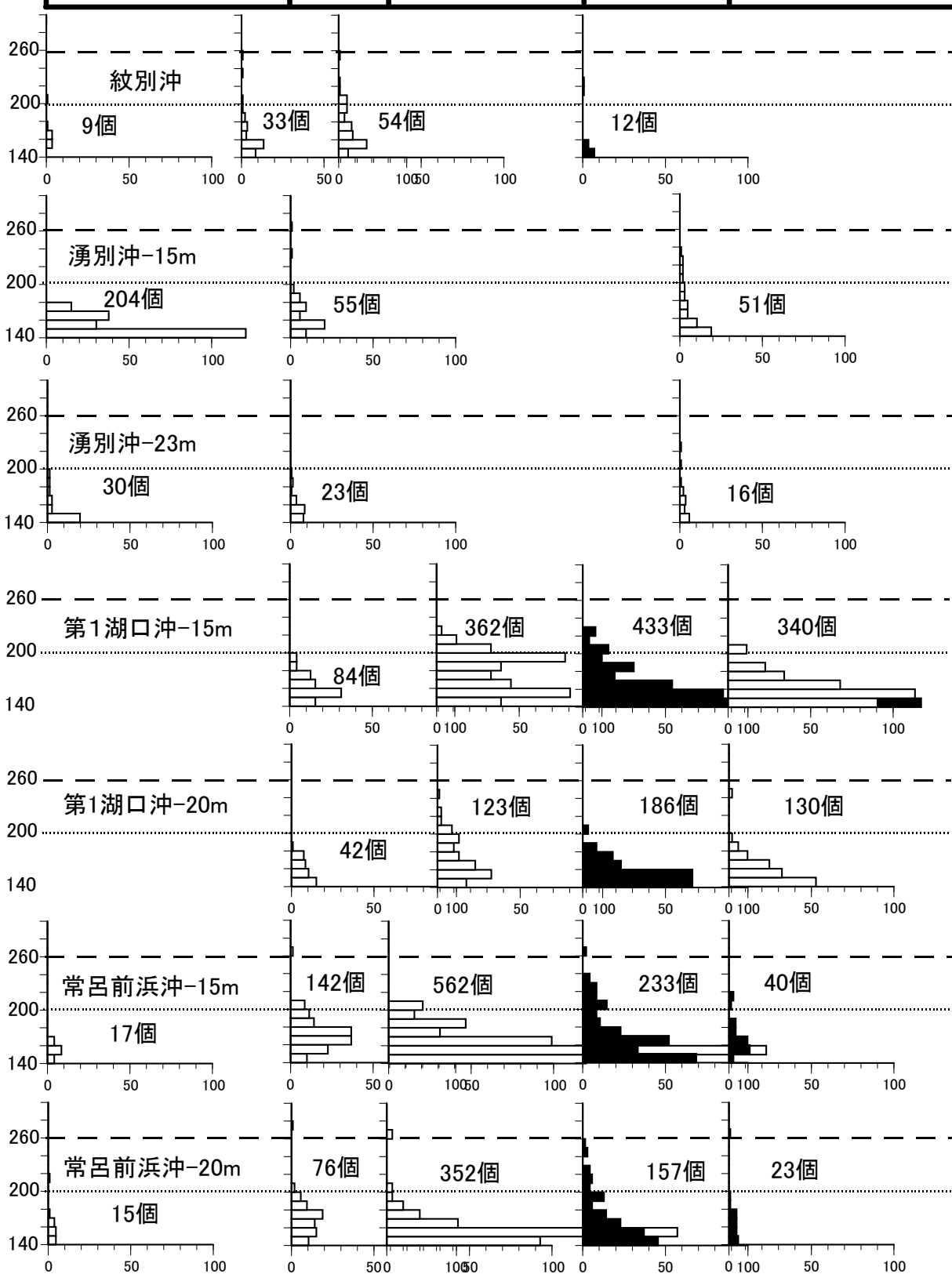
5/20

5/22

5/26

5/29

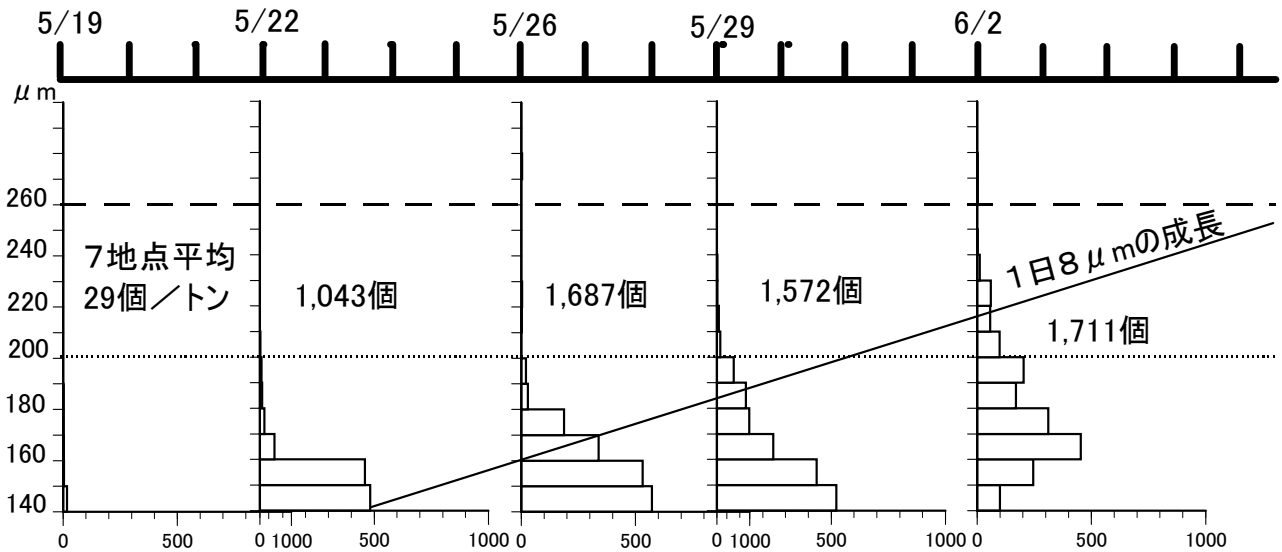
数字はラーバ数/トン



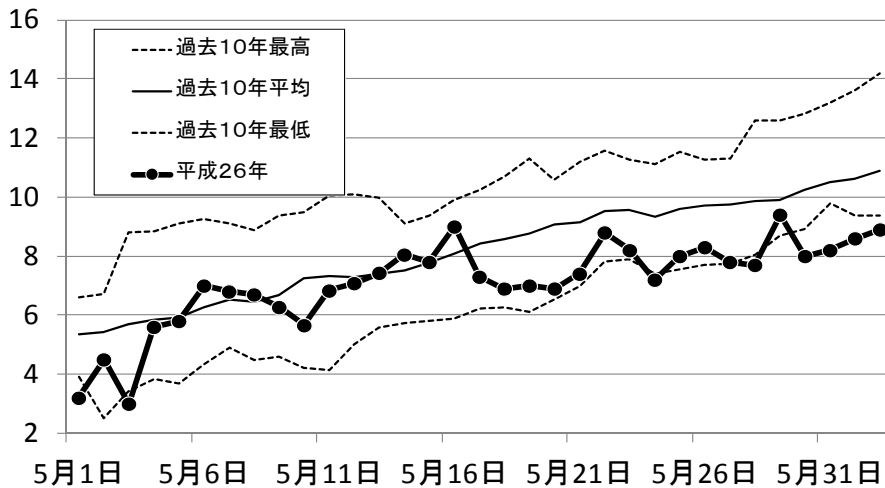
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で1,711個/トンが出現しました (前回と同程度)。大きさの山は160~180ミクロンに移行し、200ミクロン以上の大型ラーバは229個/トンに増加しています。260ミクロン以上の付着期ラーバは3.3個/トンで、ST1のみで出現しました。

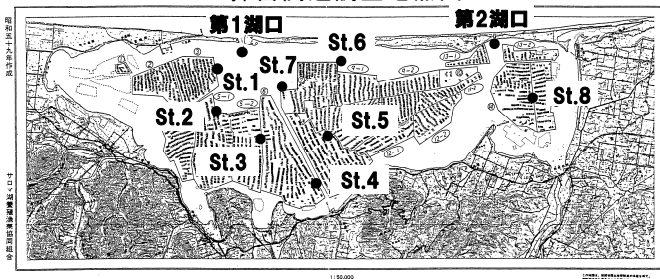
富富士沖 (ブイ3水深4m正午) の水温は8.9℃と平年値を2℃下回っています。



平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図



5/19

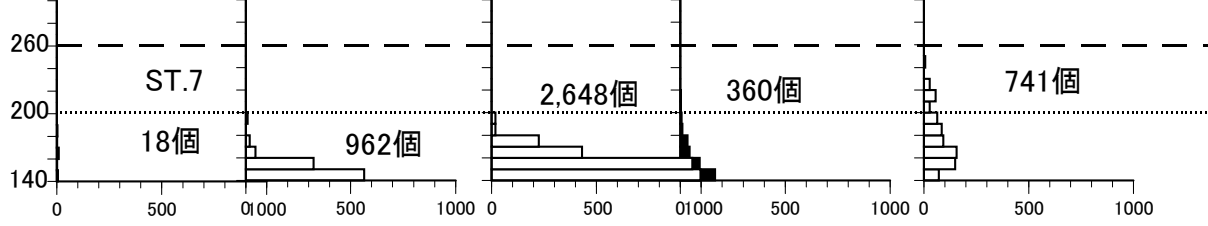
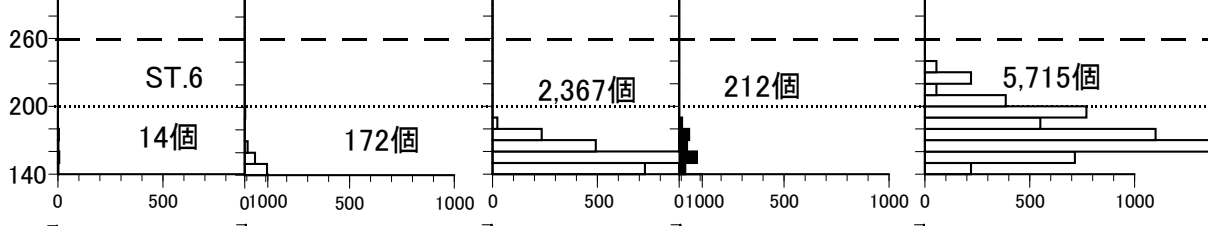
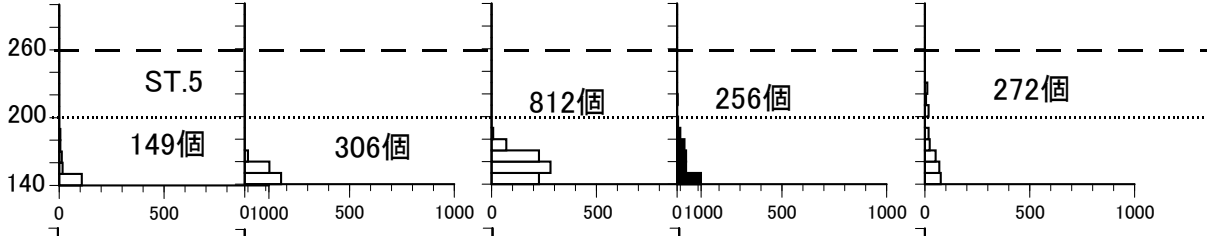
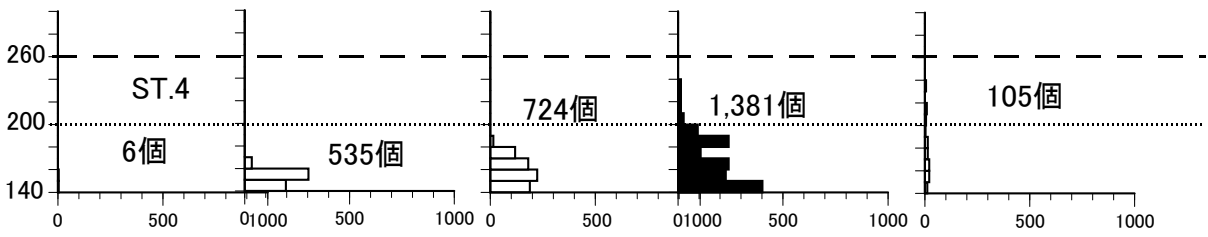
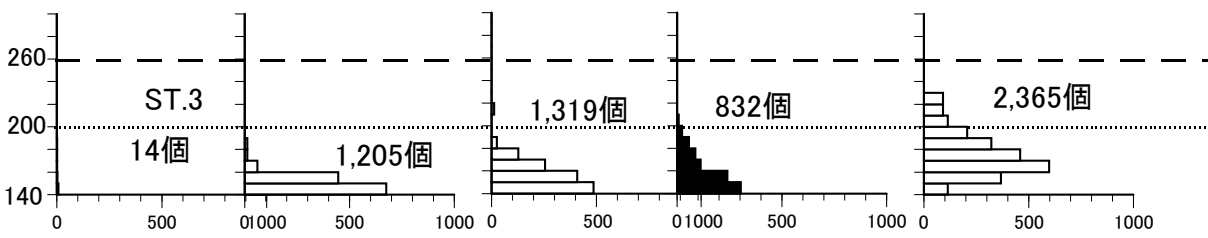
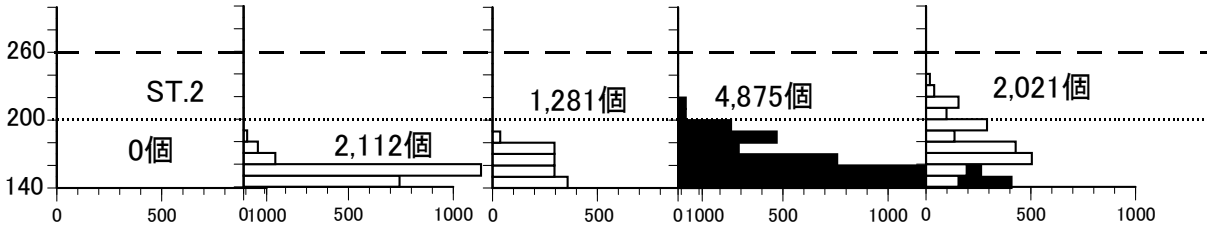
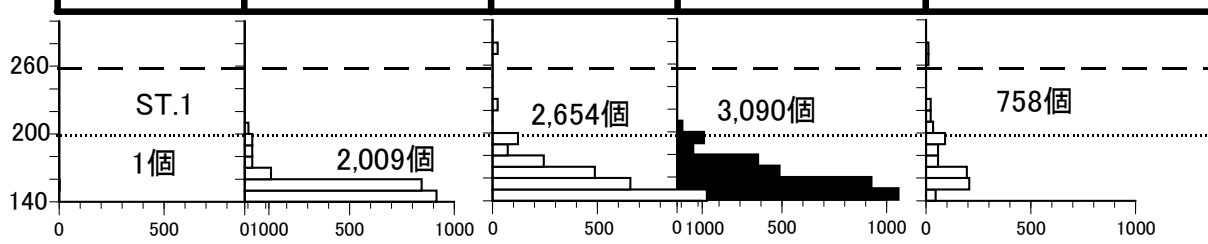
5/22

5/26

5/29

6/2

数字はラーバ数/トン



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

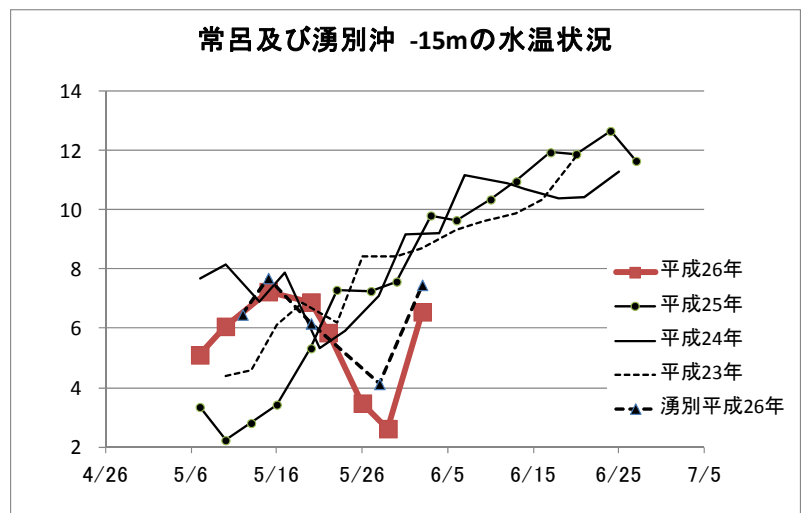
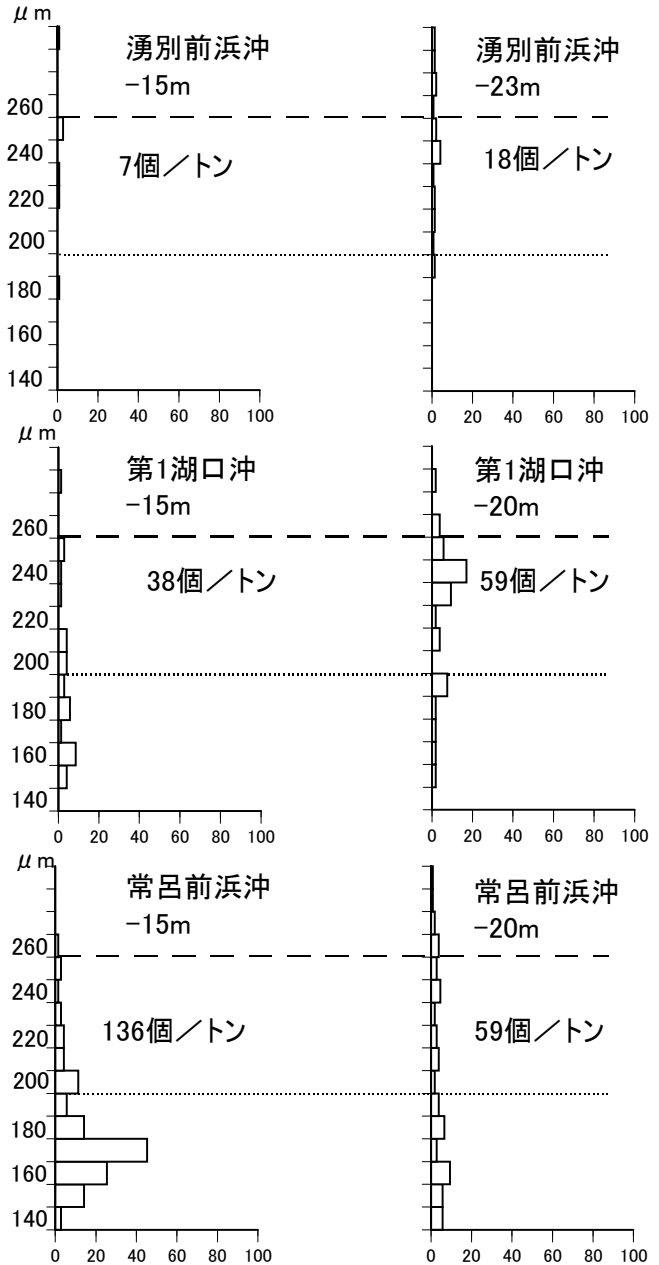
6月2日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

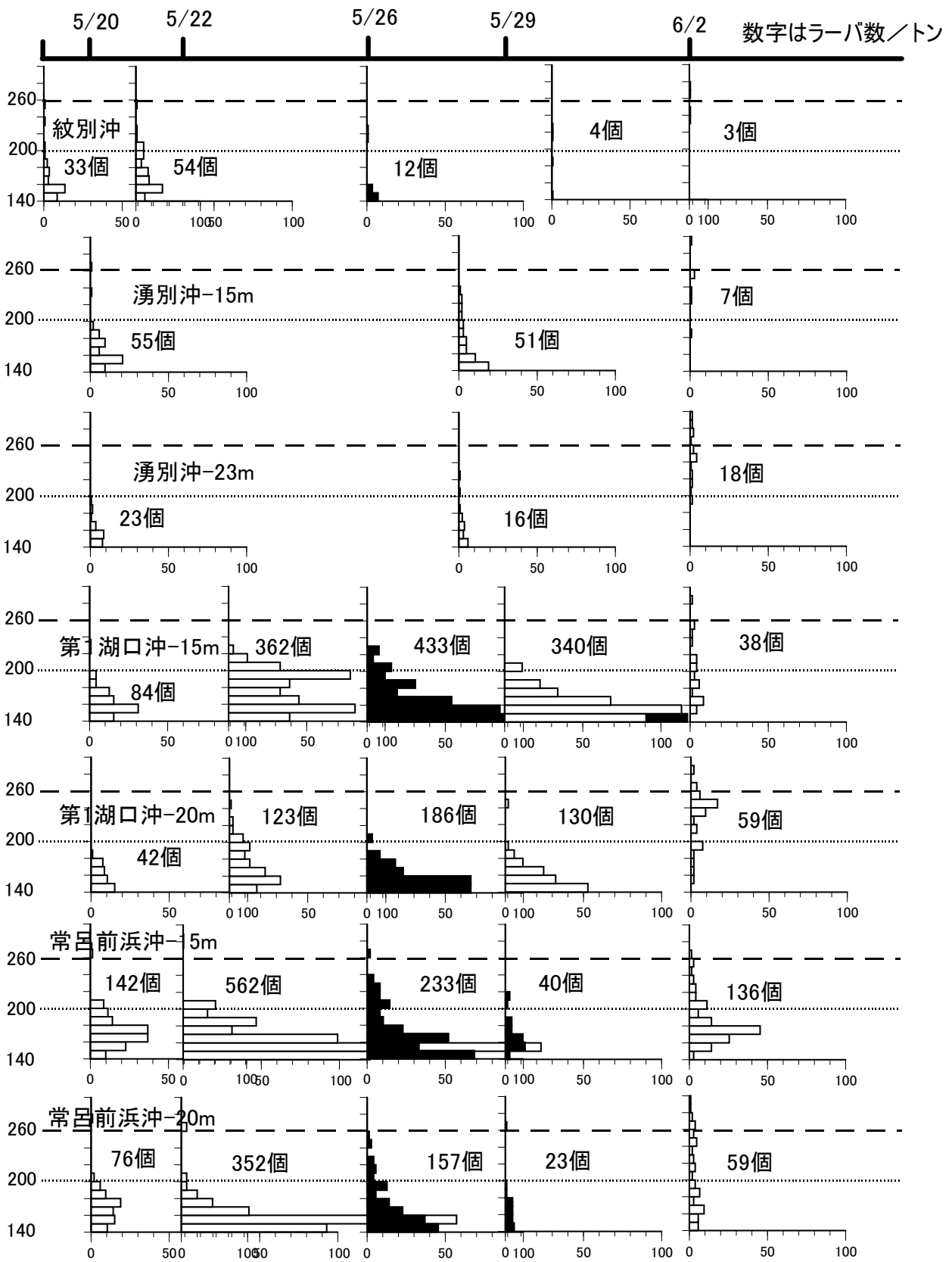
湧別前浜沖では 7~18 個/トン、第1湖口沖では 38~59 個/トン、常呂前浜沖では 59~136 個/トンが出現していました。殻長は 140~300 ミクロンまで連続して出現し、200 ミクロン以上の大型のラーバは平均で 22.4 個/トン(43%)出現し、そのうち 260 ミクロン以上の付着期ラーバは 0.9~7.5 個/トン出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は 6.6°Cで前回より 4.0°C(湧別は 3.3°C)急激に上昇しました。

◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・5/29 の神恵内ではホタテラーバが 6.1 個/トン出現し、1週間で11個/袋の付着がありました。
- ・5/30 の枝幸ではホタテラーバは 3.5 個/トン出現し、水温は 6.9°C、前回より 1.5°C上昇しています。
- ・5/31 の宗谷ではホタテラーバが 40.9 個/トン(140-300ミクロン)出現し、水温は 8.6°C(前回より 1.1°C上昇)でした。
- ・6/2 の雄武ではホタテラーバが 3.2 個/トン(170-260)出現し、水温は 8.1°C(-10m)で、前回より 1.7°C上昇しました。
- ・6/2 の紋別ではホタテラーバが 2.8 個/トン(230-270)出現し、水温は 7.8°Cと前回より 2.8°C上昇しました。

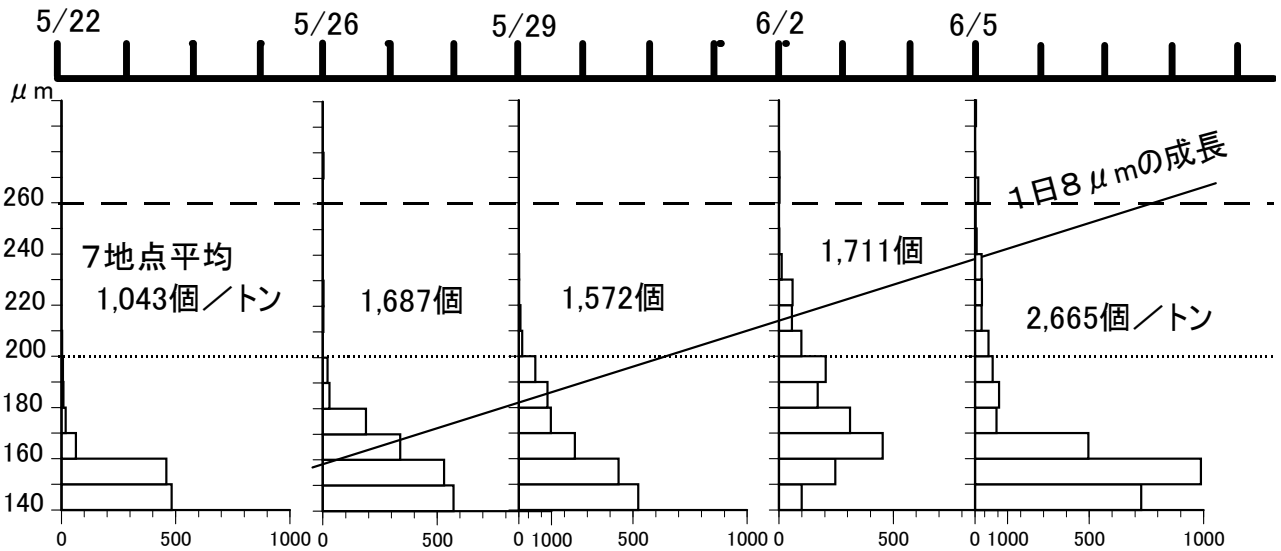




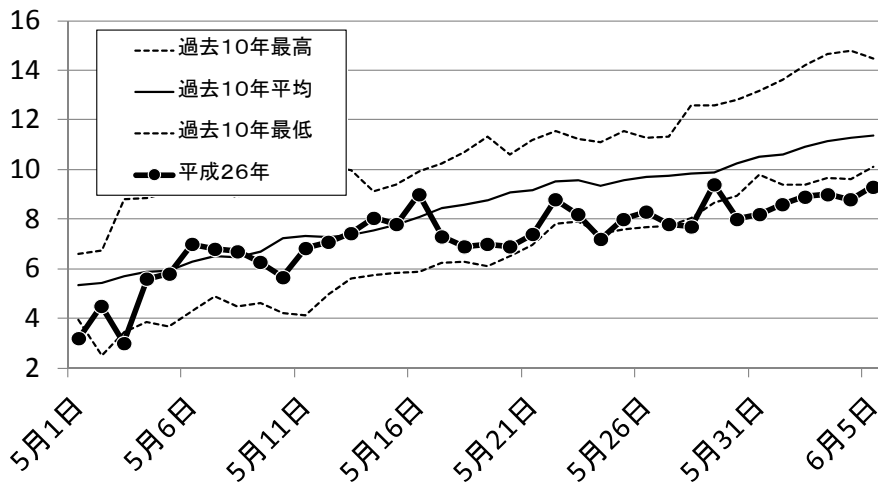
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で2,665個/トンが出現しました。殻長の山は150~160ミクロンですが、大型ラーバも178個、付着期ラーバが21個出現しました。付着期ラーバは第1湖口周辺のST2、ST3、ST7で出現しています。

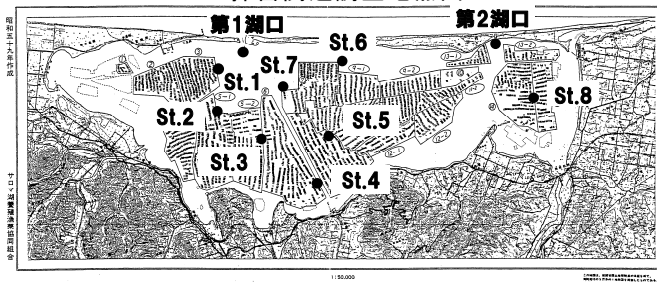
富富士沖 (ブイ3水深4m正午) の水温は9.1℃と平年値を2℃下回っています。

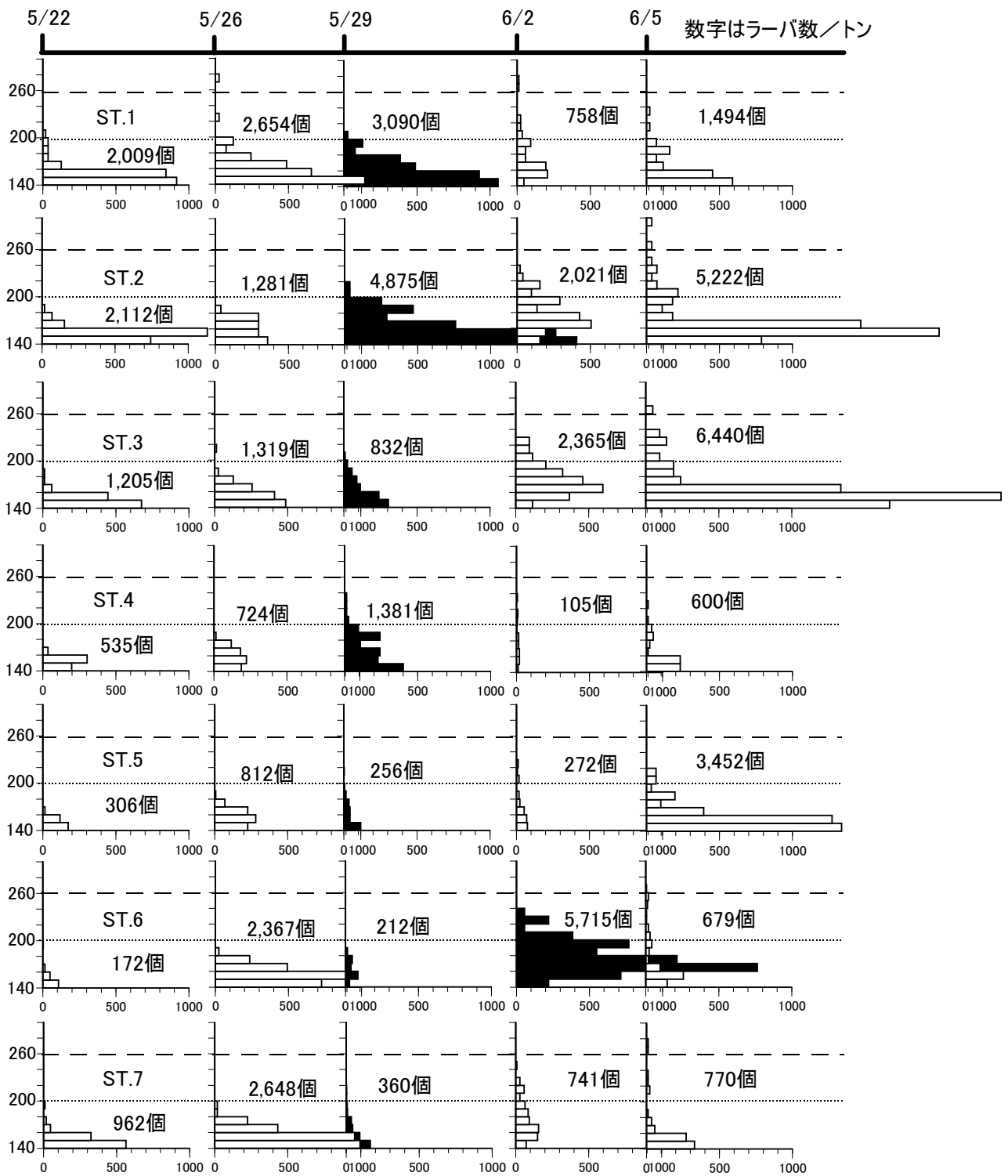


平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





◎試験採苗器による付着量調査結果

1週間の平均付着数は20個（1日当たり2.8個）でした。

試験採苗器1袋当りの付着数（1日当たり）

	ST. 2	ST. 3	ST. 4	3点平均
5/29-6/5	15個(2.1個)	31個(4.4個)	13個(1.8個)	20個(2.8個)

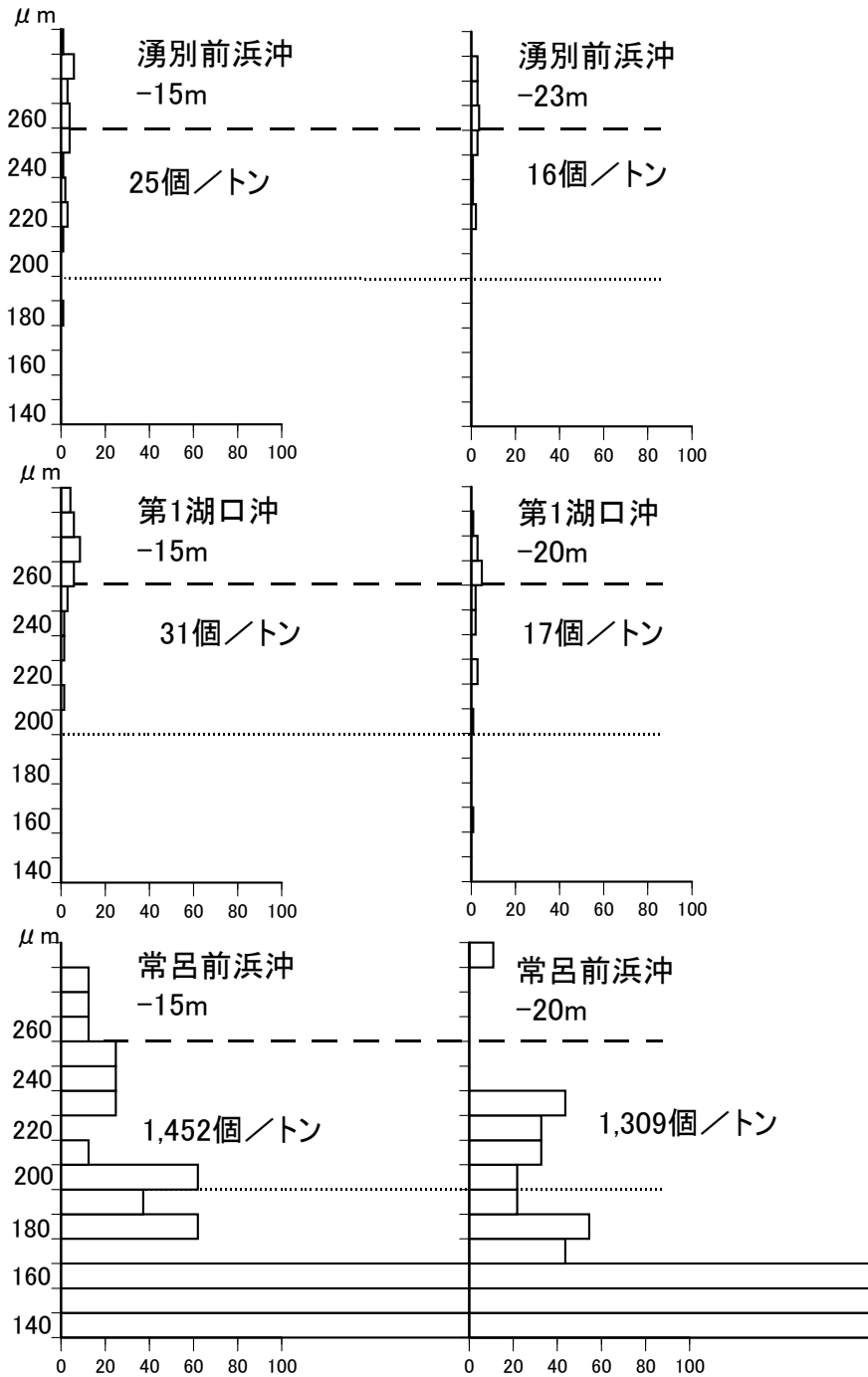
◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

6月5日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

湧別前浜沖では16~25個/トン、第1湖口沖では17~31個/トン、常呂漁港沖では1,309~1,452個/トンが出現していました。殻長は湧別前浜沖、第1湖口沖では200ミクロン以上の大型がほとんどでしたが、常呂漁港沖丘側は140~290ミクロンまで連続して出現した一方、常呂漁港沖側では200ミクロン以上の大型のラーバは全体の10%程度でした。

全体平均では260ミクロン以上の付着期ラーバが17.2個/トン出現していました。

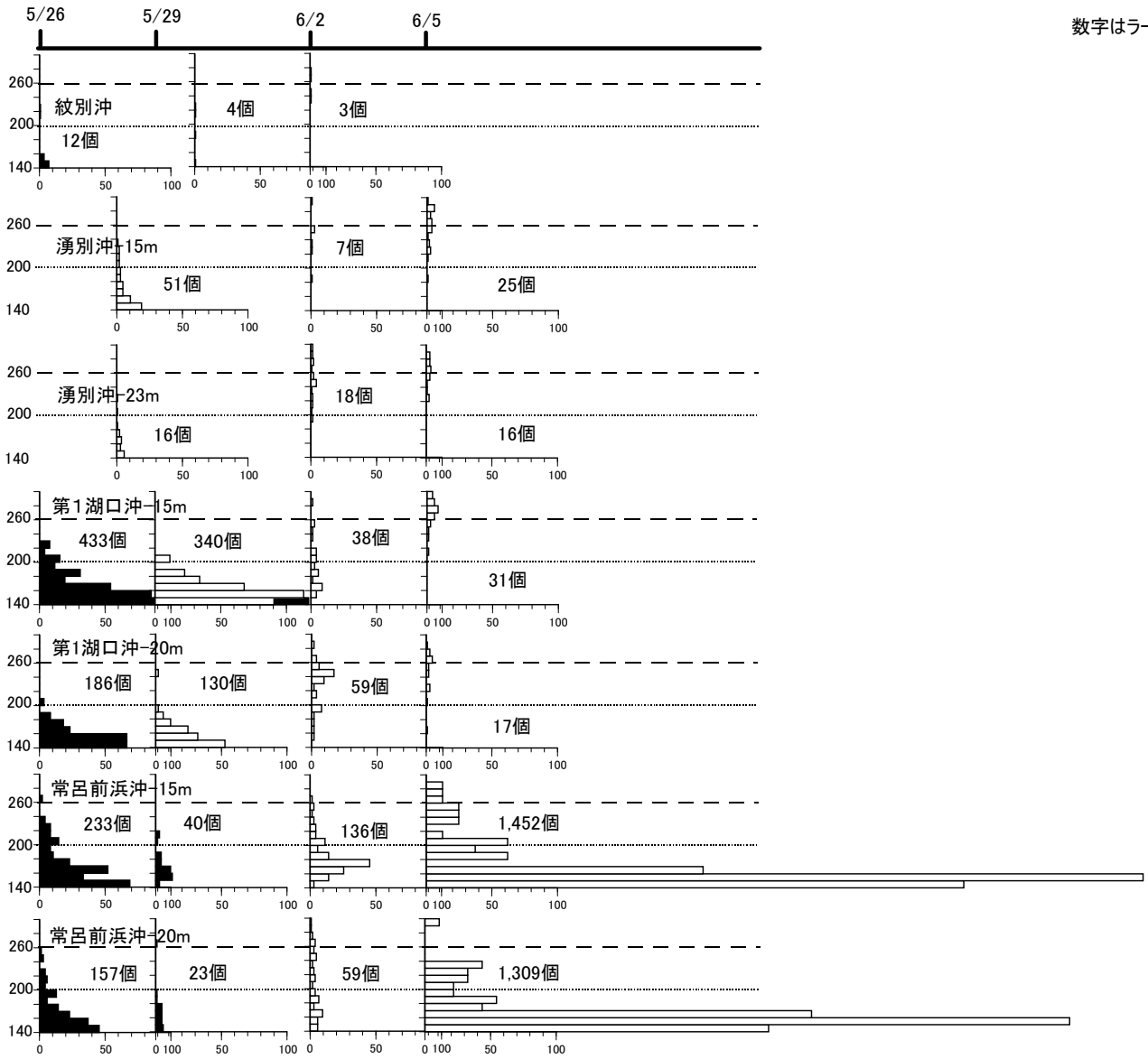
常呂沖の外海水の水温(-15m)は9.3°Cで前回より2.8°C(湧別は9.6°Cで2.1°C上昇)急激に上昇しました。



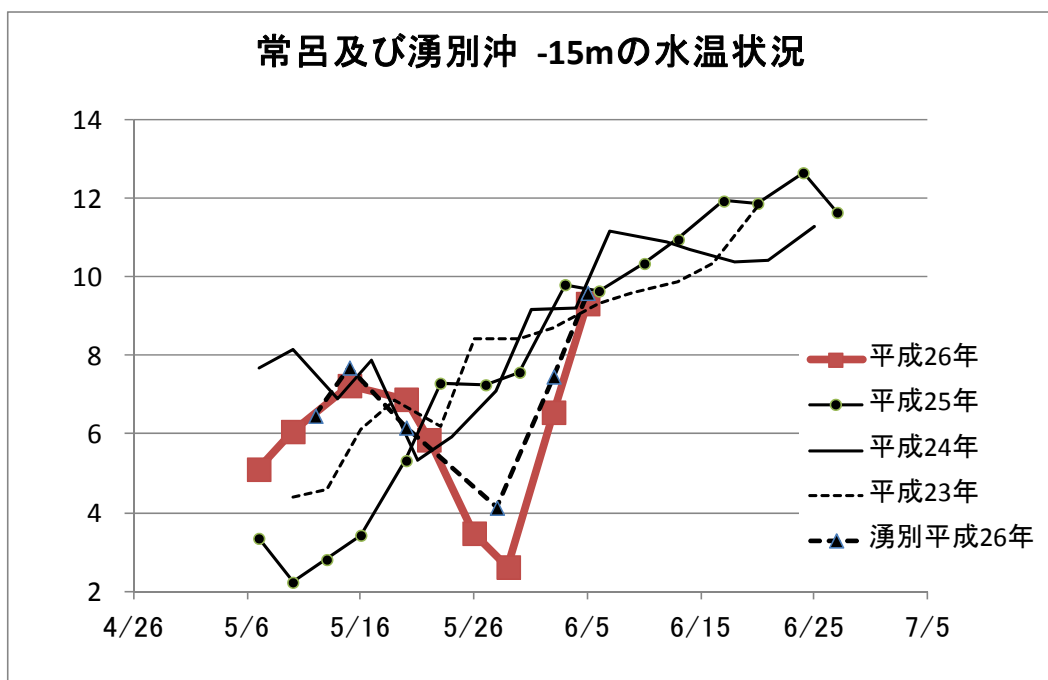
◎他地区の情報(水産指

導所より提供いただいた資料より)

- ・6/4の枝幸では水温が10.2°C(平年以上)になり、ホタテラーバは12.4個/トン(付着サイズが8割)出現しました。
- ・6/4の雄武は水温9.4°Cでラーバは9.2個/トン(220~300ミクロン)が出現しました。
- ・6/4の沙留の水温は9.6°Cで、ラーバは14.9個/トン(200~300ミクロン)が出現しました。
- ・6/3の厚田ではラーバが38.6個/トン(170~290ミクロン)出現し、付着サイズが54%を占めていました。
- ・6/3の増毛ではラーバが40.6個/トン出現し、大型が多くを占めていました。



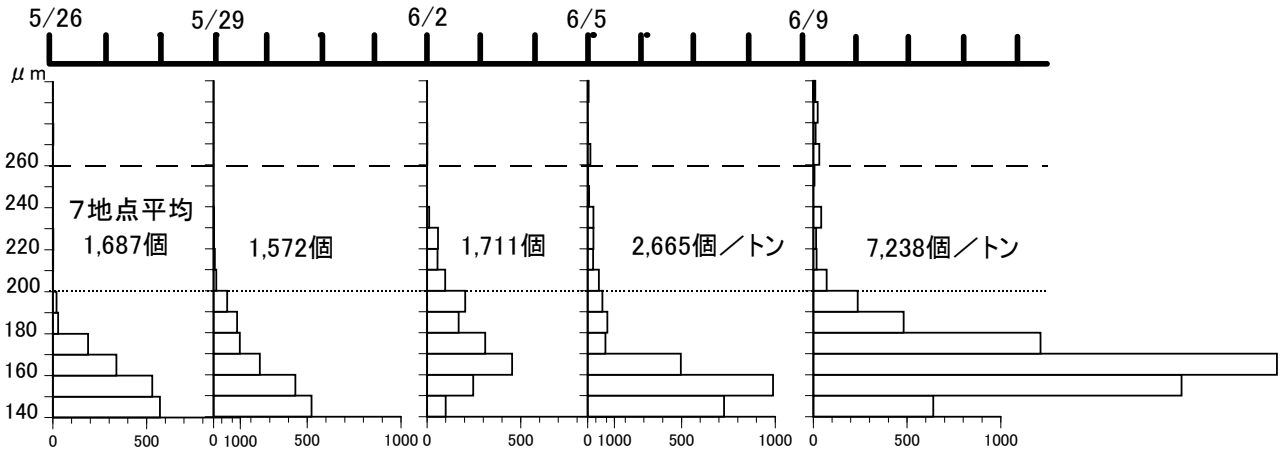
常呂及び湧別沖 -15mの水温状況



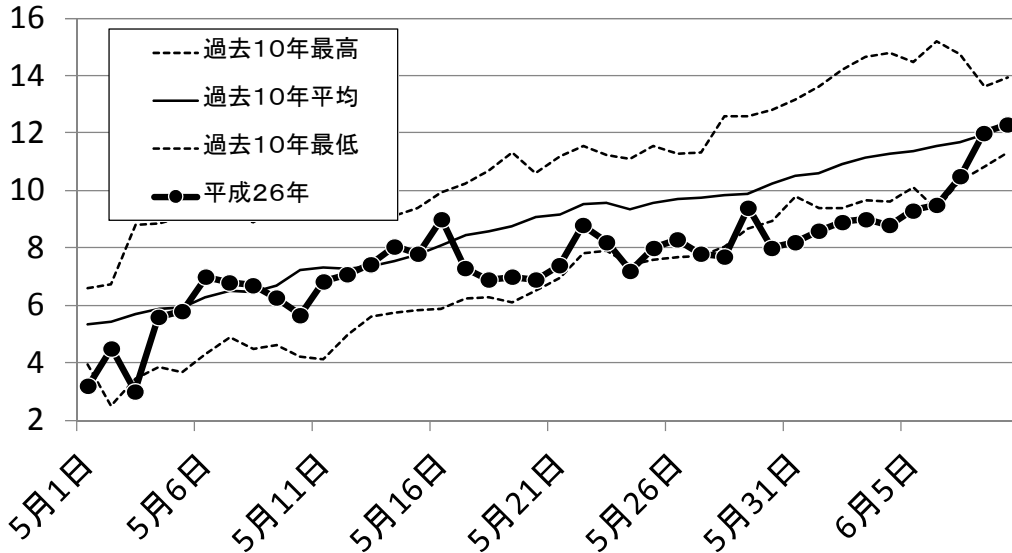
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で7,238個/トンに増加しました。殻長の山は160~170ミクロンですが、大型ラーバが230個、付着期ラーバが78個出現し、現在付着の最中と考えられます。

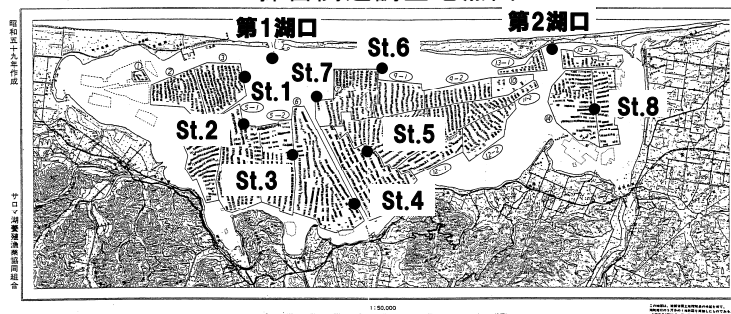
富富士沖 (ブイ3水深4m 正午) の水温は12.3℃とほぼ平年値並の水温となりました。



平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

6月9日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

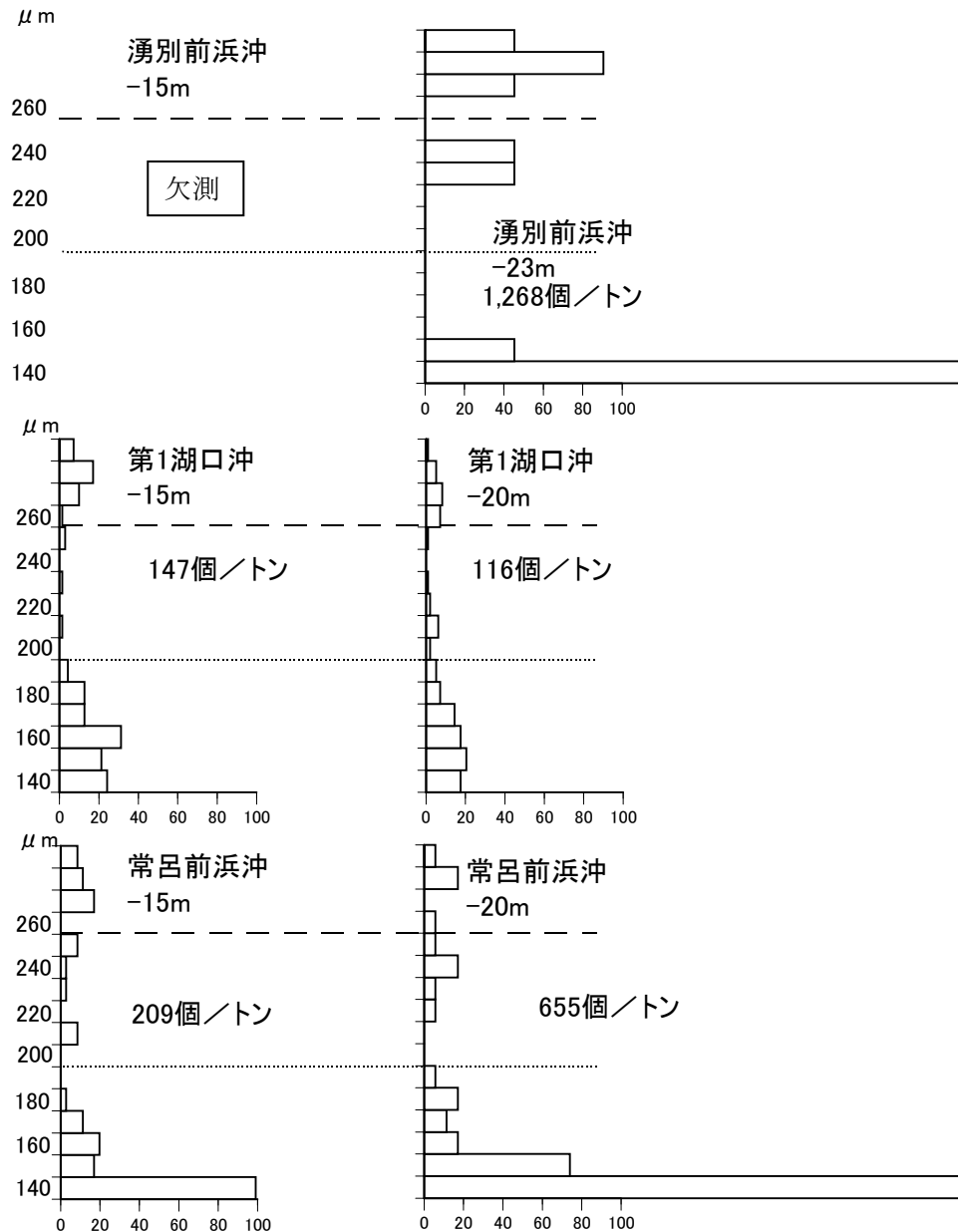
湧別前浜沖では1,268個/トン、第1湖口沖では116~147個/トン、常呂漁港沖では209~655個/トンが出現していました。

全地点で260ミクロン以上の付着期ラーバが20個/トン以上出現しており、現在が付着の盛期と考えられます。

先月末に投入した第1湖口沖の採苗器には1,500個/袋程度の付着がみられました。

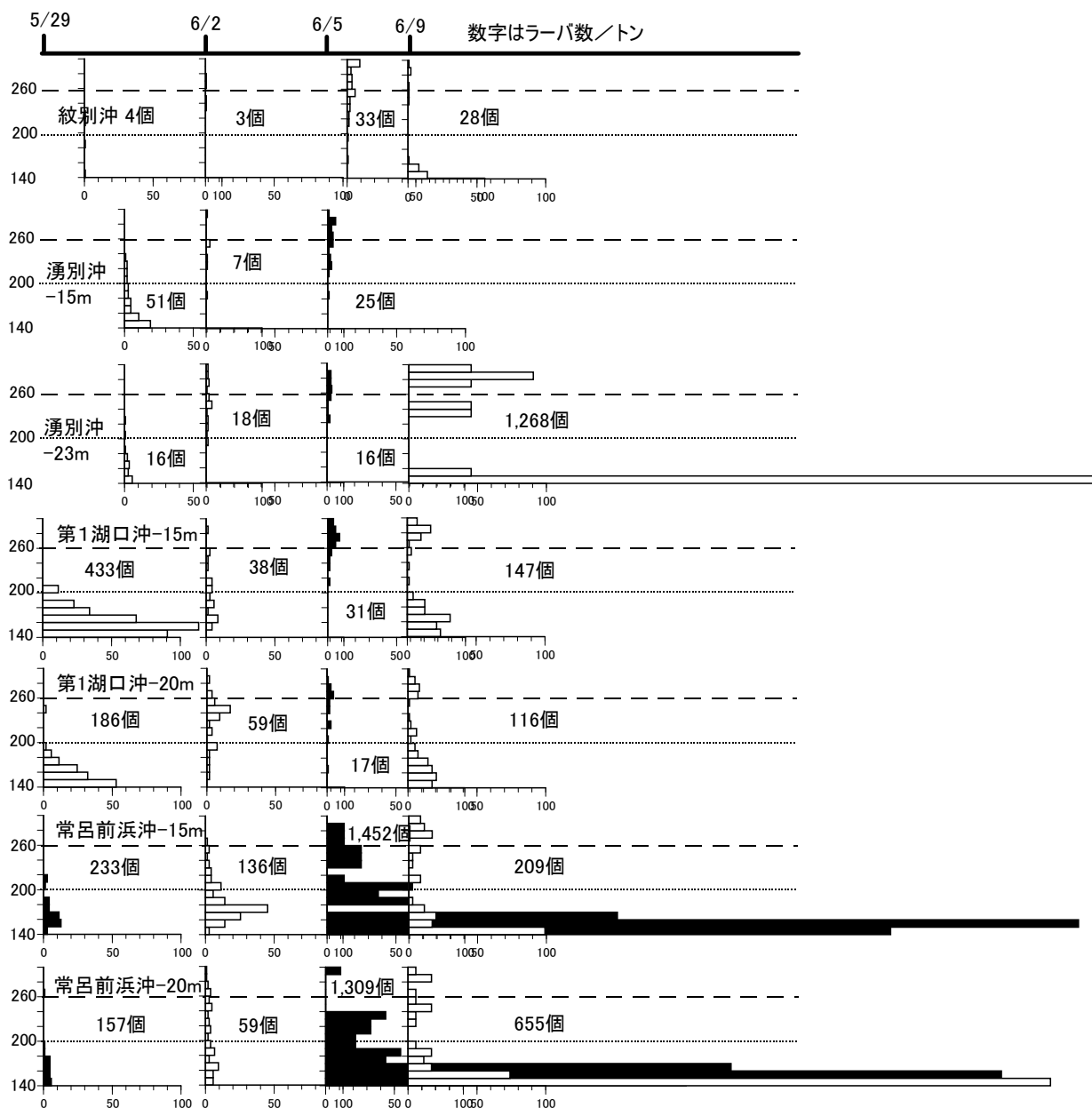
また、一昨年同様に130~140ミクロンの小型ラーバが大量に発生しています。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は10.5°Cで前回より1.2°C(湧別は10.1°Cで0.5°C)上昇しました。

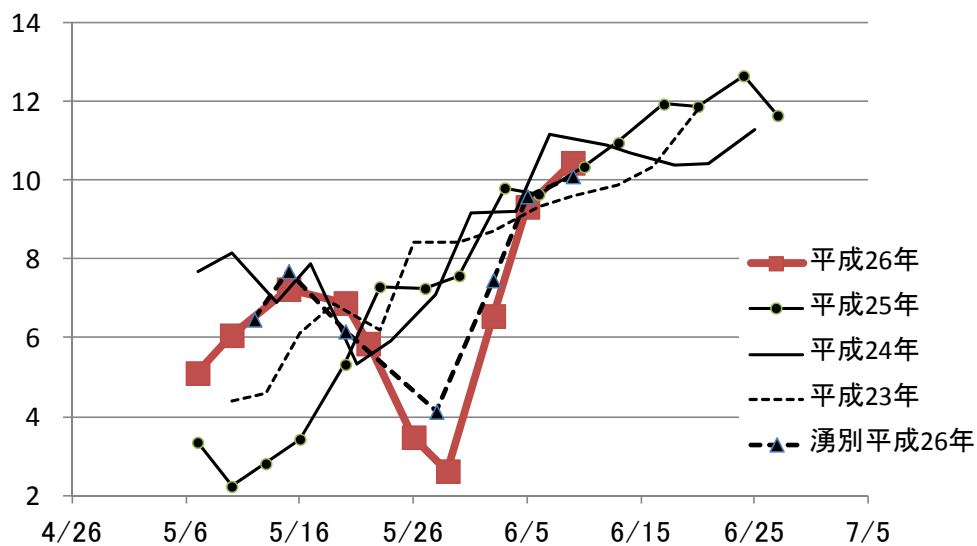


◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・6/9の紋別では水温が10.9°C(1.2°C上昇)になり、ホタテラーバは50.9個/トン(付着サイズは3.5個/トンに減少、6/6はほとんど210ミクロン以上)出現しました。
- ・6/6の雄武は水温10.9°Cでラーバは9.2個/トン(200~300ミクロン、ほとんど付着サイズ)が出現しました。
- ・6/5の神恵内の水温は13°Cで、ホタテラーバの出現はありませんでした。
- ・6/4の宗谷は水温が12.0°Cで、ラーバが13.3個/トン(150~310ミクロン)出現しました。



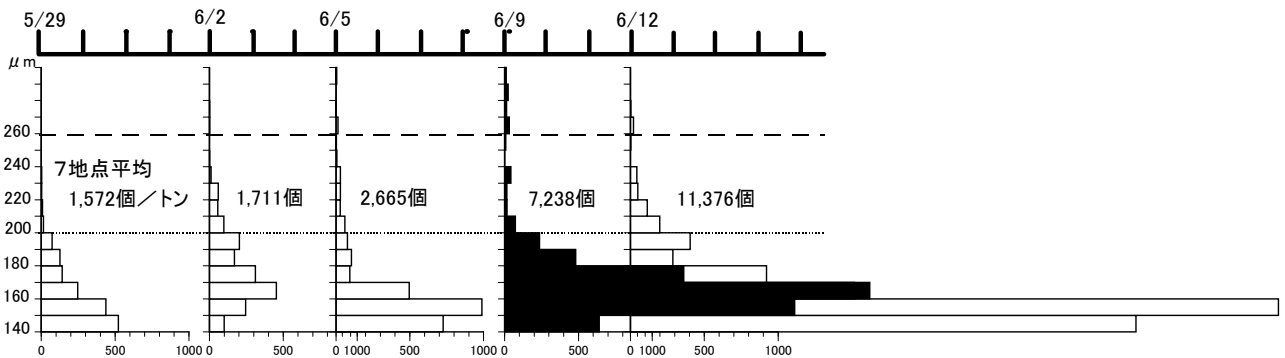
常呂及び湧別沖 -15mの水温状況



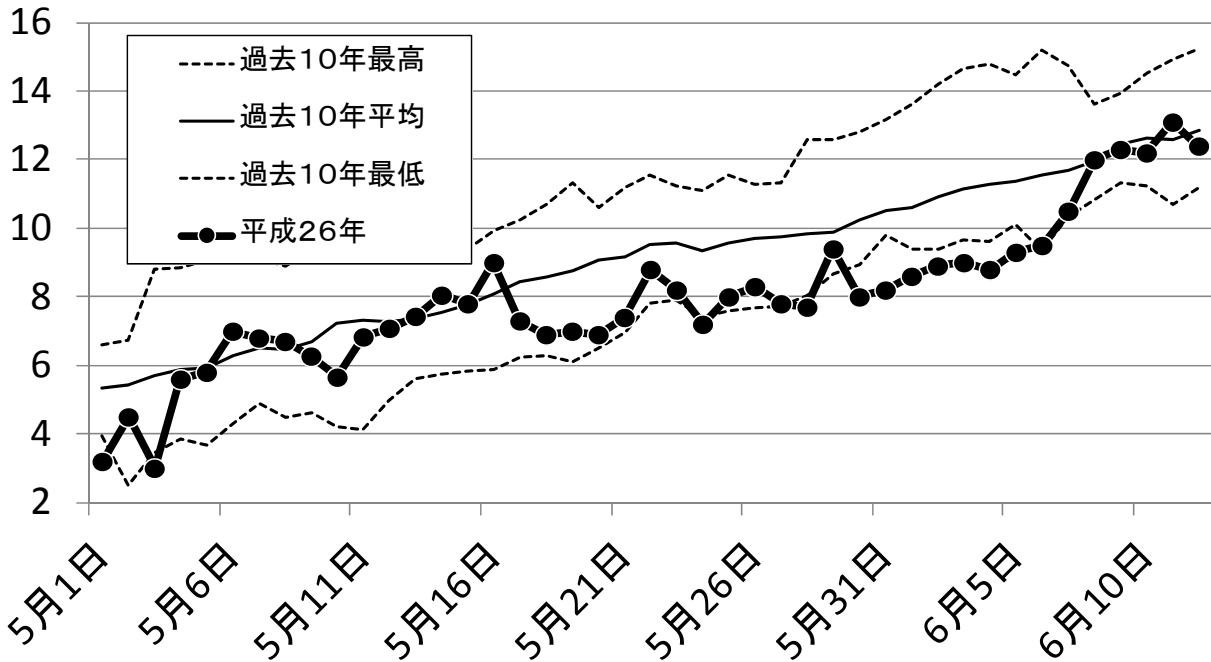
◎ サロマ湖ラーバ調査結果（網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査）

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均（ST.1～7）で11,376個／トンに増加しました。殻長の山は150～160ミクロンですが、大型ラーバは431個、付着期ラーバが23個含まれていました。

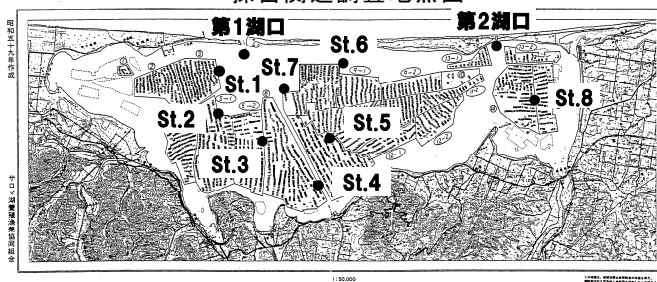
富富士沖（ブイ3水深4m正午）の水温は12.4℃とほぼ平年値となっています。次回のラーバ調査は6月16日（月）の予定です。

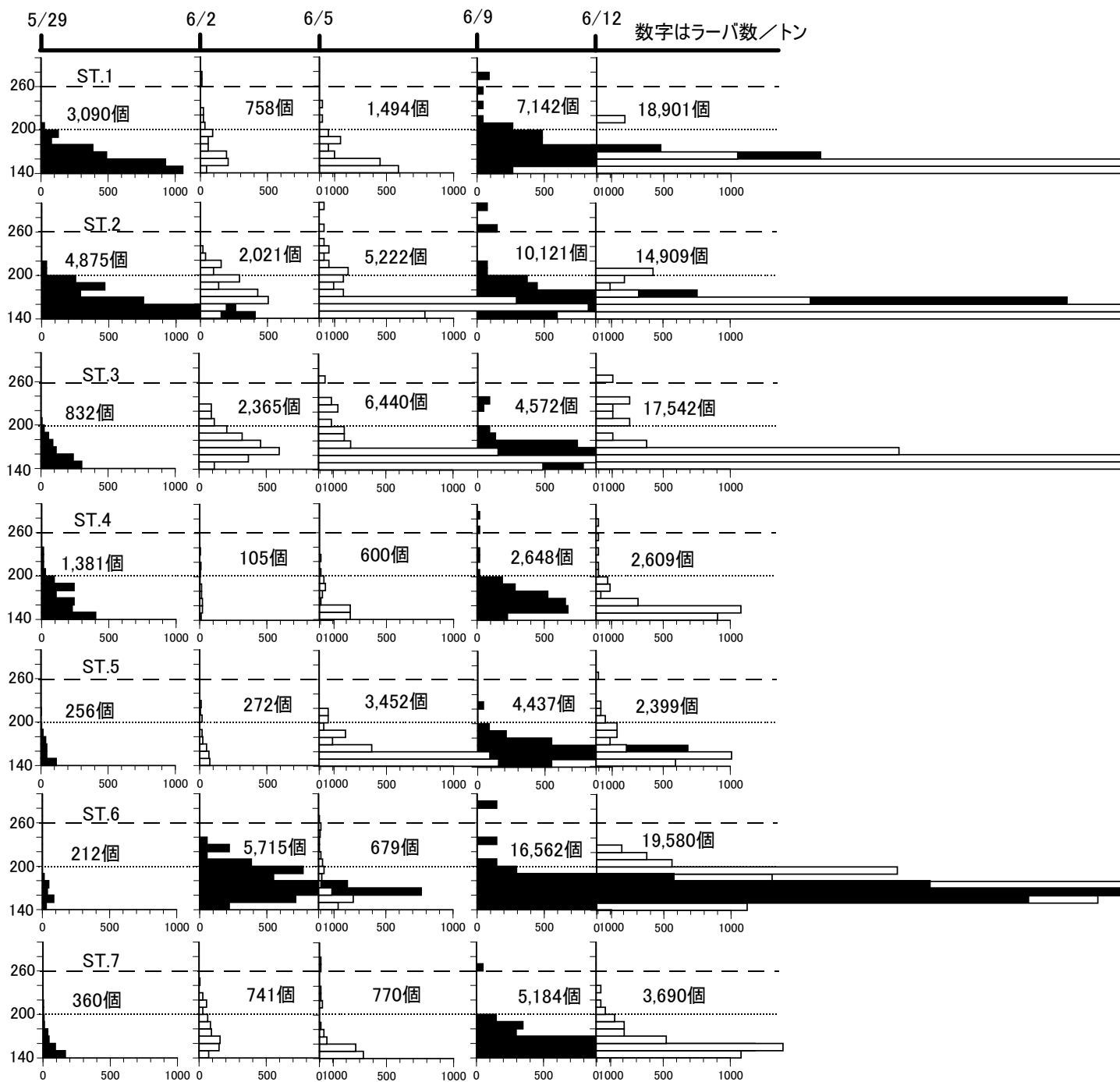


平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





◎試験採苗器による付着量調査結果

1週間の平均付着数は977個（1日当り140個）でした。

試験採苗器1袋当りの付着数（1日当り）

	ST. 2	ST. 3	ST. 4	3点平均
5/29-6/5	15個(2.1個)	31個(4.4個)	13個(1.8個)	20個(2.8個)
6/5-6/12	1,780個(254個)	728個(104個)	422個(60個)	977個(140個)

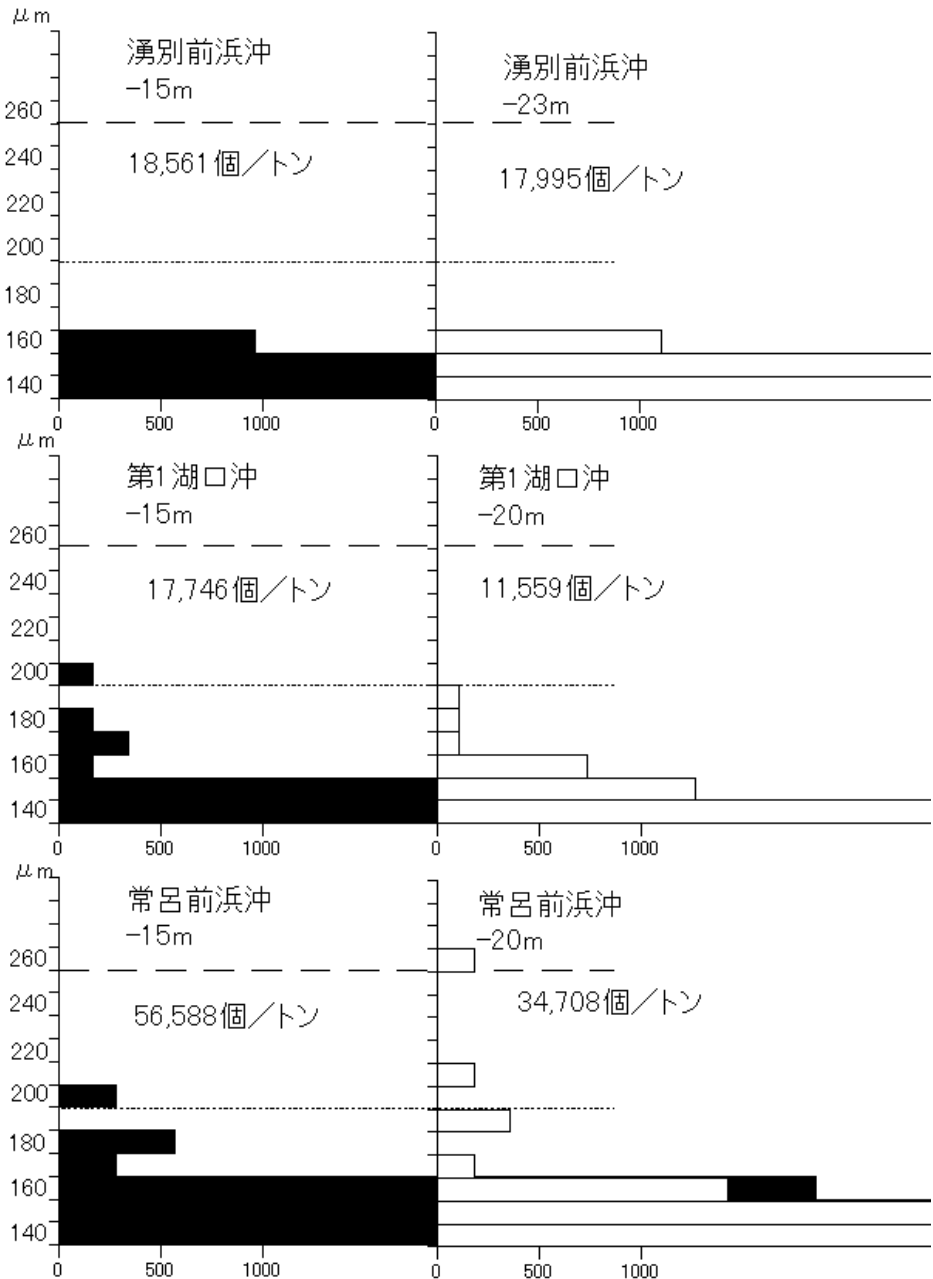
◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

6月12日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

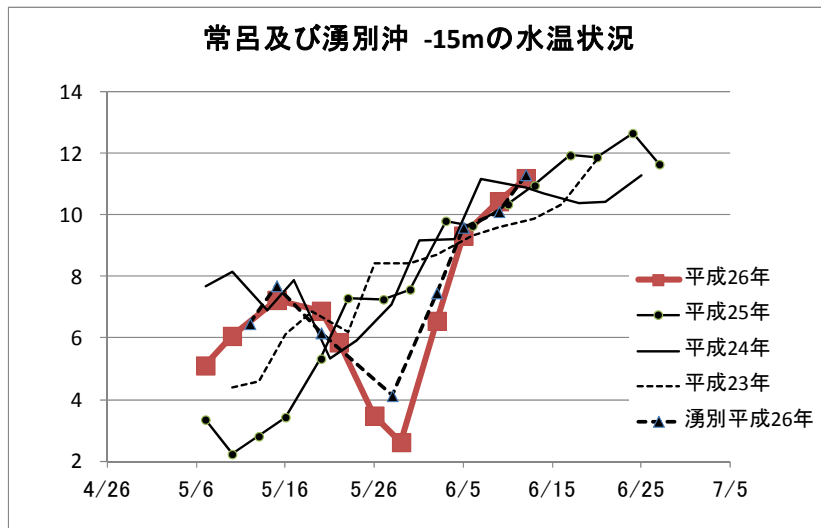
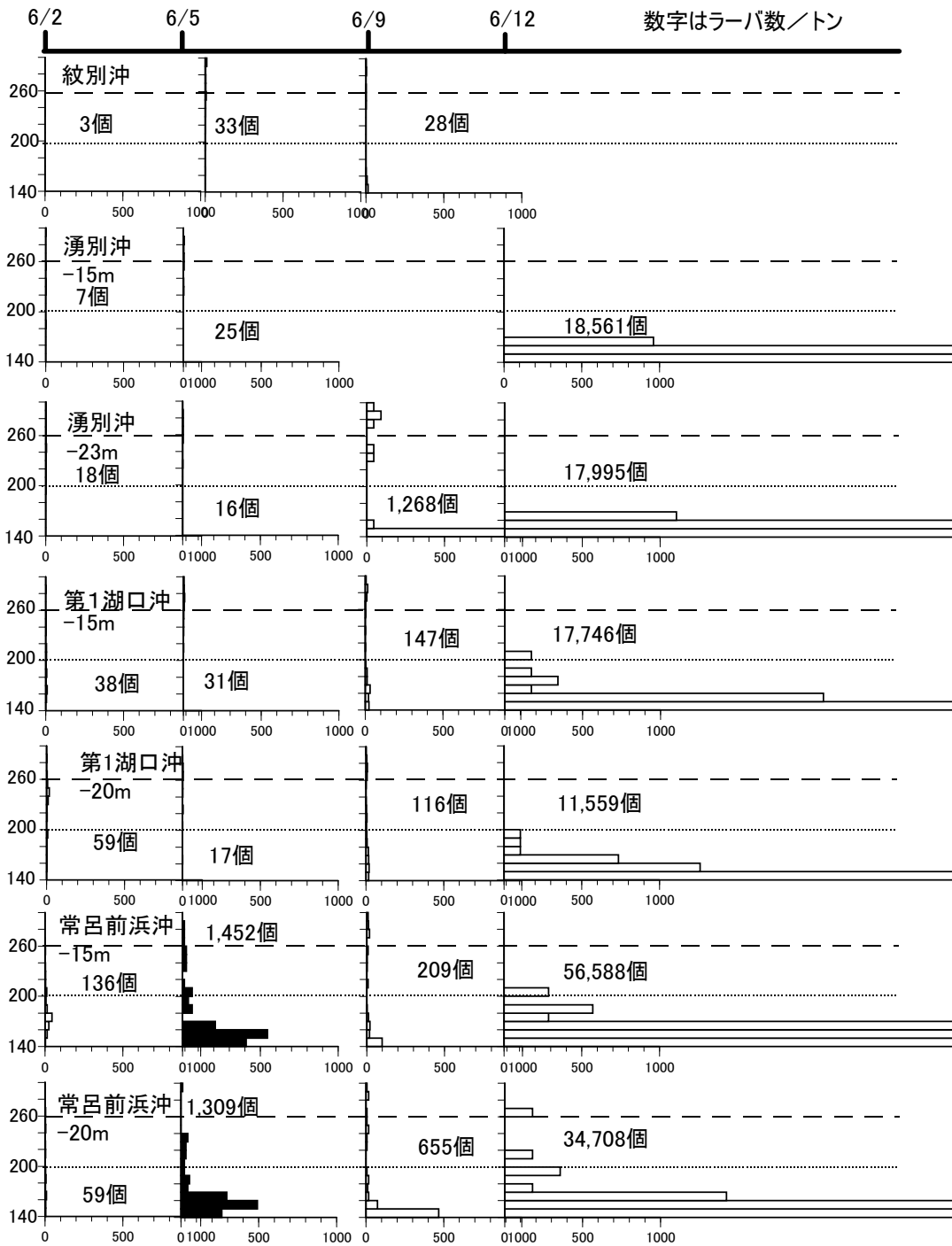
湧別前浜沖では17,995~18,561個/トン、第1湖口沖では11,559~17,746個/トン、常呂漁港沖では34,708~56,588個/トンが出現していました。各地点とも殻長は140~160ミクロンがほとんどで、付着サイズは常呂漁港沖沖側のみで出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は11.2℃(湧別は11.3℃)と平年並に上昇しました。

◎他地区の情報
(水産指導所より提供いただいた資料より)



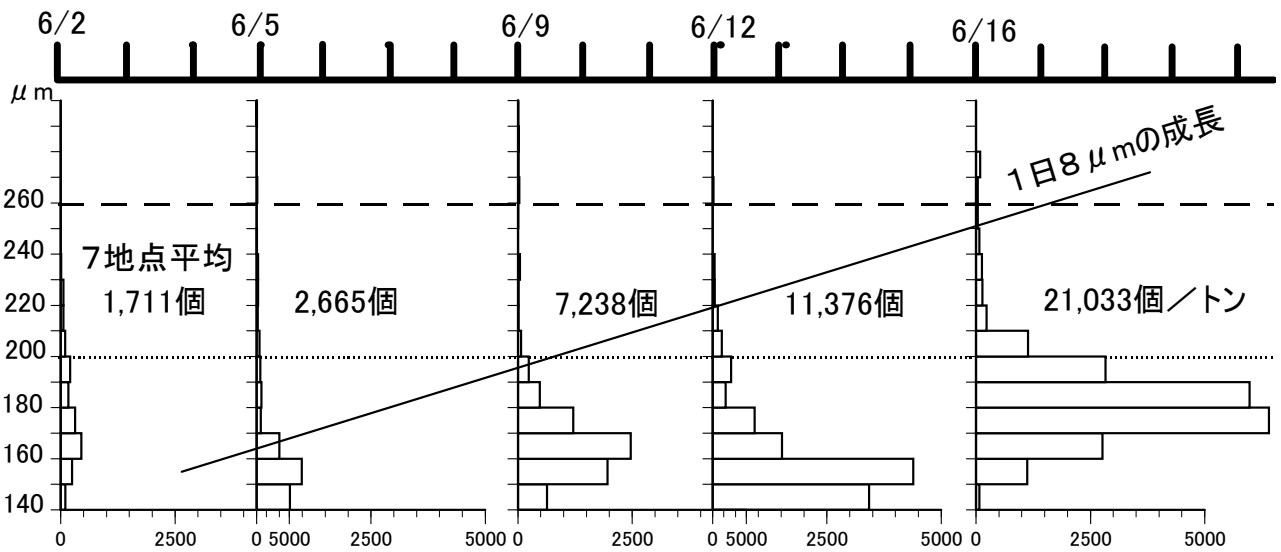
- ・6/12の枝幸では水温が10.9℃になり、ホタテラーバは7.2個/トン(付着サイズが4割)出現しました。
- ・6/11の沙留は水温11.8℃でラーバは8,556個/トン(ほとんどは130~150ミクロン)が出現しました。
- ・6/10の増毛ではラーバが44.1個/トン(130~300ミクロン)が出現しました。
- ・6/9の噴火湾(長万部~鹿部)ではラーバが4~143個/トン出現し、引き続き投入適期となっています。
- ・6/9の苫前~遠別ではラーバが5.7~23個/トン出現し、付着も順調に進んでいます。



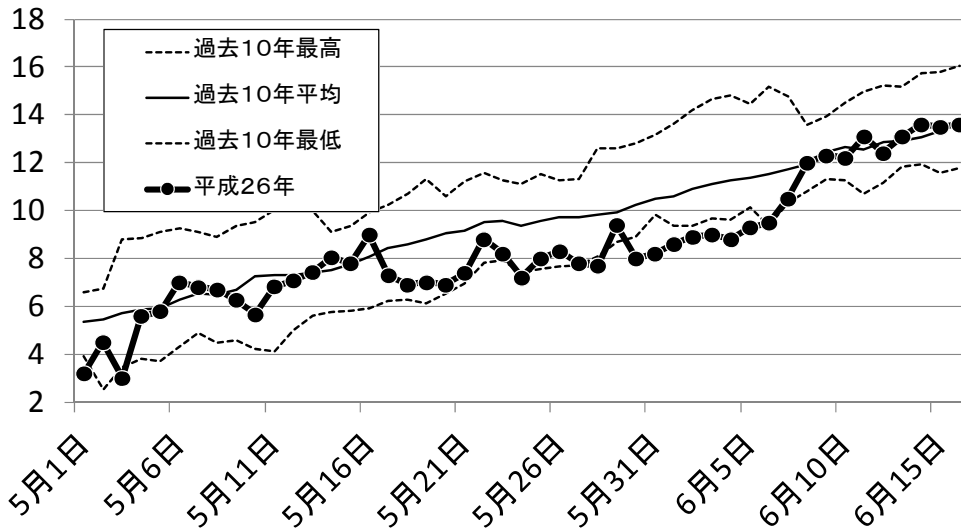
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST.1~7) で 21,033 個/トンに増加しました。殻長の山は 170~190 ミクロンに移行し、大型ラーバが 1,867 個、付着期ラーバが 124 個出現し、現在付着中と考えられます。

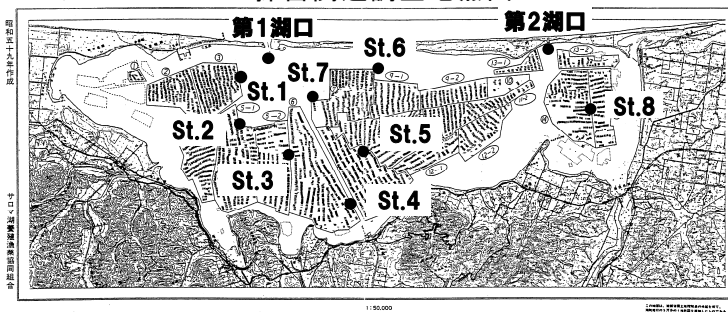
富富士沖 (ブイ3水深4m正午) の水温は 13.6°C とほぼ平年並の水温となっています。次回の調査は 6月19日 (木) の予定です。



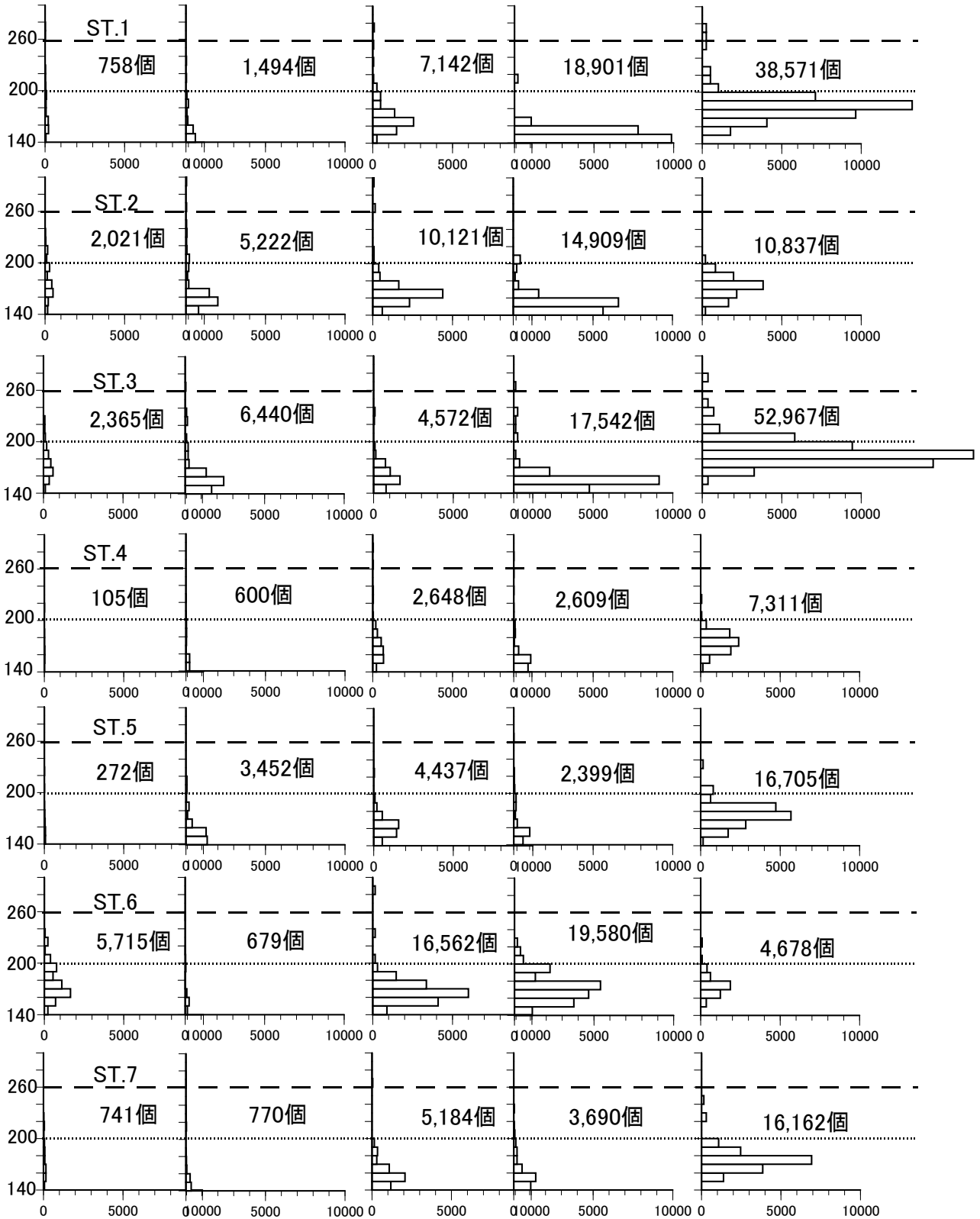
平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図



6/2 6/5 6/9 6/12 6/16 数字はラバ数/トン



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

6月16日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

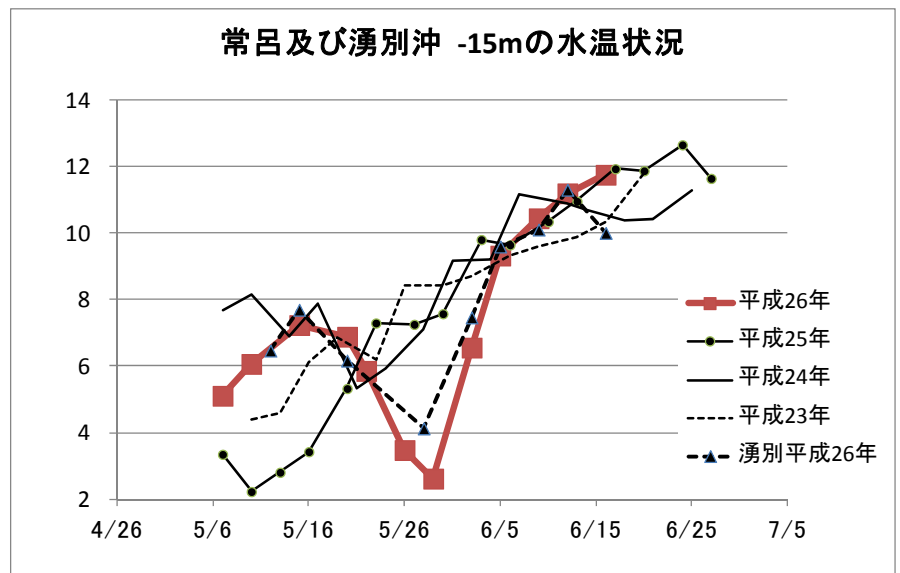
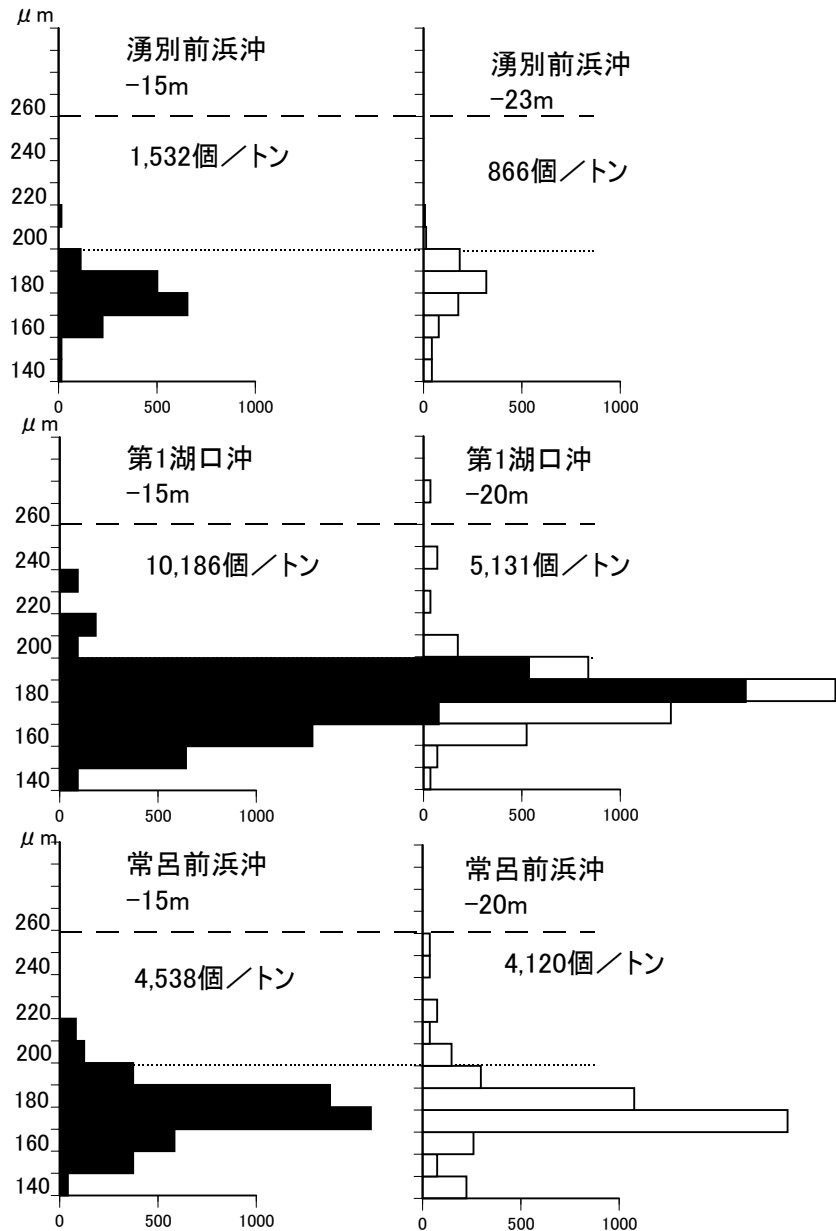
湧別前浜沖では 866~1,532 個/トン、第1湖口沖では 5,131~10,186 個/トン、常呂漁港沖では 4,120~4,538 個/トンが出現していました。

全地点平均で 200 ミクロン以上の大型ラーバが 210 個/トン出現していましたが、260 ミクロン以上の付着期ラーバは第1湖口沖のみで出現していました。

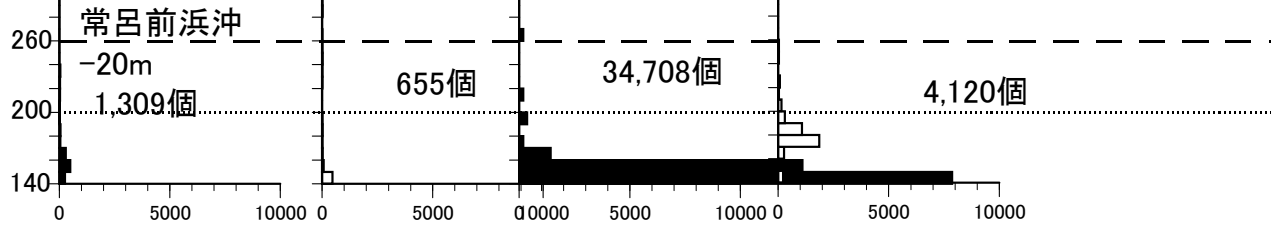
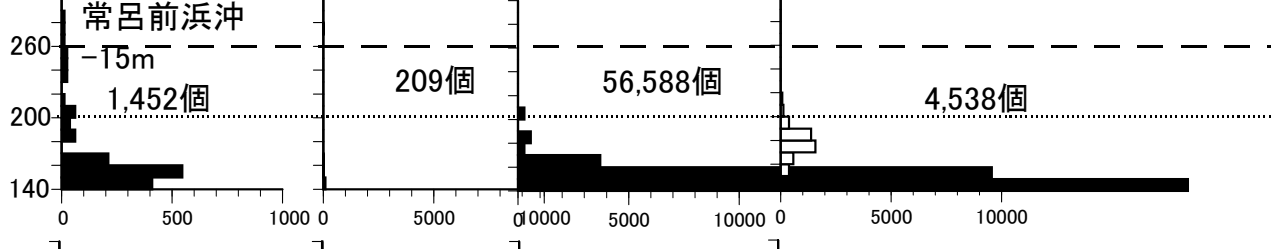
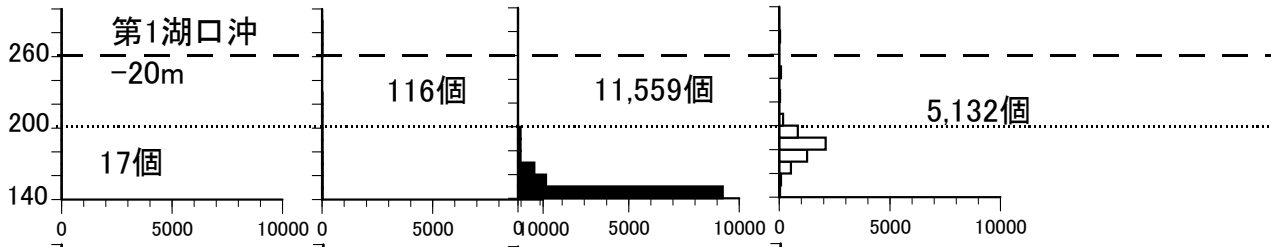
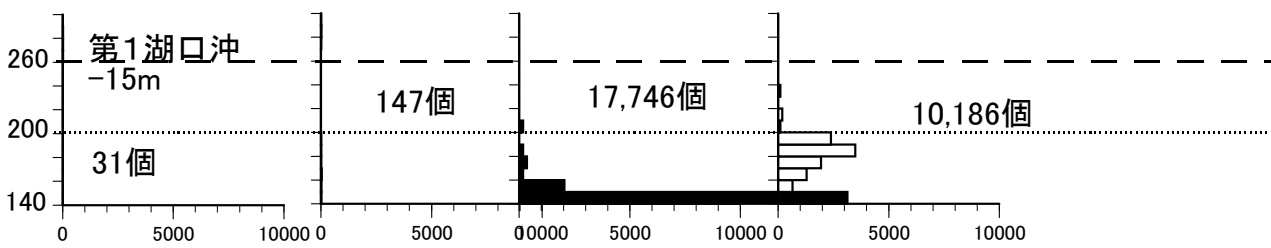
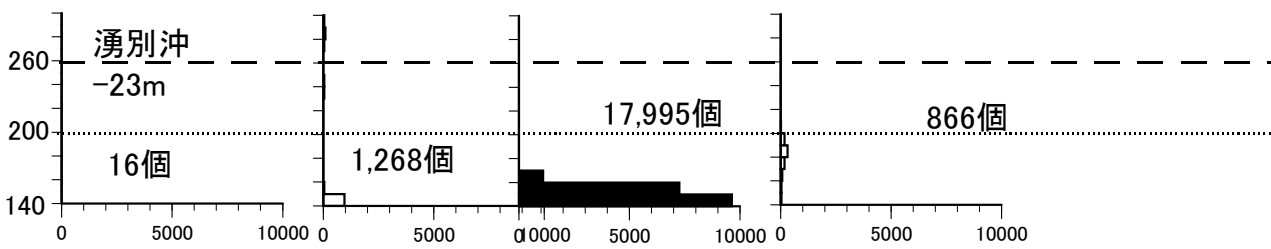
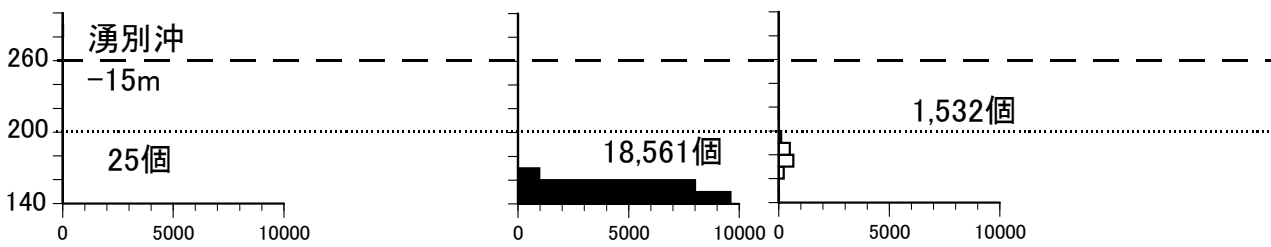
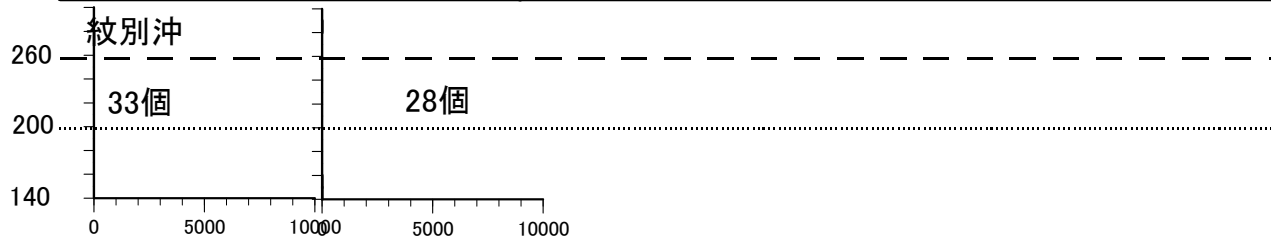
常呂沖の外海水の水温(-15m)は 11.8°Cに上昇しましたが、湧別沖は 10.0°Cに下降し、やや冷たい水が流入している模様です。

◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・6/13 の雄武では水温が 10.8°C(0.1°C下降)になり、ホタテラーバは 227.1 個/トン(150 ミクロンに山があり、付着サイズは 0.7 個/トン)出現しました。



6/5 6/9 6/12 6/16 数字はラーバ数/トン



◎成長モニタリング調査結果

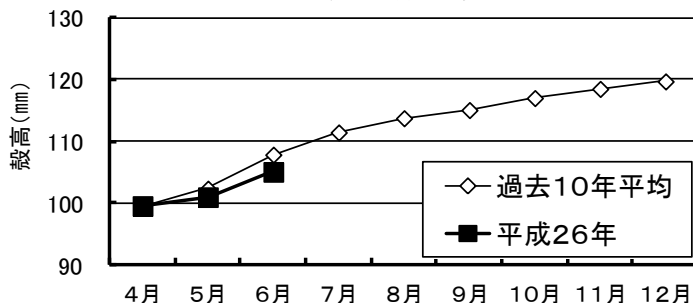
6月17日に養殖ホタテガイ（赤川・床丹・三里）の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は平年よりも低く、全重量で平年値169.3gに対して150.7gでした。また、それに伴い貝柱重量が低く、歩留まりも低い値でした。

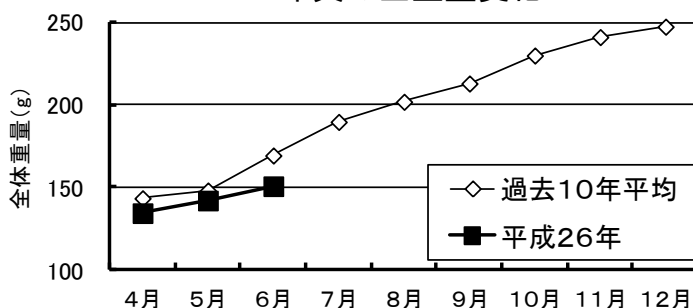
2年貝は殻高で過去5年平均（65.3）よりも低い61.8mm、重量で過去5年平均（35.1）よりも低い29.2gでした。

今年は解氷が遅れたことや、5月の低水温などから、成長が遅れているものとみられます。

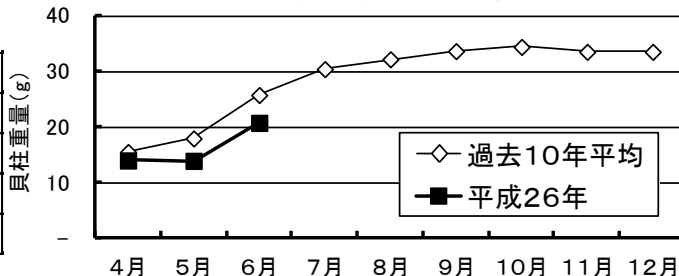
3年貝の殻高変化



3年貝の全重量変化



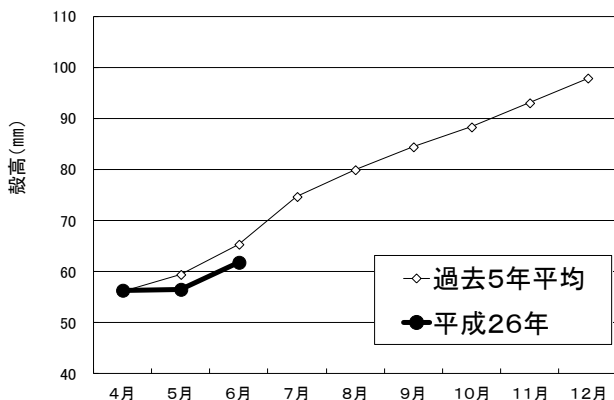
3年貝の貝柱重量変化



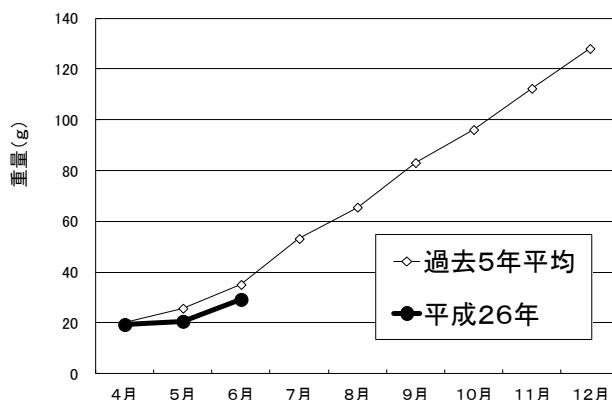
養殖3年貝のモニタリング調査結果

	6月(今回)	10年平均
殻高(mm)	105.1	107.8
重量(g)	150.7	169.3
貝柱(g)	20.7	25.7
歩留まり(%)	13.8	15.2

2年貝の成長状況(殻高)



2年貝の成長状況(重量)

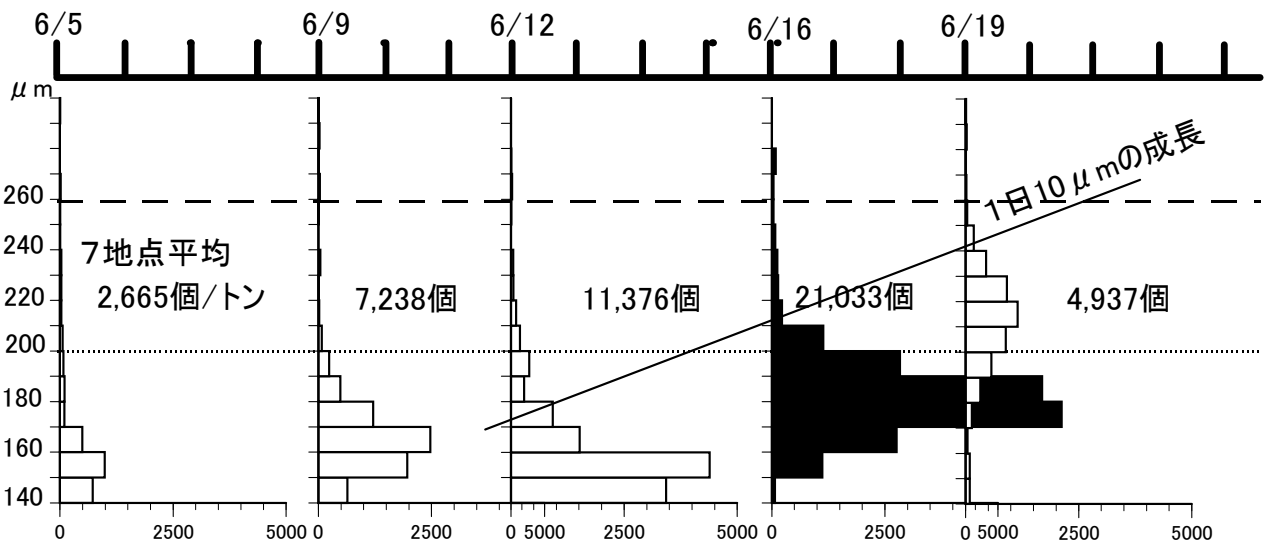


◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

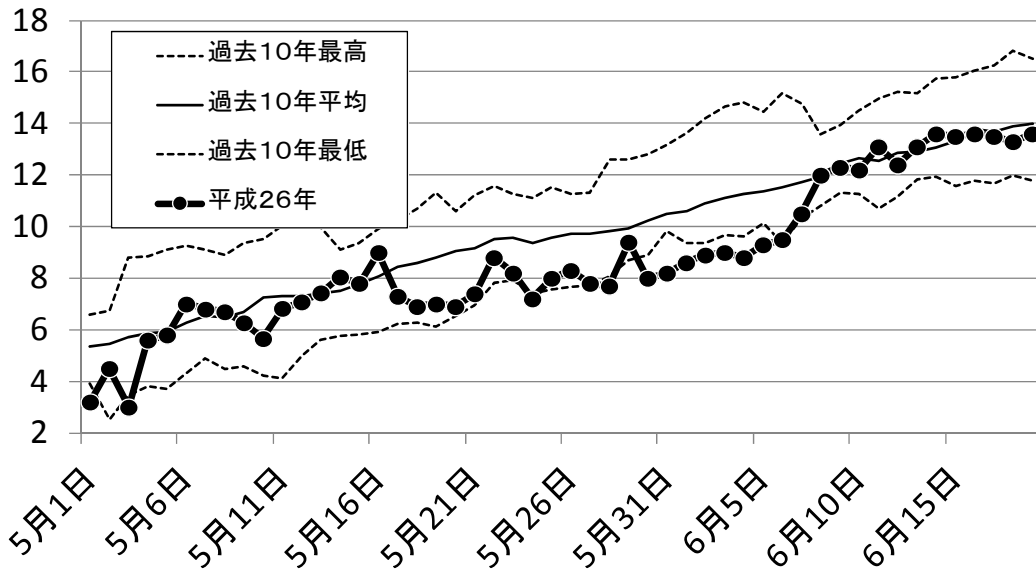
本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST. 1~7) で 4,937 個/トン出現しました。殻長の山は 200~230 ミクロンですが、大型ラーバは 3,682 個、付着期ラーバが 59 個含まれていました。付着期ラーバは ST4、5、7 のみで出現しました。

富富士沖 (ブイ3 水深4m 正午) の水温は 13.6℃ とほぼ平年値となっています。

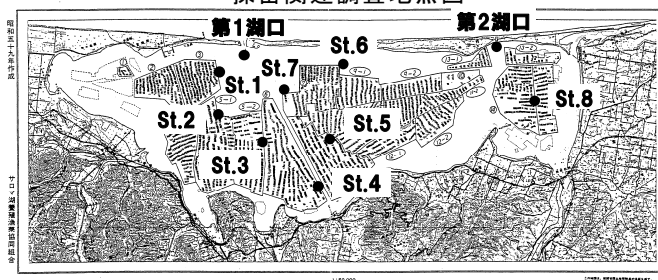
次回のラーバ調査は 6月23日 (月) の予定です。

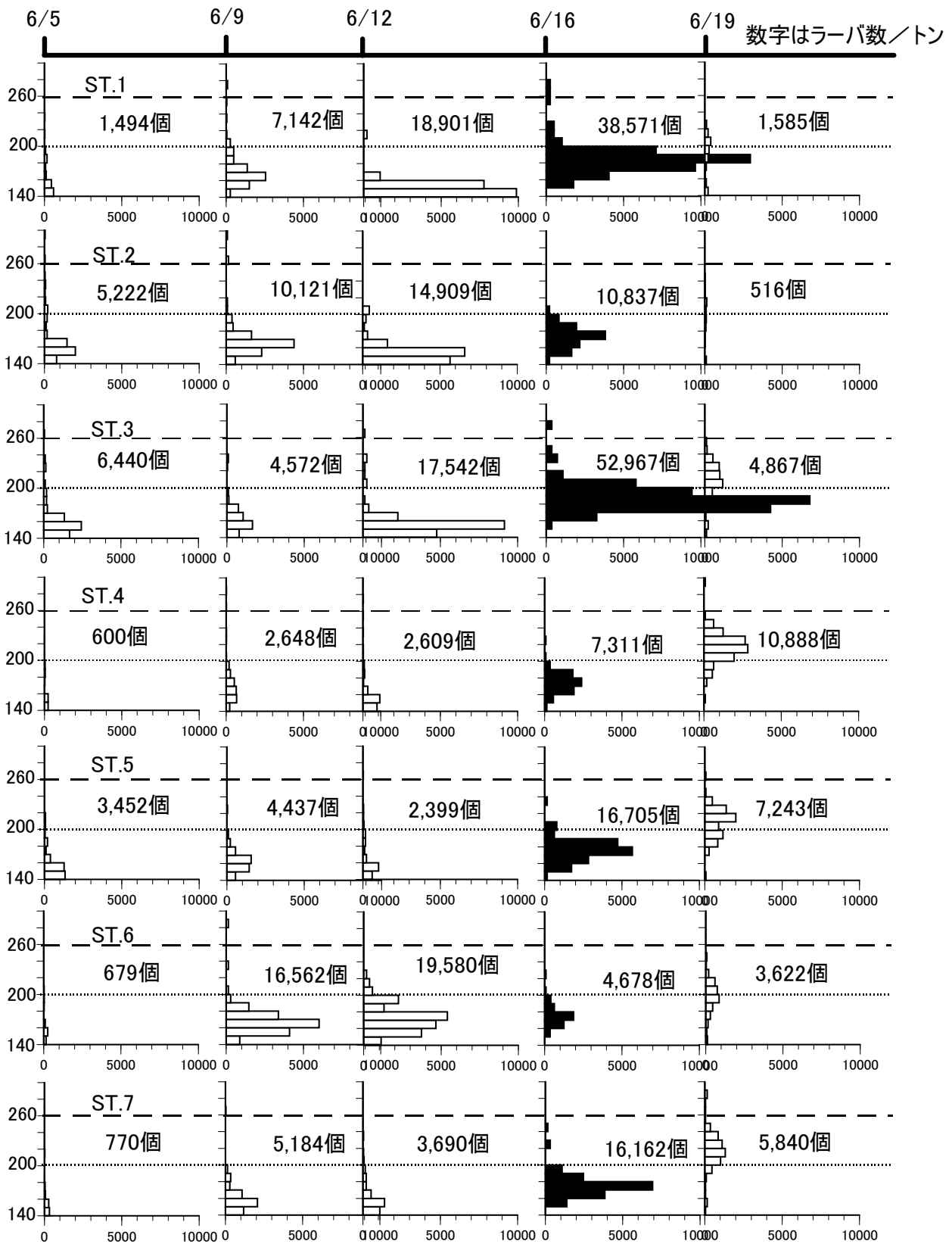


平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





◎試験採苗器による付着量調査結果

1週間の平均付着数は1,171個（1日当たり167個）でした。

試験採苗器1袋当たりの付着数（1日当たり）

	ST. 2	ST. 3	ST. 4	3点平均
5/29-6/5	15個(2.1個)	31個(4.4個)	13個(1.8個)	20個(2.8個)
6/5-6/12	1,780個(254個)	728個(104個)	422個(60個)	977個(140個)
6/12-6/19	1,156個(165個)	2,712個(387個)	816個(117個)	1,171個(167個)

◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

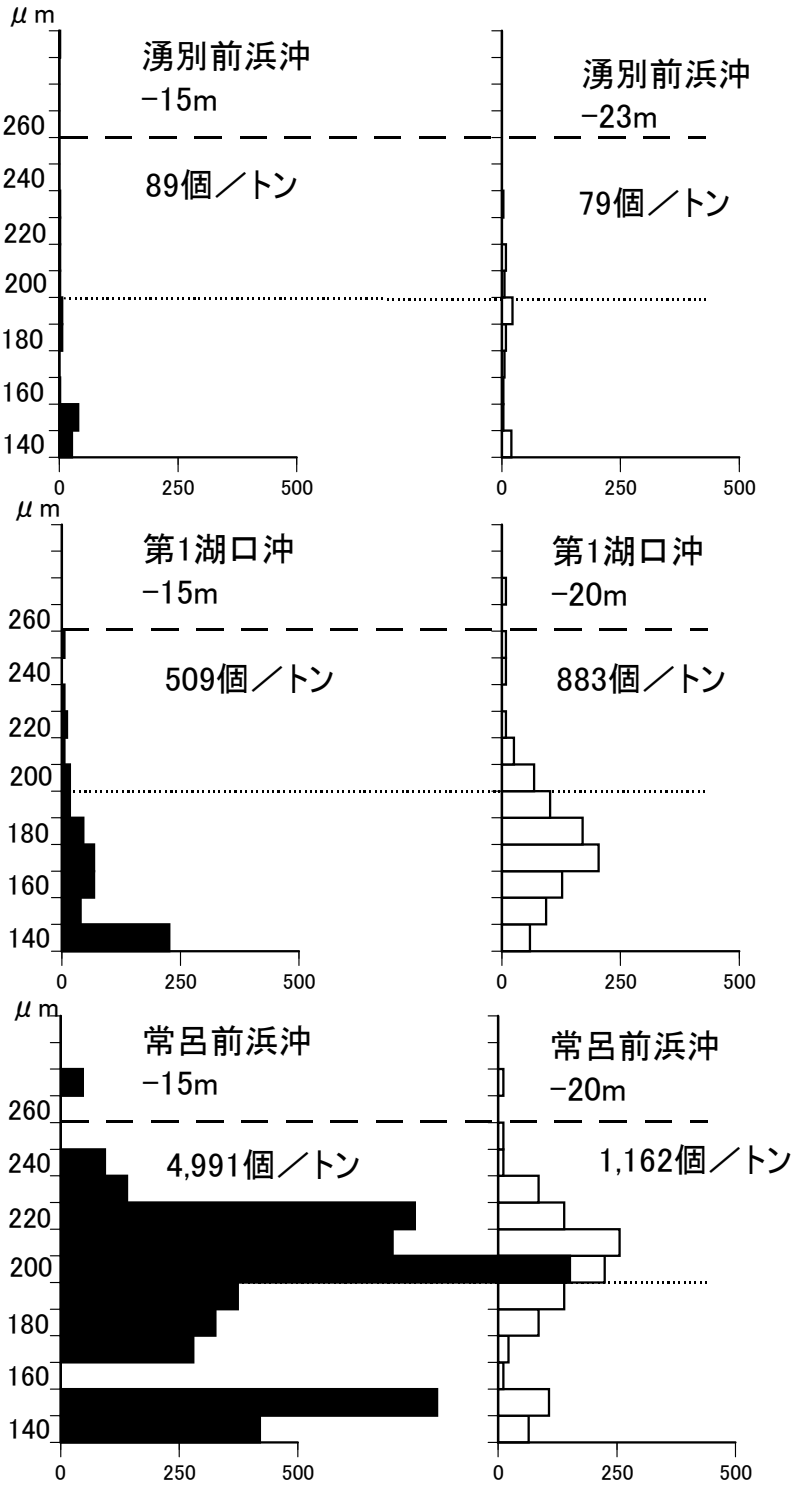
6月19日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

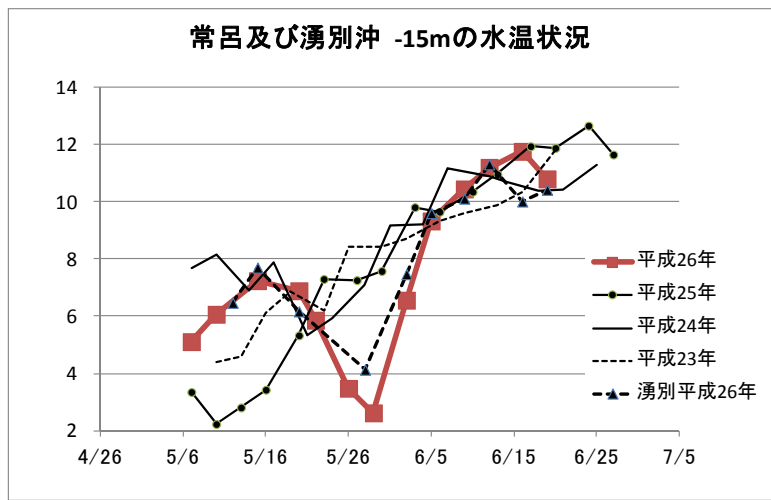
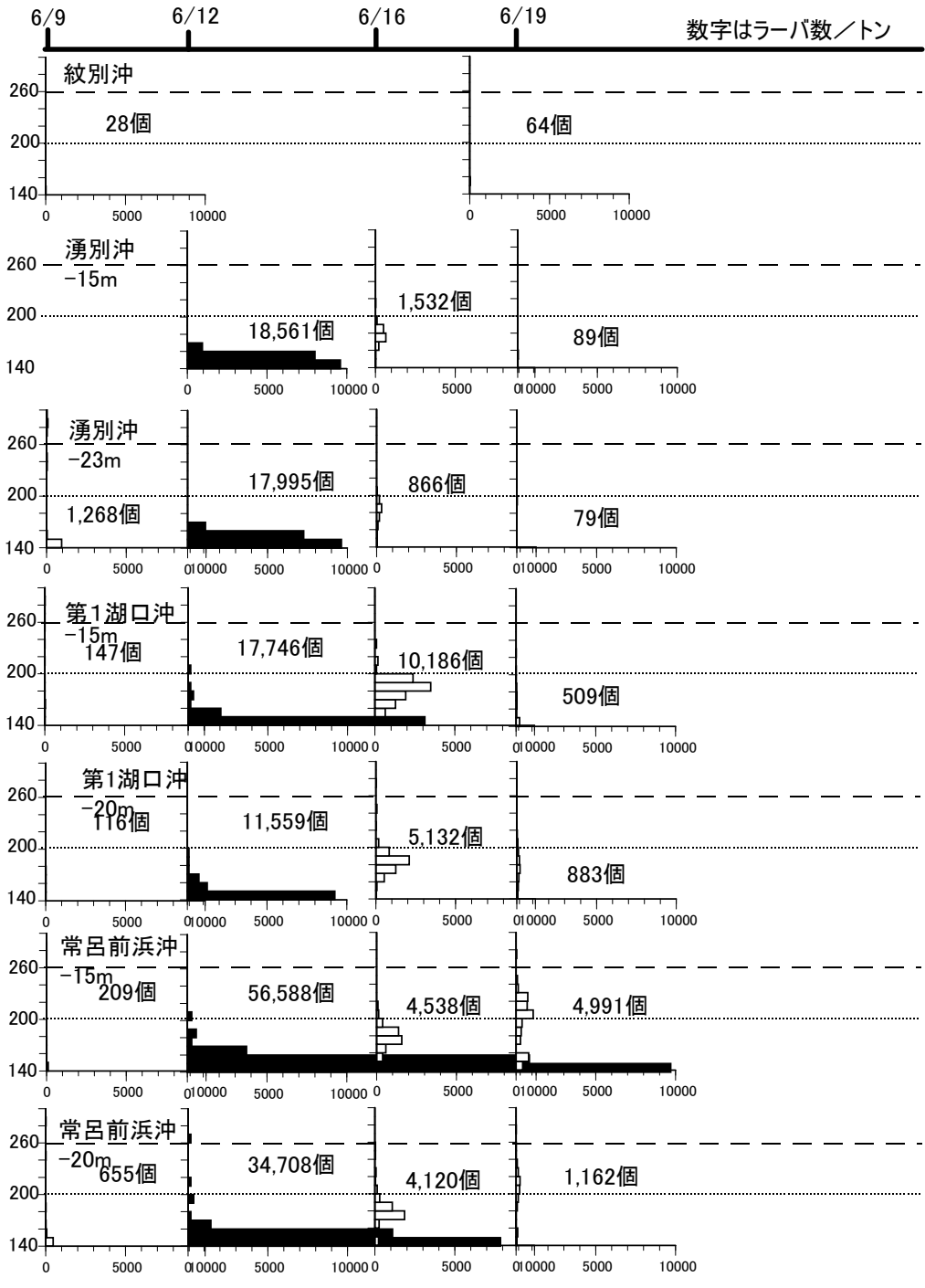
湧別前浜沖では79~89個/トン、第1湖口沖では509~883個/トン、常呂漁港沖では1,162~4,991個/トンが出現していました。各地点とも殻長は140~280ミクロンまで連続的に出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は10.8℃と1.0℃下降し、湧別は10.4℃と0.4℃上昇しました。

◎他地区の情報(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・6/18の湧別では5/27-31に投入した採苗器(内網W)に1,600~3,500個/袋の付着がありました。
- ・6/18の紋別では水温が10.0℃になり、前回より0.9℃下降しました。ホタテラーバは64.4個/トン(付着サイズは7個)出現しました。
- ・6/16の網走ではラーバが2,484~24,512個/トン出現し、1週間あたり3,300~4,200個/袋の付着がみられました。
- ・6/16~17の増毛ではラーバが14.7個/トン(140~290ミクロン)、臼谷では10.5個/トン(130~280ミクロン)、鬼鹿では15.4個/トン(130~300ミクロン)出現し、今後も付着が進むものと予想されます。
- ・6/16の噴火湾渡島側(長万部~鹿部)ではラーバが30~1,739個/トン出現し、網地100gあたり324~5,708個の付着がみられました。



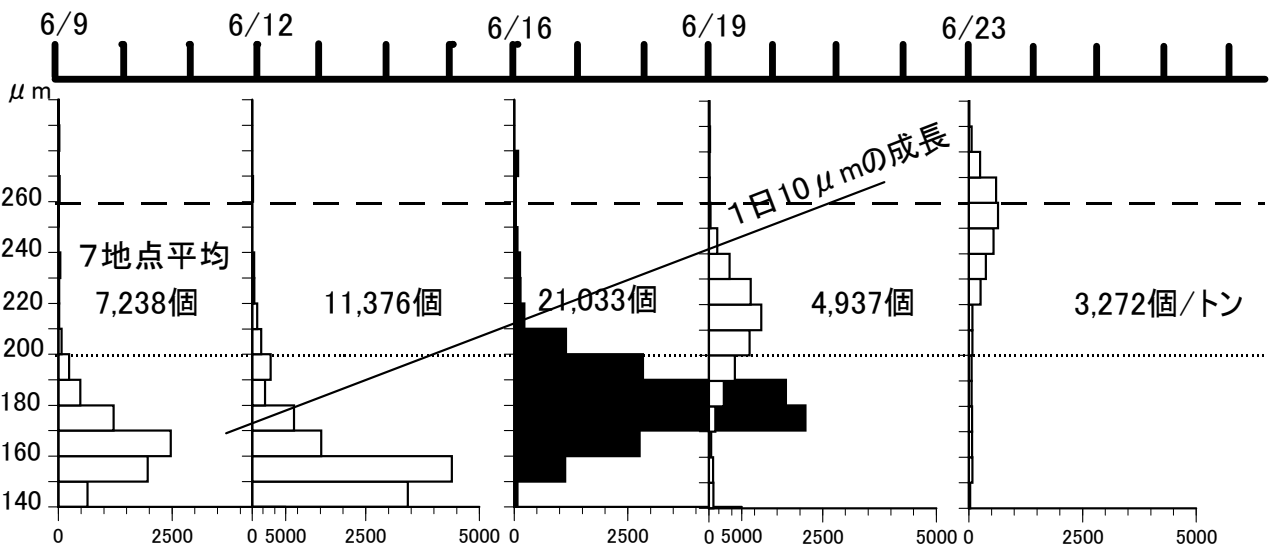


◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

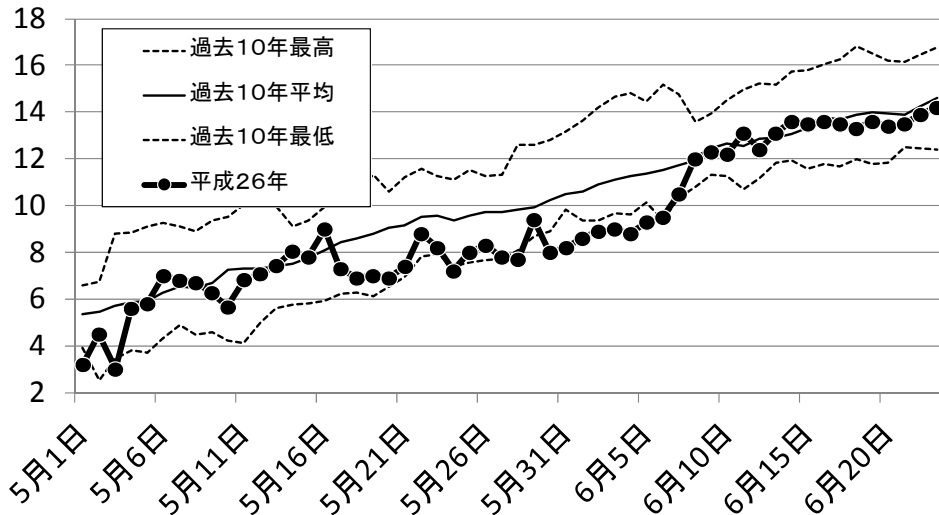
本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST. 1~7) で 3,272 個/トン出現しました。殻長の山は 240~270 ミクロンにあり、付着期ラーバが 920 個含まれていました。今後、湖内においてはかなり多くの付着が見込まれます。

富富士沖 (ブイ3 水深4m 正午) の水温は 14.2°C とほぼ平年値となっています。

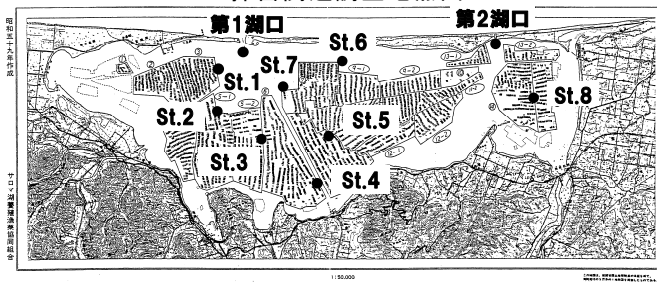
次回のラーバ調査は 6月26日 (木) の予定です。



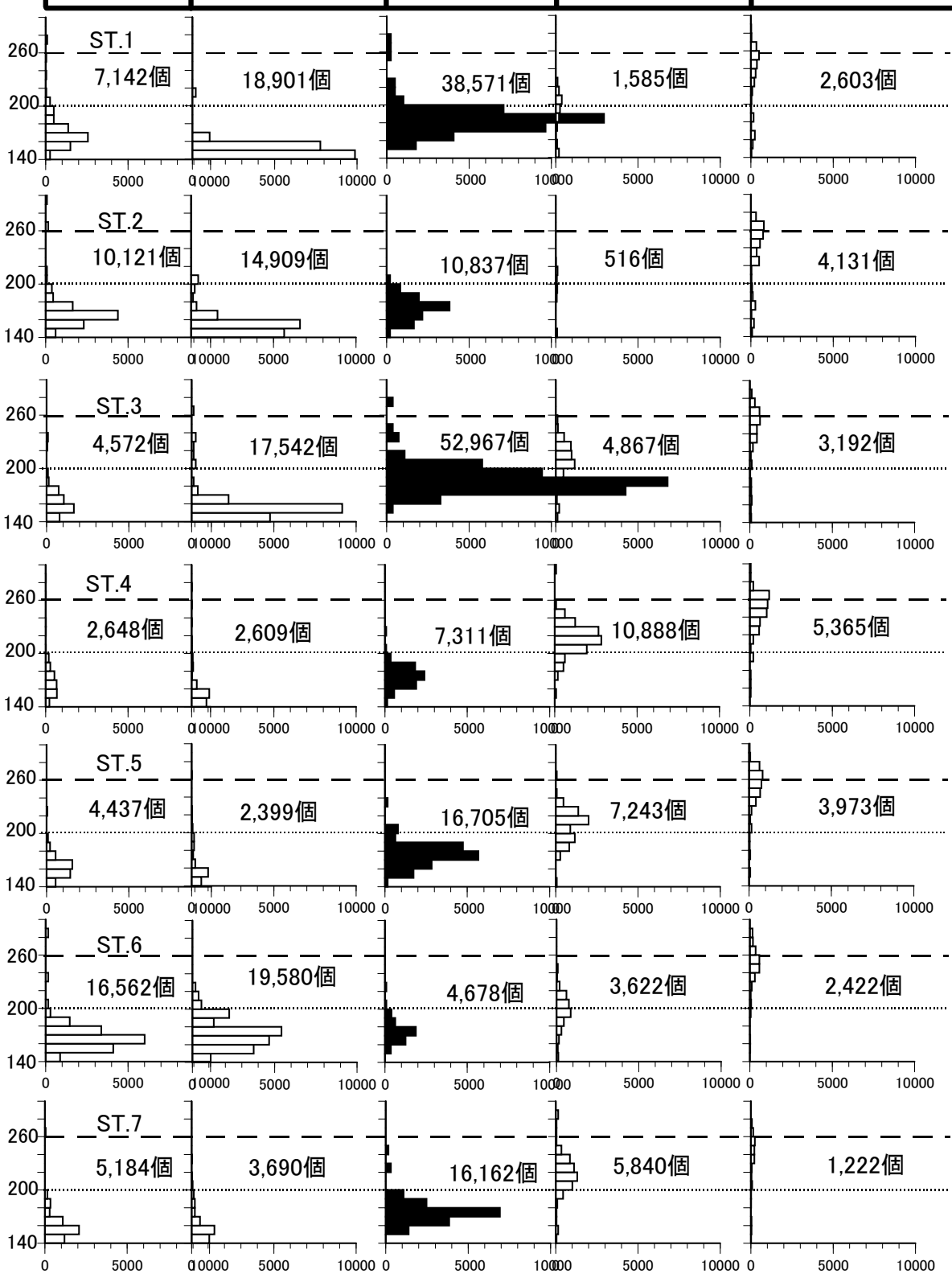
平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図



6/9 6/12 6/16 6/19 6/23 数字はラーバ数/トン



◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

本日、湧別前浜沖(紋別境界)、常呂前浜沖で調査を行いました。

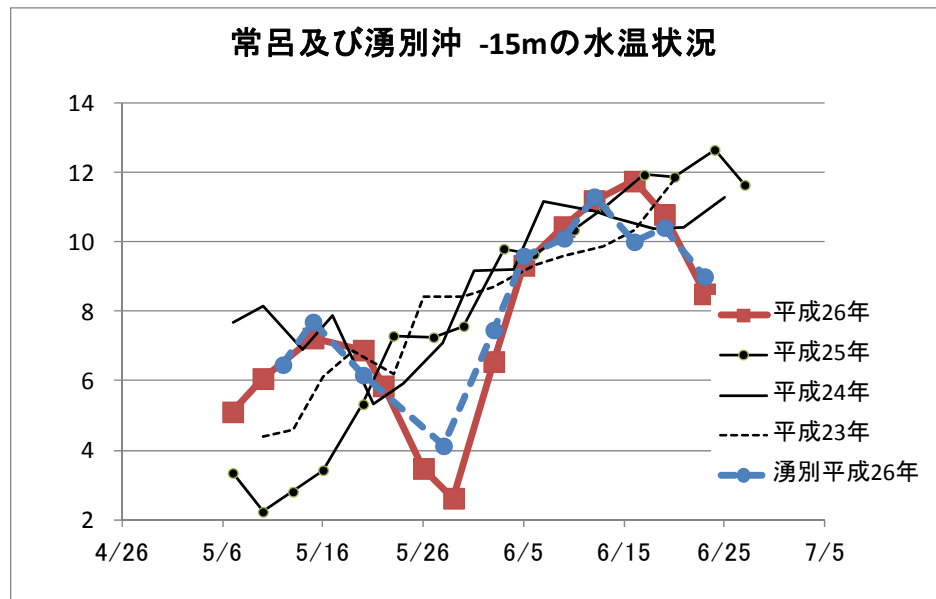
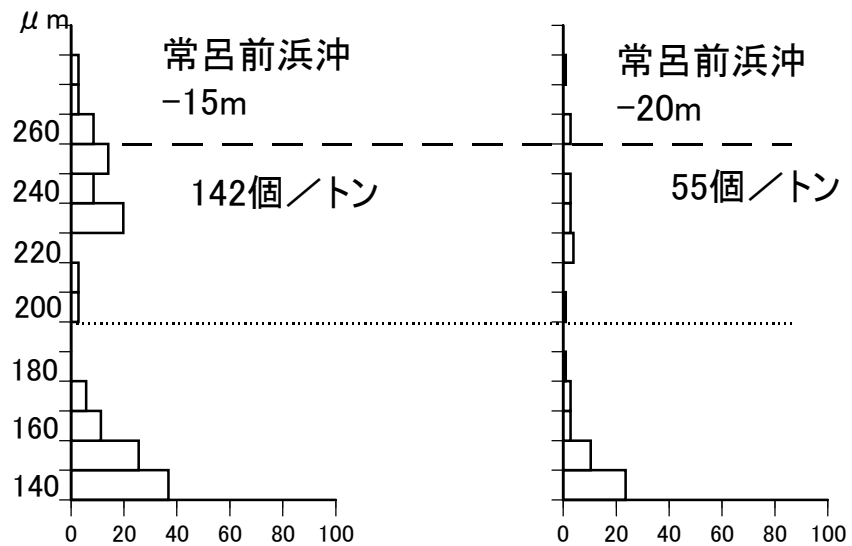
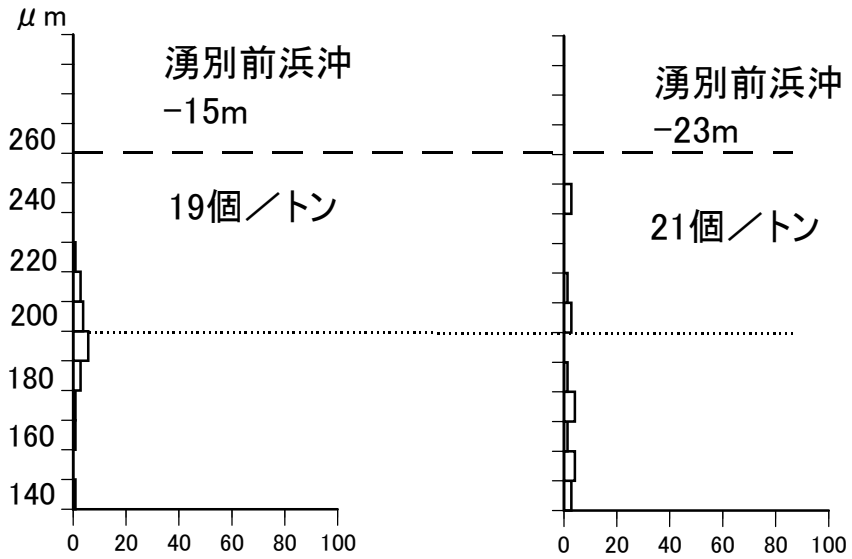
湧別前浜沖では 19~21 個/トン、常呂漁港沖では 55~142 個/トンが出現していました。湧別前浜沖では付着ラーバは出現せず、常呂前浜沖では 4~14 個/トン出現していました。

湧別沖の-15m の水温は 9.0℃(前回より 1.4℃下降)、常呂沖(-15m)は 8.5℃(2.3℃下降)となり、急激に低くなっています。稚貝脱落の危険を避けるためには、できるだけ早く湖内に取り込んでおく必要があります。

◎他地区の情報

(水産指導所より提供いただいた資料より)

- ・6/20 の雄武では水温が 9.6℃(1.2℃下降)で、ラーバが 14.1 個/トン(140~300 ミクロン)出現しました。
- ・6/18 の枝幸では水温が 9.3℃(1.6℃下降)で、ラーバが 6.0 個/トン(150~300 ミクロン)出現しました。



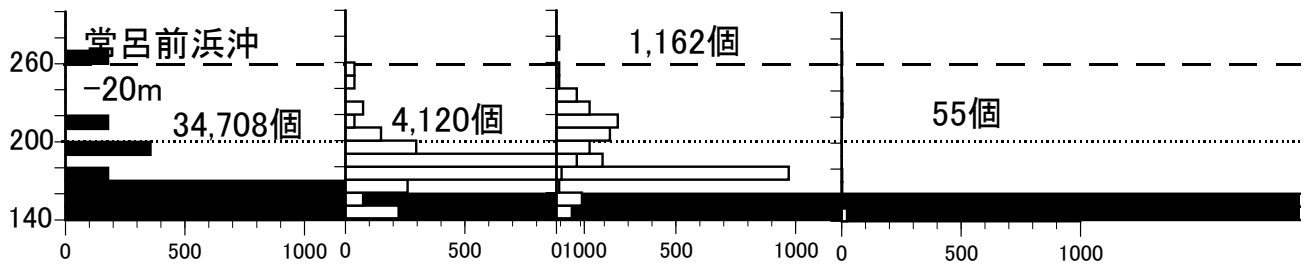
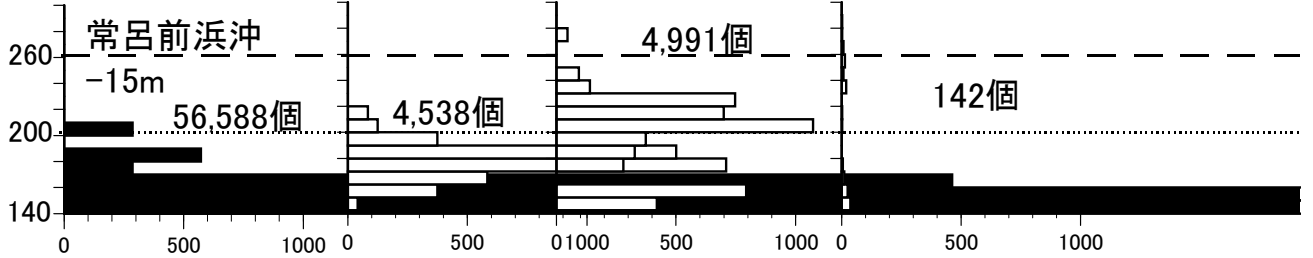
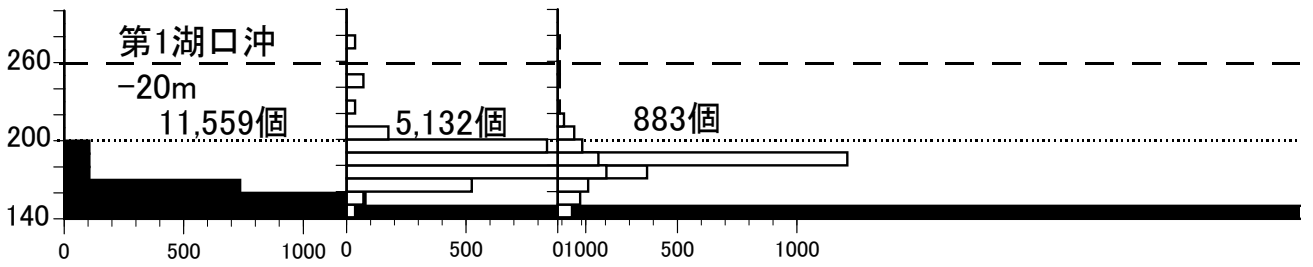
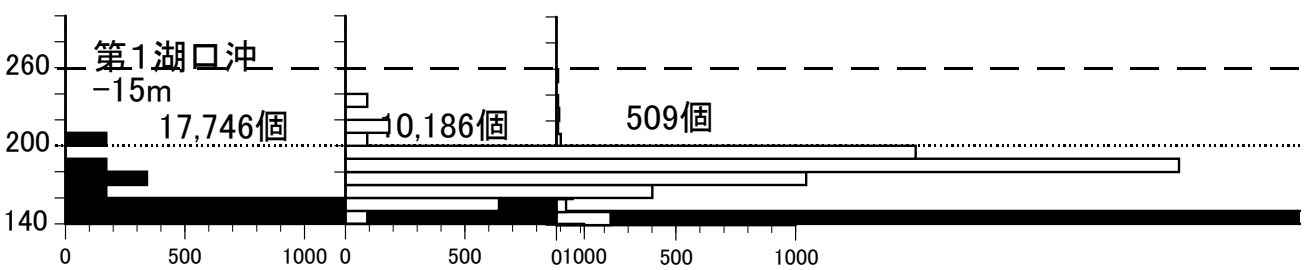
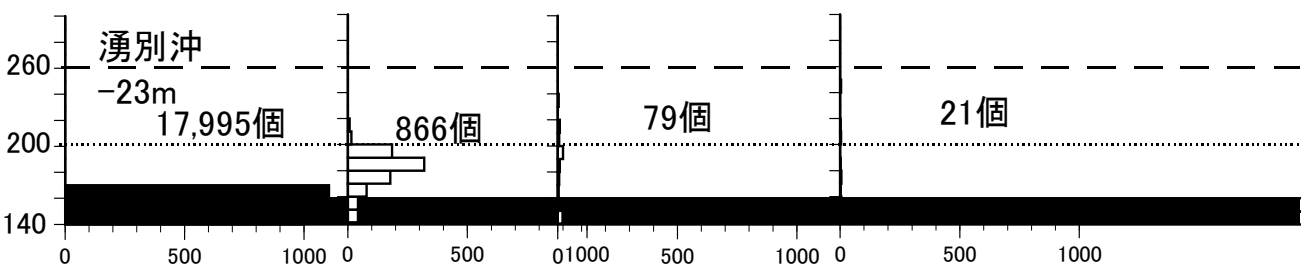
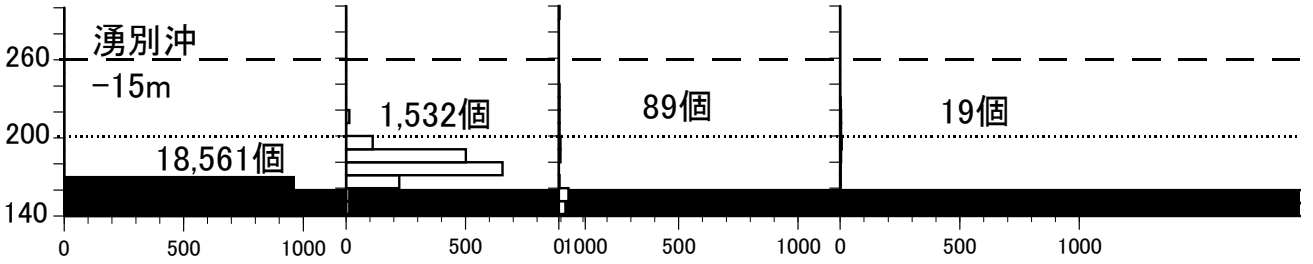
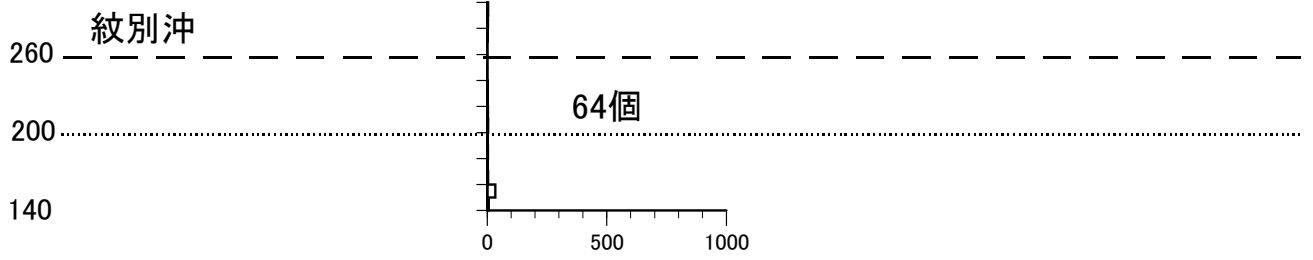
6/12

6/16

6/19

6/23

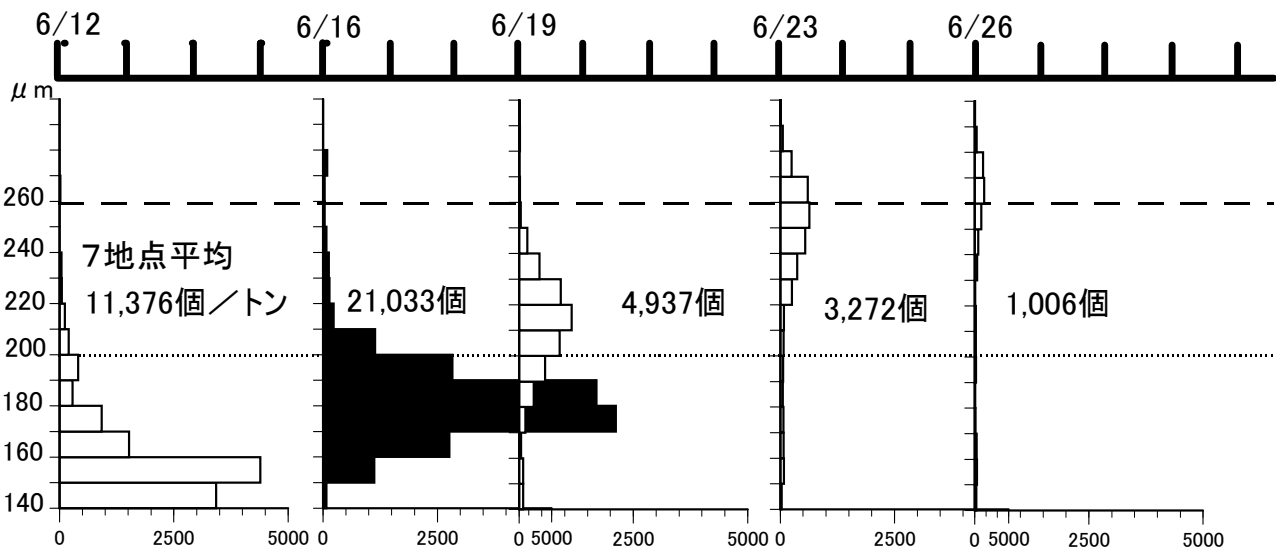
数字はラーバ数/トン



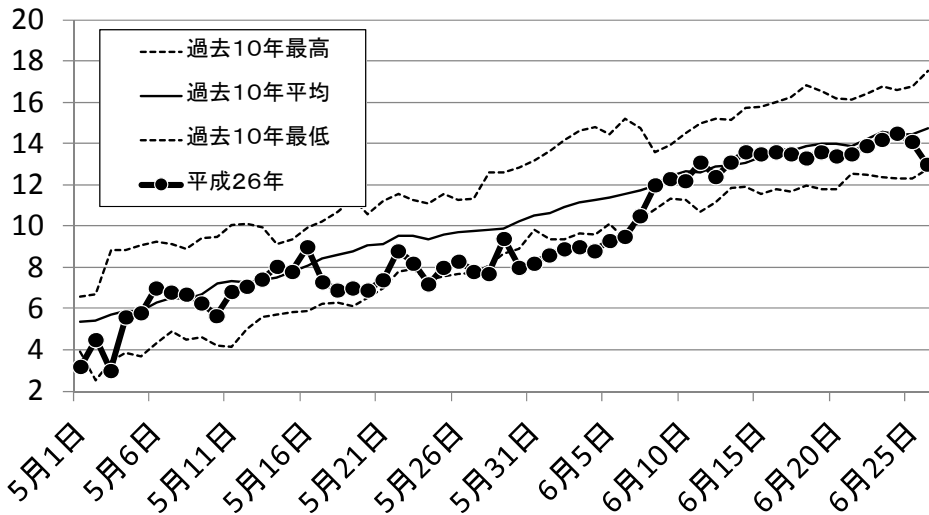
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST. 1~7) で 1,006 個/トン出現しました。殻長の山は 250~280 ミクロンにあり、付着期ラーバが 449 個 (44.6%) 出現しており、現在も付着が継続中と思われます。

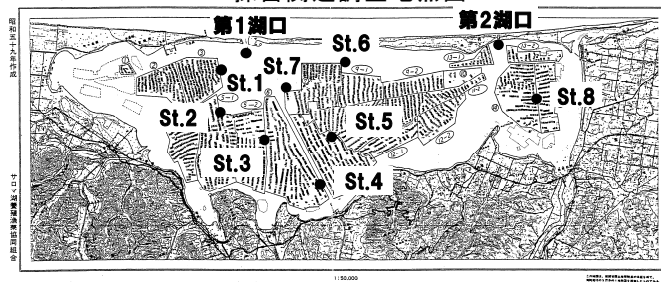
富富士沖 (ブイ3水深4m 正午) の水温は 13.0℃ と平年値をやや下回っています。次回の湖内ラーバ調査は 6月30日 (月) の予定です。

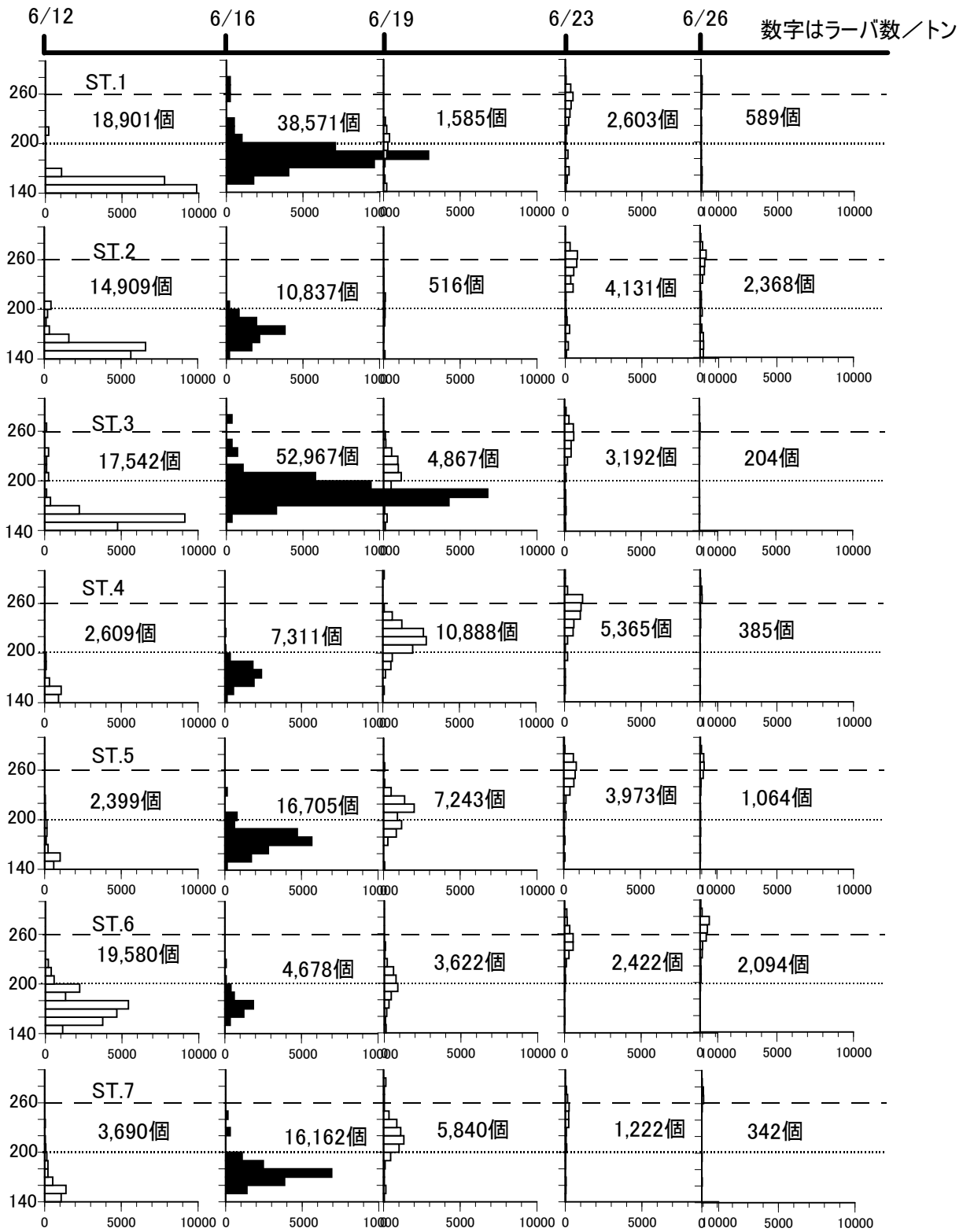


平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





◎試験採苗器による付着量調査結果

1週間の平均付着数は21,696個（1日当り3,097個）でした。

試験採苗器1袋当りの付着数（1日当り）

	ST. 2	ST. 3	ST. 4	3点平均
5/29-6/5	15個(2.1個)	31個(4.4個)	13個(1.8個)	20個(2.8個)
6/5-6/12	1,780個(254個)	728個(104個)	422個(60個)	977個(140個)
6/12-6/19	1,156個(165個)	2,712個(387個)	816個(117個)	1,171個(167個)
6/19-6/26	18,304個(2,615)	25,152個(3,593)	21,632個(3,090)	21,696個(3,097)

◎外海ラーバ調査(常呂漁協、佐呂間青年部、湧別青年部による調査)

6月26日に湧別前浜沖(紋別境界)、第1湖口沖、常呂前浜沖のラーバ調査を行いました。

湧別前浜沖では1,539~184個/トン、第1湖口沖では235~434個/トン、常呂漁港沖では249~287個/トンが出現していました。

第1湖口沖、常呂沖では付着ラーバが75~204個/トン出現していました。

常呂沖の外海水の水温(-15m)は10.3℃と1.8℃上昇し、湧別も10.6℃と1.6℃上昇しました。

本年の外海ラーバ調査は今回で終了です。

◎他地区の情報

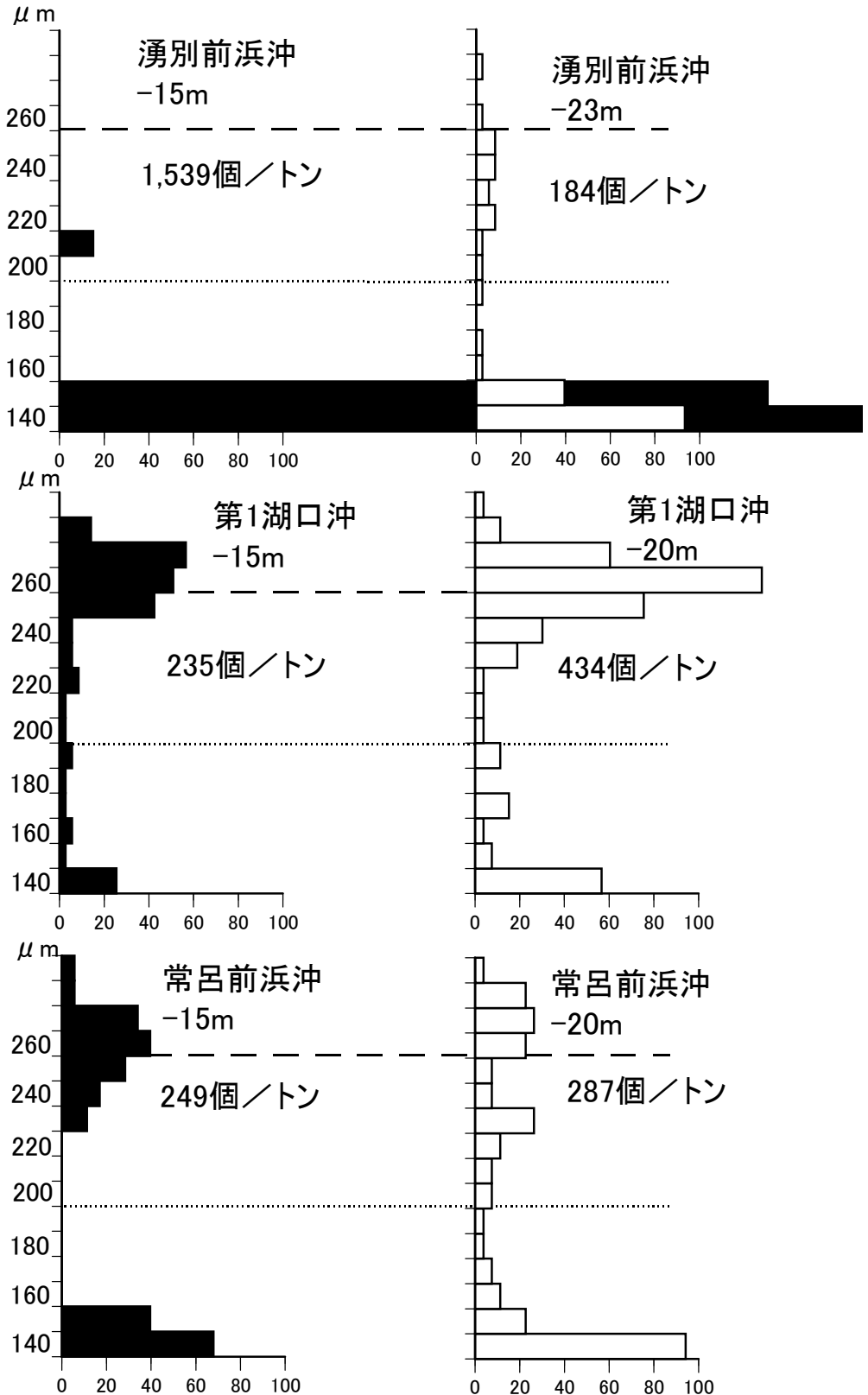
(水産指導所より提供いただいた資料より)

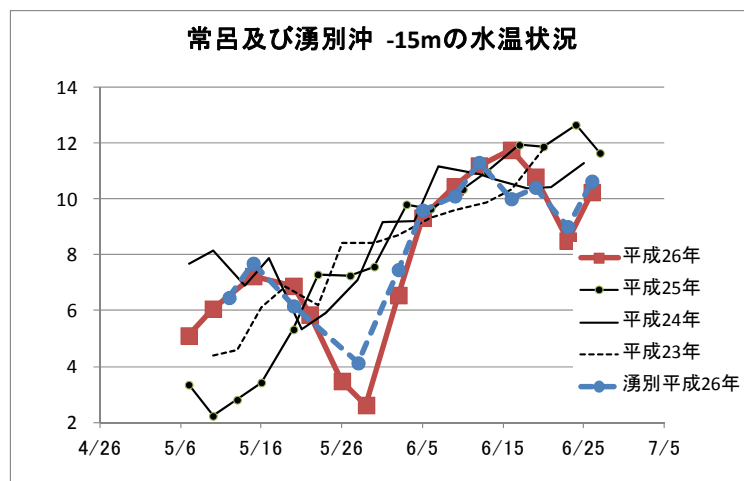
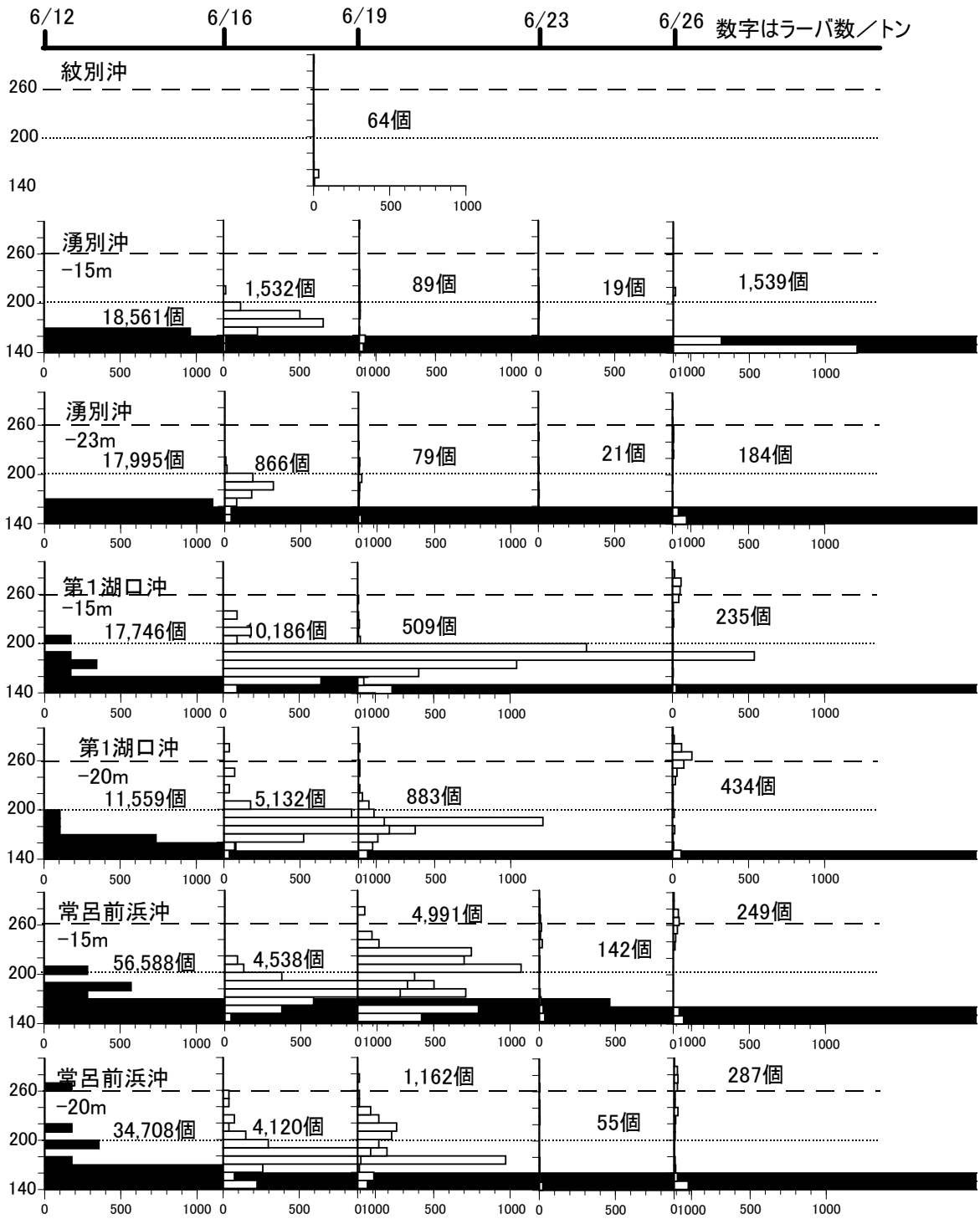
・6/23の網走では2,400個/トンのラーバ(大型が主体)が出現し、

7日間で4,816個/袋の付着がありました。

・6/24の増毛では水温が16℃台で平年より1℃高くなっています。ホタテラーバは3.5個/トン(130~300ミクロン)出現しました。

・6/23の噴火湾(長万部~森)ではラーバが38~1,223個/トン出現しています。

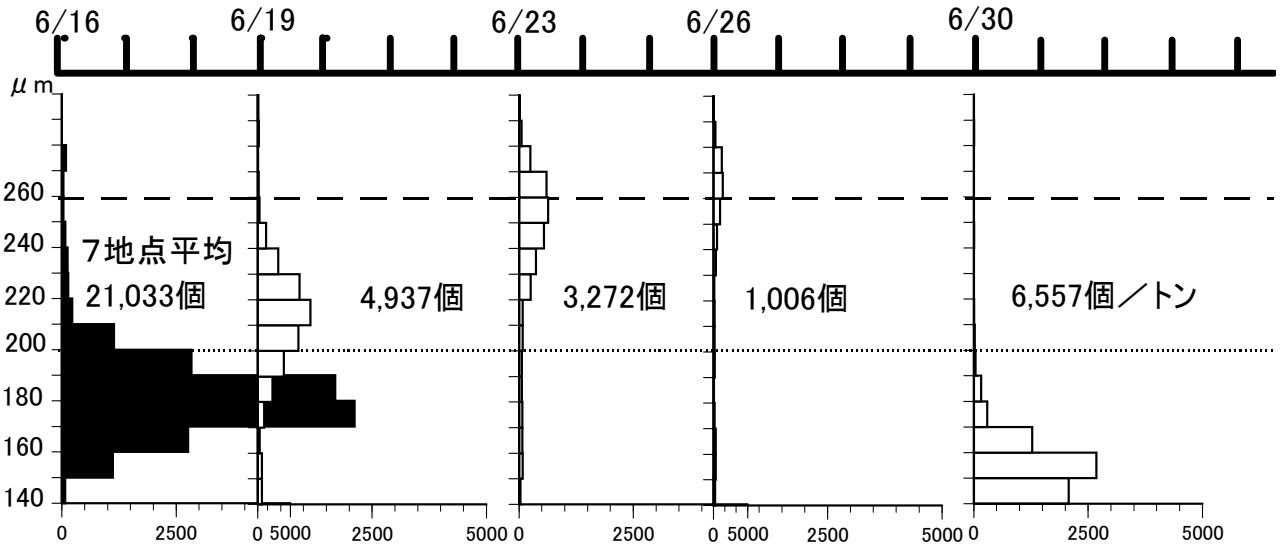




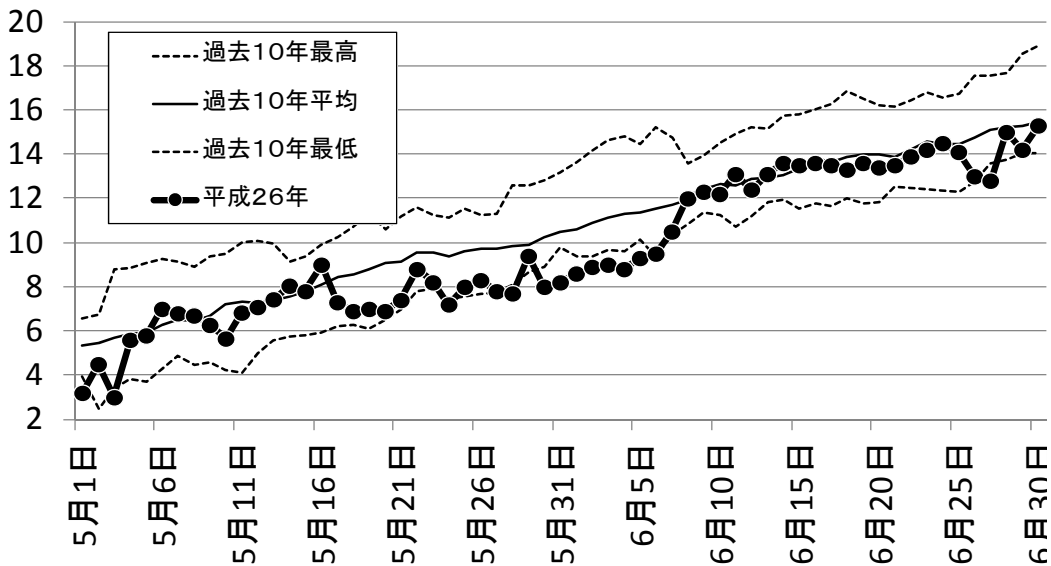
◎ サロマ湖ラーバ調査結果 (網走東部地区水産技術普及指導所、養殖組合による調査)

本日の調査の結果、ホタテラーバは湖内平均 (ST. 1~7) で 6,557 個/トン出現しました。殻長の山は 150~160 ミクロンにあり、200 ミクロン以下の小型ラーバが 99.4% を占めていました。付着ラーバ数は 5.2 個/トンで付着は一段落した模様です。

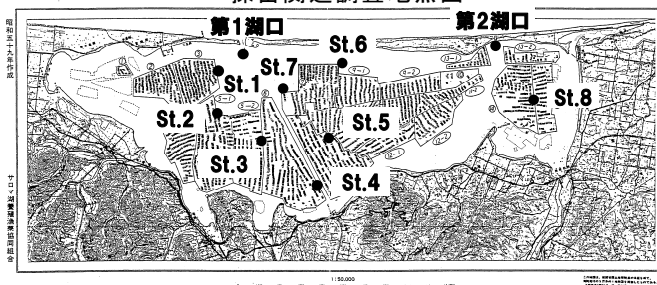
富富士沖 (ブイ3水深4m 正午) の水温は 15.3°C とほぼ平年並です。

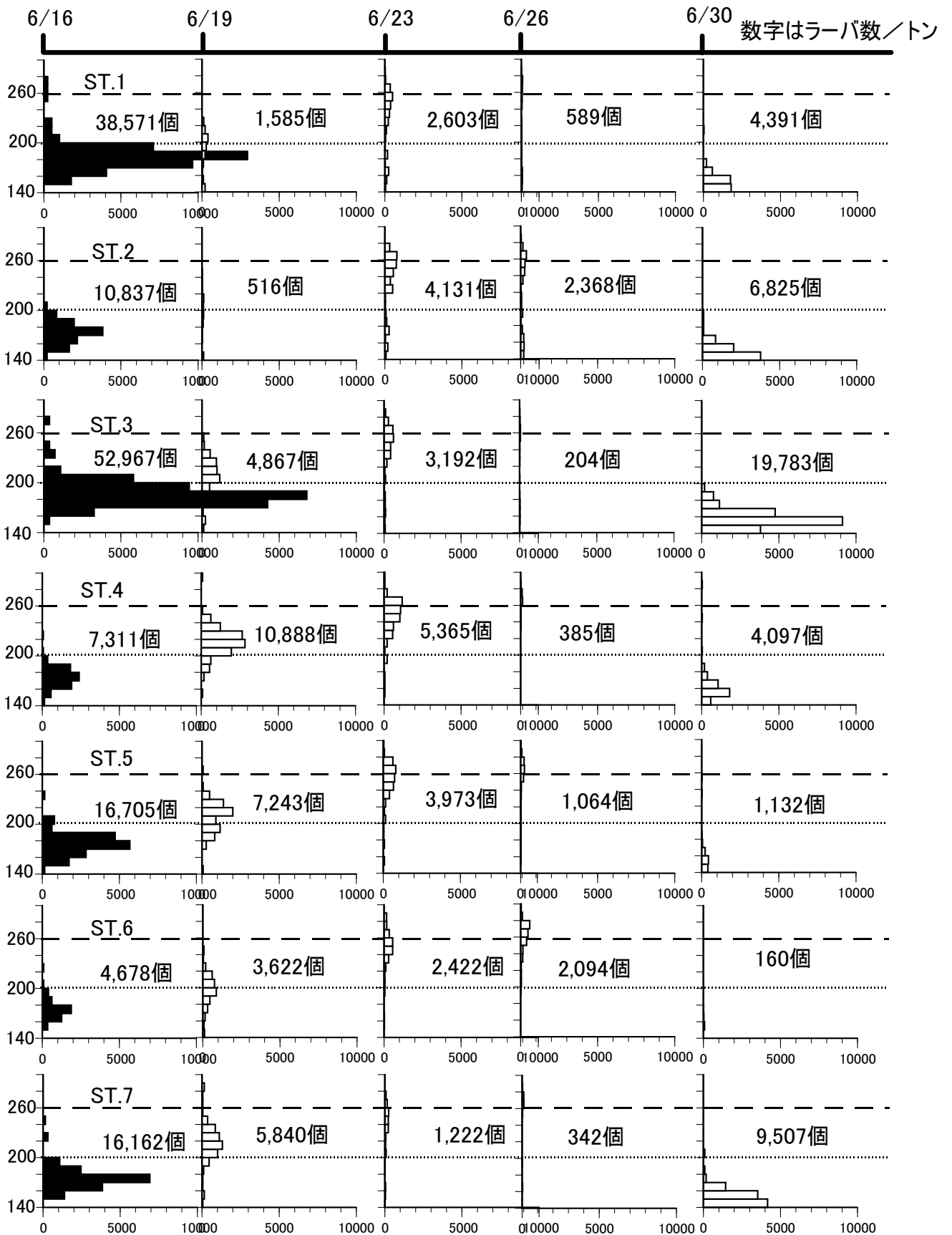


平成26年サロマ湖水温



採苗関連調査地点図





養殖センターだより (第44号)

平成26年7月2日
サロマ湖養殖漁業協同組合

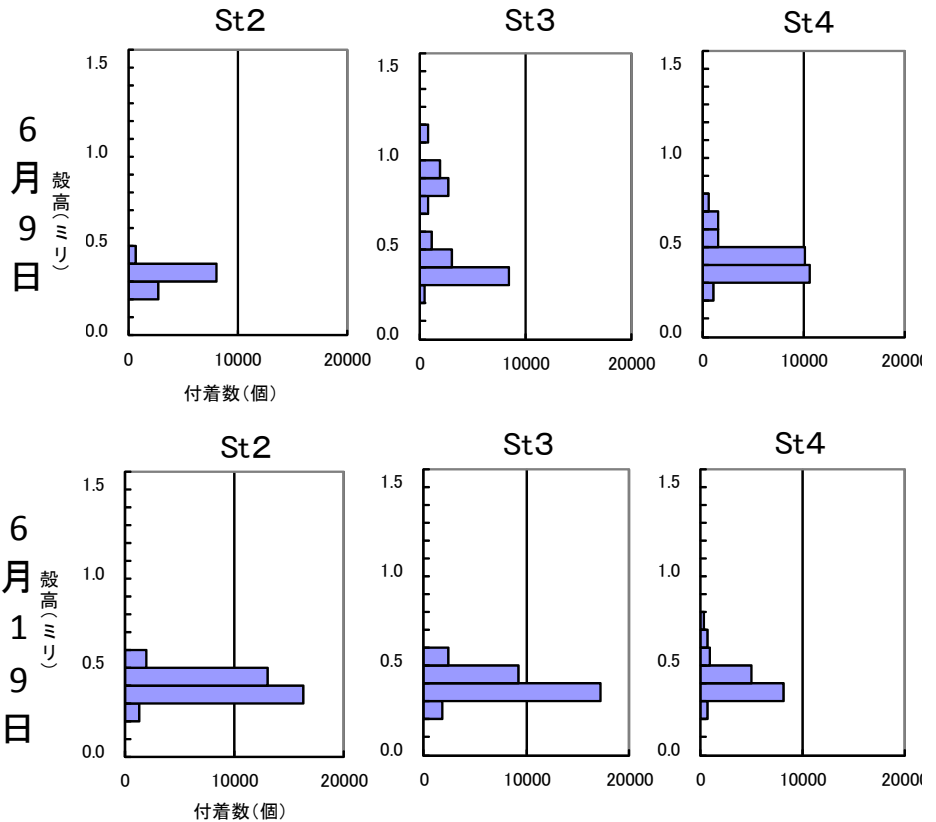
◎ 湖内試験採苗器付着調査 (7月1日引き上げ)

6月9日と19日に St. 2、3、4 に投入した試験採苗器へのホタテ付着量を調査しました。

その結果、1袋あたりの平均で 22,411 個 (11,475 個~32,459 個) の付着があり、過去4年平均の 10,735 個を大きく上回っていました。イガイの付着数は平均 397 個 (去年は 997 個) でした。また、ヒトデの付着はみられませんでした。

現在の平均殻高は 0.42 ミリで、平年 (0.68 ミリ) よりかなり小型でした。

6月末になり、フジツボの浮遊幼生数が平均 8.5 個とやや増加しています。



引上7月1日		ホタテ	イガイ	平均殻高	調査年	平均付着数	平均殻高mm
6月9日	St.2	11,475	507	0.33	平成26年	22,411	0.42
	St.3	18,987	309	0.55	平成25年	17,303	0.85
	St.4	25,227	1,083	0.43	平成24年	18,604	0.71
6月19日	St.2	32,459	240	0.40	平成23年	2,708	0.74
	St.3	30,693	160	0.39	平成22年	2,283	0.69
	St.4	15,627	85	0.41	平成21年	1,098	0.65
平均		22,411	397	0.42	21~25年平均	10,735	0.68

◎ 週交換試験採苗器による付着量調査結果

1週間の平均付着数は 10,663 個 (1日当たり 2,133 個) でした。今週は地点による付着数のバラツキが多くみられました。

試験採苗器 1袋当りの付着数 (1日当たり)

	ST. 2	ST. 3	ST. 4	3点平均
5/29-6/5	15 個 (2.1 個)	31 個 (4.4 個)	13 個 (1.8 個)	20 個 (2.8 個)
6/5-6/12	1,780 個 (254 個)	728 個 (104 個)	422 個 (60 個)	977 個 (140 個)
6/12-6/19	1,156 個 (165 個)	2,712 個 (387 個)	816 個 (117 個)	1,711 個 (167 個)
6/19-6/26	18,304 個 (2,615)	25,152 個 (3,593)	21,632 個 (3,090)	21,696 個 (3,097)
6/26-7/1	4,704 個 (941 個)	25,936 個 (5,187)	1,350 個 (270 個)	10,663 個 (2,133)

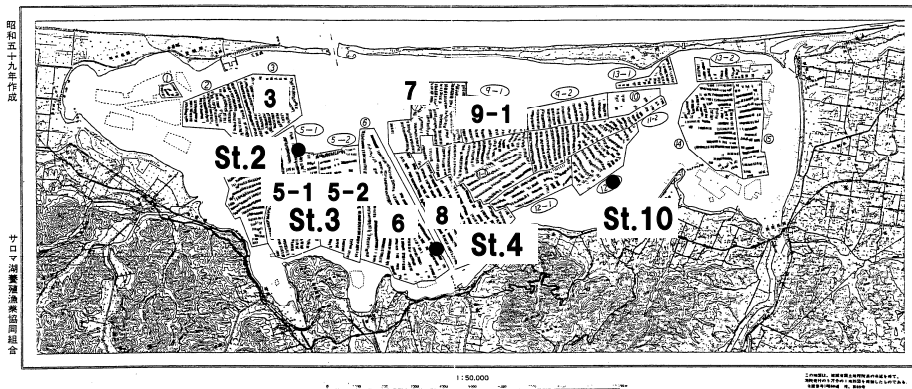
養殖センターだより（第44号）

◎ 湖内ホタテ稚貝付着調査（6月25日～7月2日引き上げ）

3組合の協力で湖内に垂下された組合員の付着量調査を行った結果、ホタテ稚貝の平均付着数は14,105個／袋（2,848～40,320個）で、垂下時期が早い程付着数が多い傾向がみられました。イガイは2,402個／袋でした。ヒトデの付着はみられませんでした。

漁場番号	投入日	引上日	垂下日数	ホタテ		イガイ	ヒトデ
				付着数	平均殻高		
3	6月1日	7月2日	31	14,304		320	0
3	6月2日	7月2日	30	16,992		800	0
3	6月5日	7月2日	27	4,800		864	0
5-1	6月6日	7月2日	26	2,848		224	0
5-1	6月7日	7月2日	25	13,536		1,408	0
5-2	6月3日	7月1日	28	40,320	0.57	20,608	0
5-2	6月10日	7月1日	21	21,376		3,648	0
6	5月31日	6月25日	25	9,344		-	0
6	6月5日	7月1日	26	24,192		1,152	0
6	6月9日	7月1日	22	14,208	0.64	1,792	0
6	6月11日	6月30日	19	13,376		192	0
6	6月14日	6月30日	16	7,008		32	0
6	6月17日	6月30日	13	6,400		64	0
8	6月20日	6月30日	10	8,768		128	0
平均				14,105	0.61	2,402	0

採苗関連調査地点図



◎成長モニタリング調査結果

7月22日に養殖ホタテガイ（赤川・床丹・三里）の成長モニタリング調査を行いました。

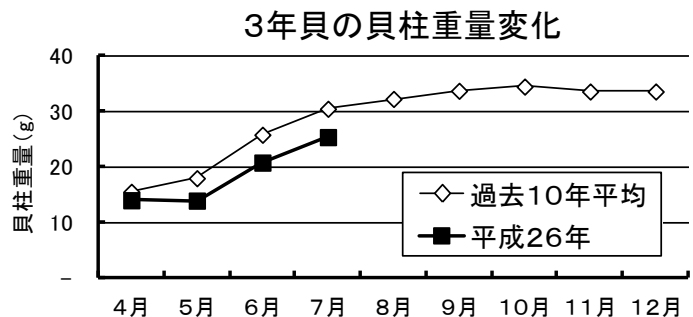
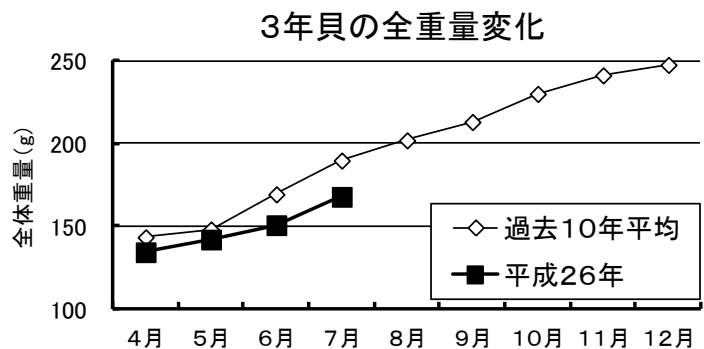
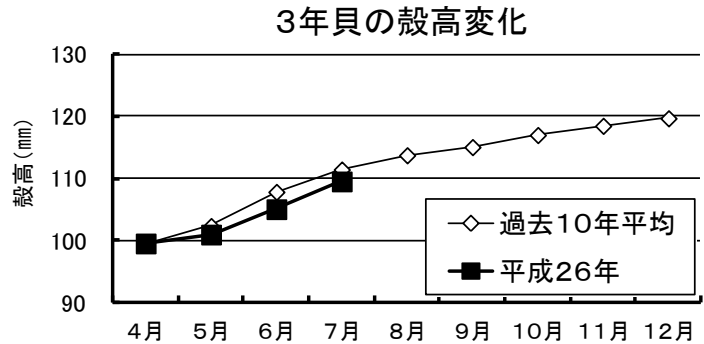
その結果、3年貝の成長は平年よりも低く、全重量で平年値189.7gに対して167.8gでした。また、それに伴い貝柱重量が低く、歩留まりも低い値でした。

2年貝は殻高で過去5年平均（74.7）よりも低い72.1mm、重量で過去5年平均（53.2）よりも低い45.1gでした。

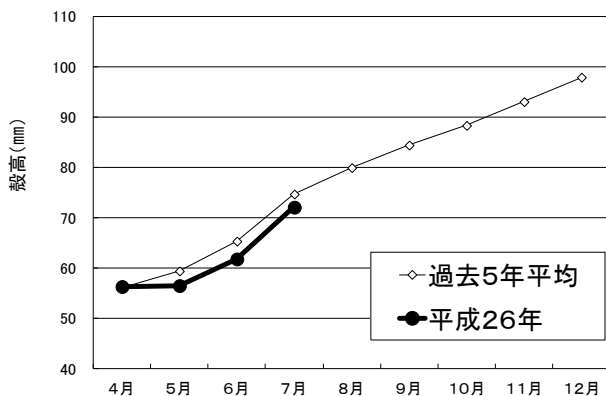
今年の養殖貝は3年貝、2年貝ともに昨年よりも成長は良いものの、依然として平年よりも低い値が続いています。

養殖3年貝のモニタリング調査結果

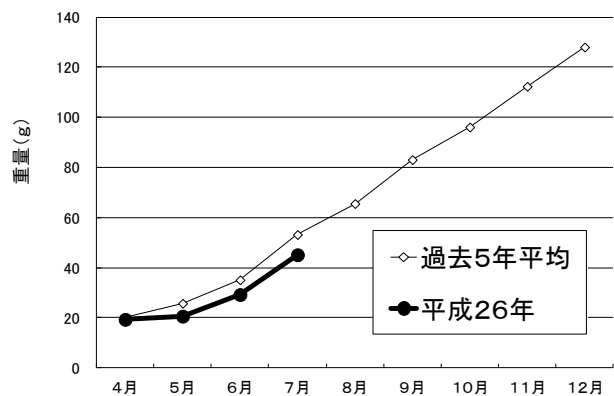
	7月(今回)	10年平均
殻高(mm)	109.5	111.4
重量(g)	167.8	189.7
貝柱(g)	25.3	30.4
歩留まり(%)	15.1	16.0



2年貝の成長状況(殻高)



2年貝の成長状況(重量)



◎ 湖内試験採苗器付着量調査結果（8月1日引き上げ）

6月9日投入の平均が6,002個／袋、6月19日投入が25,735個／袋でした。両方の平均付着数は15,869個／袋と平成24年に次ぐ過去2番目に多い付着数でした。

また平均殻高は6月9日投入

のものが2.2mm、19日投入が2.8mmと過去5年平均の3.8mmよりかなり小型でした。このうち殻高が4mm以上のものは6月9日の平均で858個、19日は2,320個、5mm以上は6月9日が410個、19日が145個でした。

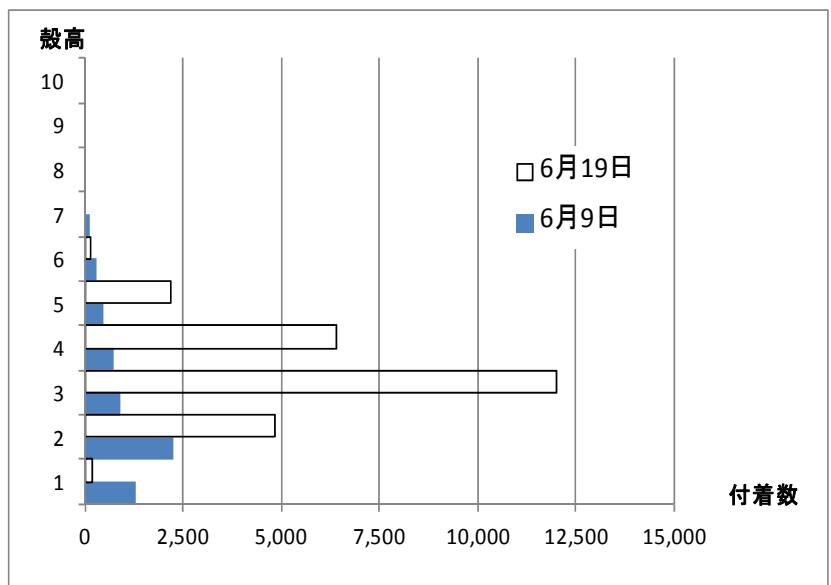
イガイの付着数は平均3,632個であり、平年程度でした。

湖内試験採苗器でのヒトデの付着はみられませんでした、ST.2でクリガニが5個体（6袋中）、ST.3で1個付着して

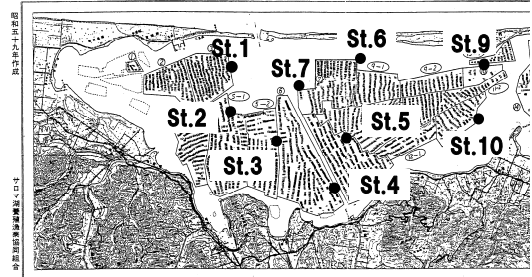
いました。ウミセミ（シオムシ：ダンゴムシに似る）も全体で9個体（18袋中）見られました。

調査年	付着数	殻高
平成26年	15,869	2.5
平成25年	12,127	4.1
平成24年	18,926	3.2
平成23年	2,710	3.4
平成22年	1,818	4.1
平成21年	727	4.1
過去5年平均	7,262	3.8

投入日		ホタテ	イガイ	ヒトデ	平均殻高
6月9日	St.2	6,528	5,152	0	2.27
	St.3	6,064	3,600	0	2.22
	St.4	5,414	1,363	0	2.14
	平均	6,002	3,372	0	2.21
6月19日	St.2	29,333	7,328	0	2.23
	St.3	26,144	1,963	0	2.61
	St.4	21,728	2,384	0	3.42
	平均	25,735	3,892	0	2.75
2014年平均		15,869	3,632	0	2.48



採苗関連調査地点図



◎ ヒトデ、クリガニ、ウミセミに注意して下さい

外海から移動して赤川沖（特に第2湖口周辺）に垂下した採苗器にはヒトデの付着が見られています。ヒトデは腕長以下のホタテを1日に10個位も食べることがありますので、注意して取り除いて下さい。

また、特に湖内西側に垂下した試験採苗器にはクリガニやウミセミの付着が見られました。クリガニは採苗器に穴を開けて侵入し、大量の稚貝を捕食します。ウミセミは小型の稚貝を捕食しますが、1日に100個程度も捕食することがあります。

仮採苗の際には、稚貝の大きさだけでなく、これら外敵生物の状況も観察して時期・方法を検討して下さい。

◎成長モニタリング調査結果

8月20日、26日に養殖ホタテガイ(赤川・床丹・三里)の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は平年よりも低く、全重量で平年値201.9gに対して175.0gでした。また、それに伴い貝柱重量が低く、歩留まりも低い値でした。

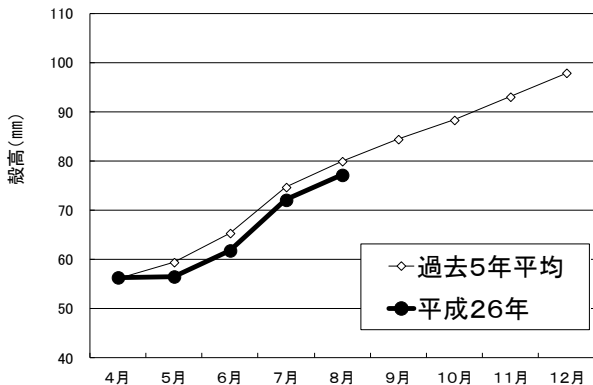
2年貝は殻高で過去5年平均(79.9)よりも低い77.1mm、重量で過去5年平均(65.6)よりも低い53.9gでした。

養殖員は3年貝、2年貝ともに依然として平年よりも低い値が続いています。

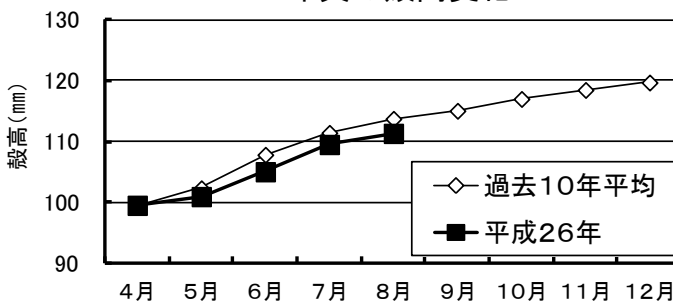
養殖3年貝のモニタリング調査結果

	8月(今回)	10年平均
殻高(mm)	111.3	113.7
重量(g)	175.0	201.9
貝柱(g)	27.4	32.2
歩留まり(%)	15.7	15.9
グリコーゲン(%)	4.8	6.3

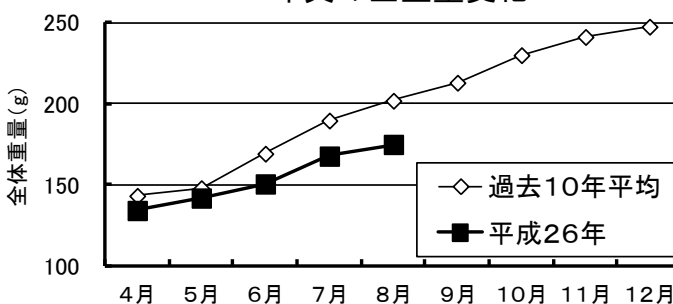
2年貝の成長状況(殻高)



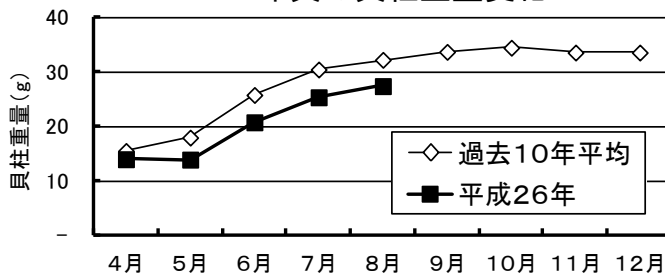
3年貝の殻高変化



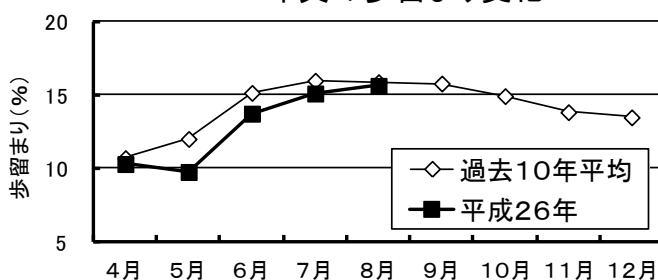
3年貝の全重量変化



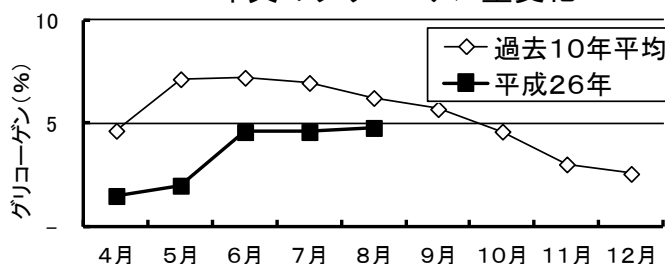
3年貝の貝柱重量変化



3年貝の歩留まり変化



3年貝のグリコーゲン量変化



◎ホタテガイ成長モニタリング調査結果

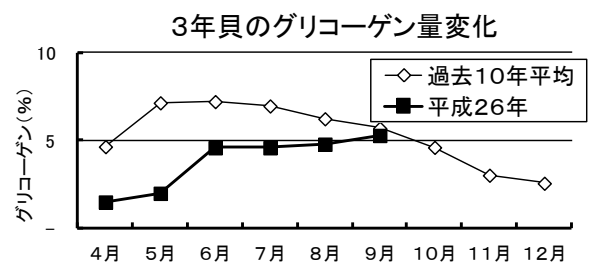
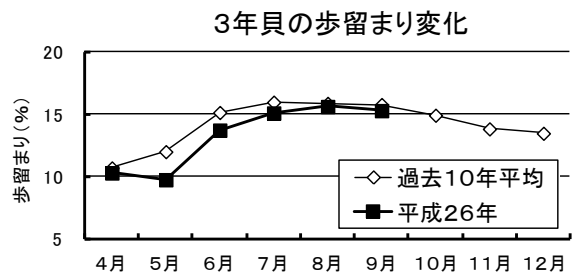
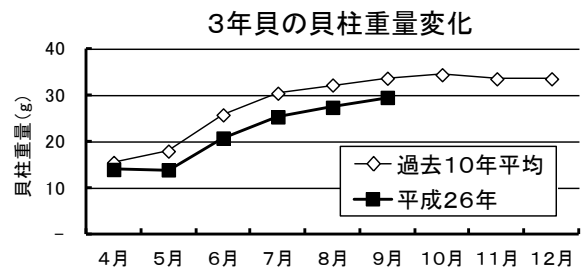
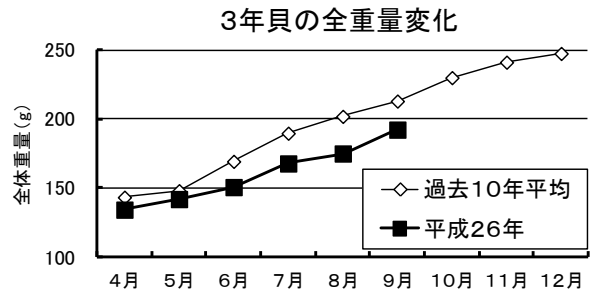
9月19日と25日に養殖ホタテガイ（赤川・床丹・三里）の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は平年よりも低く、殻高で平年値 115.1 mm に対し、112.9 mm でした。また、全重量では平年値 213.0 g に対して 192.3 g でした。さらに、貝柱重量、歩留まりも平年より低い値でしたが、グリコーゲン量は例年は徐々に低下していますが、9月の値は前回よりも増加し、平年並みになりました。

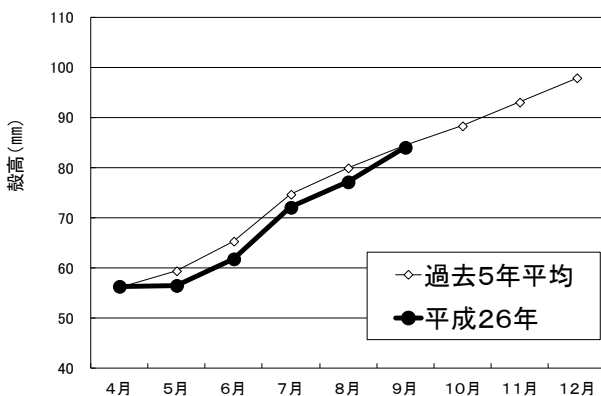
2年貝の殻高は過去5年平均（84.4 mm）並の 84.0 mm、重量は過去5年平均、（83.1 g）よりもやや低い 79.2 g でした。

養殖3年貝のモニタリング調査結果

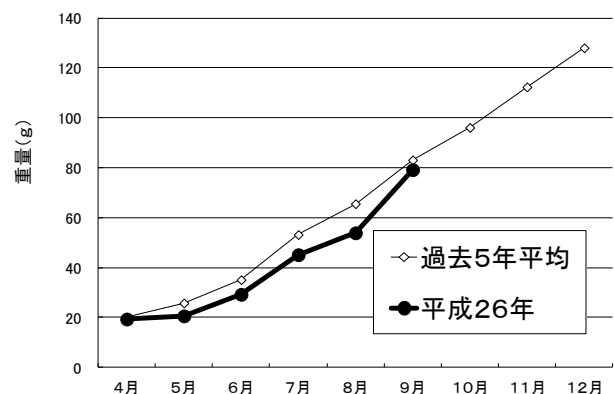
	9月(今回)	10年平均
殻高(mm)	112.9	115.1
重量(g)	192.3	213.0
貝柱(g)	29.5	33.6
歩留まり(%)	15.3	15.8
グリコーゲン(%)	5.3	5.7



2年貝の成長状況(殻高)



2年貝の成長状況(重量)



◎ 1年ガキ成長モニタリング調査結果(10月10日)

10月10日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。

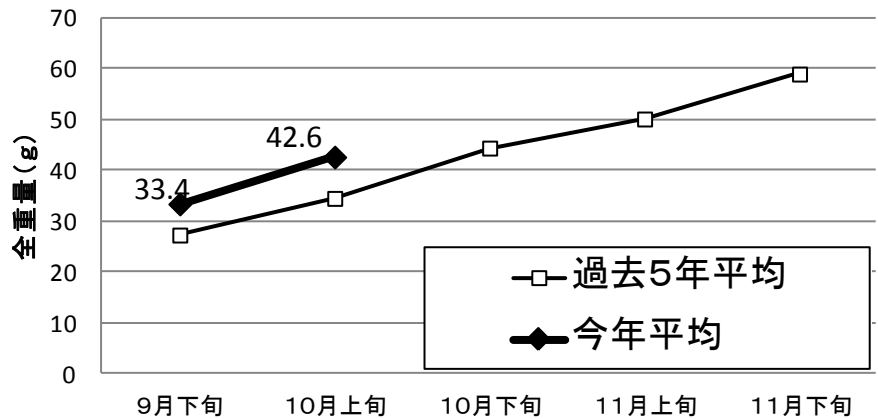
その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均(34.5g)よりも重く、42.6gでした。

軟体部重量についても前回よりも増加し、5年平均(7.8g)よりも重い10.8gでした。

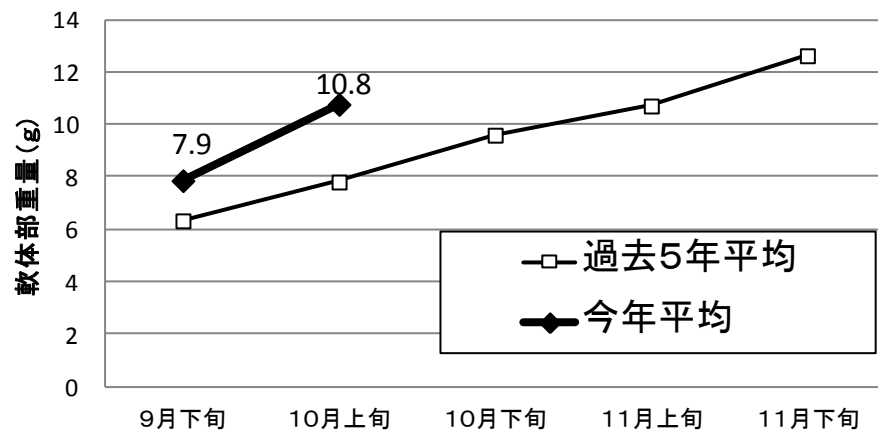
身入り具合を5段階評価した熟度(良:54321:悪)については、卵が抜けていないものが57%あり、場所による違いはありますが、全体の半数以上がまだ卵を持っていました。

過去5年における熟度変化の平均では10月下旬に卵が抜け、その後身入りしますが、今年は卵の抜けは平年並みで、成長状況は良好です。

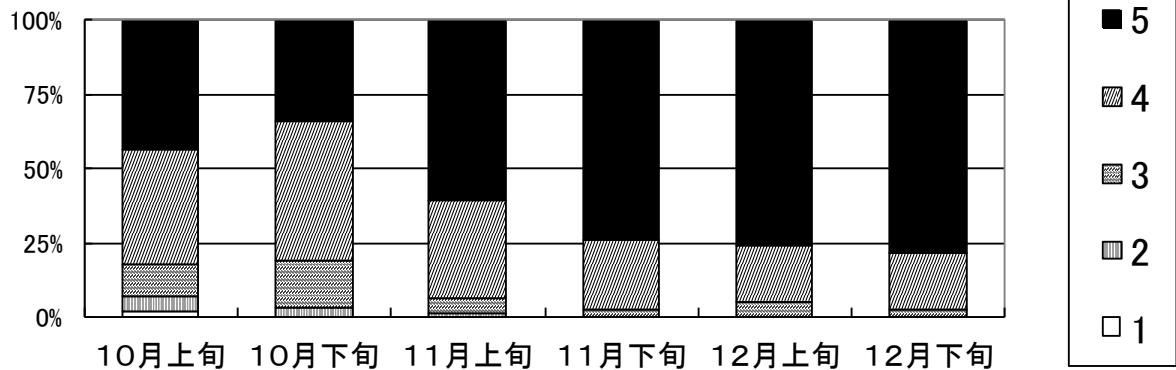
1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量



過去5年における熟度変化の平均



◎ホタテガイ成長モニタリング調査結果

10月20日と23日に養殖ホタテガイ(赤川・床丹・三里)の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は依然として平年よりも低く、殻高で平年値117.0mmに対し、112.5mmでした。また、全重量では平年値229.9gに対して205.8gでした。

2年貝の殻高は過去5年平均(88.3mm)並の86.8mmでしたが

重量は過去5年平均、(96.1g)よりもやや少ない89.4gでした。

育成稚貝については昨年よりもやや成長が悪いものの、平年並みでした。

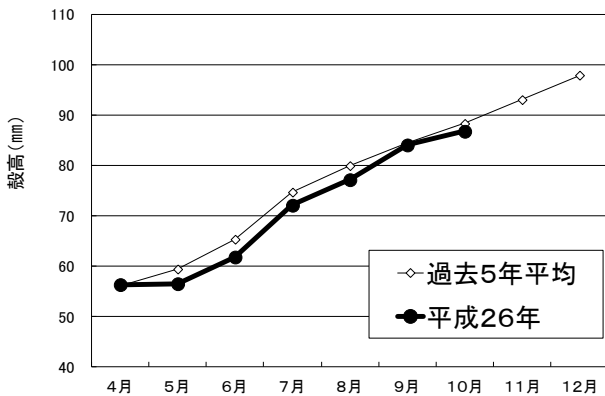
養殖3年貝のモニタリング調査結果

	10月(今回)	10年平均
殻高(mm)	112.5	117.0
重量(g)	205.8	229.9
貝柱(g)	28.7	34.4
歩留まり(%)	14.0	15.0
グリコーゲン(%)	4.0	4.6

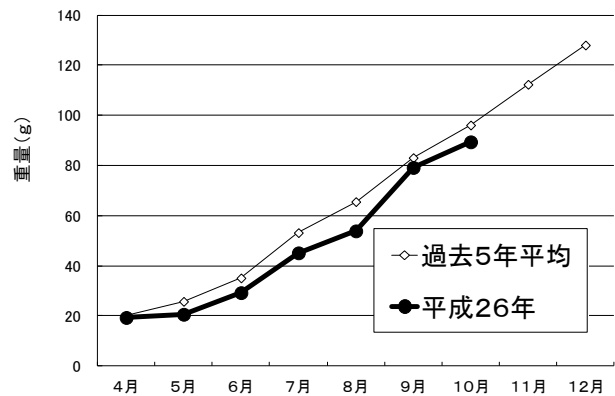
10月の育成稚貝の殻高重量

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
殻高(mm)	35.5	38.4	36.6	37.6	36.1
重量(g)	5.4	7.2	6.5	7.0	6.1

2年貝の成長状況(殻高)



2年貝の成長状況(重量)

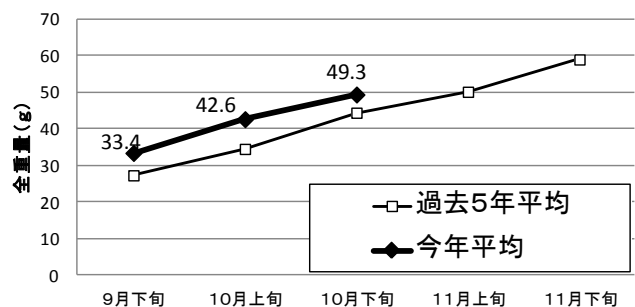


◎1年ガキ成長モニタリング調査結果(10月24日)

10月24日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。

その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均(44.4g)よりも重く49.3gでした。身入り具合を5段階評価した熟度(良:54321:悪)については、約50%が熟度5と良好でした。しかし、卵を持っている割合は前回(57%)よりも低下していたものの、依然として全体の46%で卵を持ち、高い値でした。

1年ガキの全重量



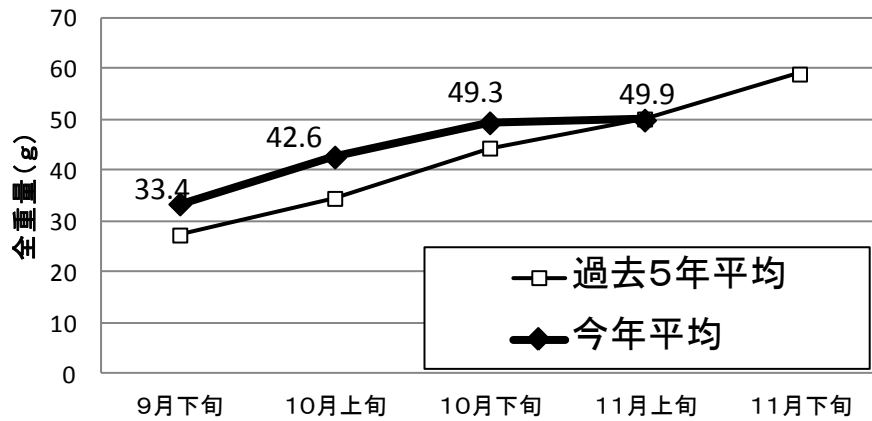
◎ 1年ガキ成長モニタリング調査結果（11月7日）

11月7日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。

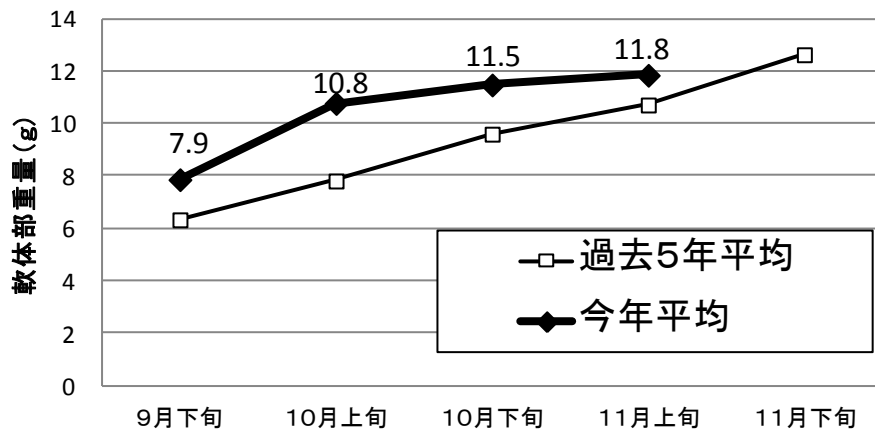
その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均（50.0g）並の、49.9gでした。軟体部重量は過去5年平均（10.7g）よりも重く、11.8gでした。

身入り具合を5段階評価した熟度（良：54321：悪）については、卵を持っている割合が前は46%だったのに対し、今回は約15%と大幅に減少していました。また、熟度5が半数以上となり、前回よりも身入り状況は良くなりました。

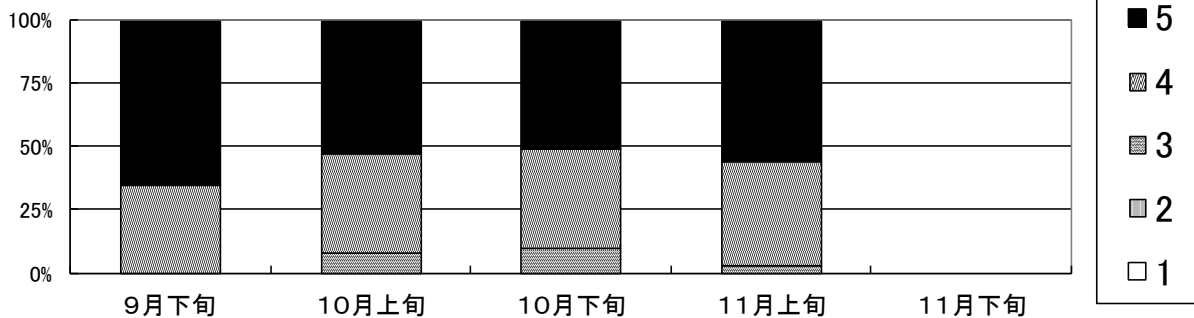
1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量



平成26年 熟度変化



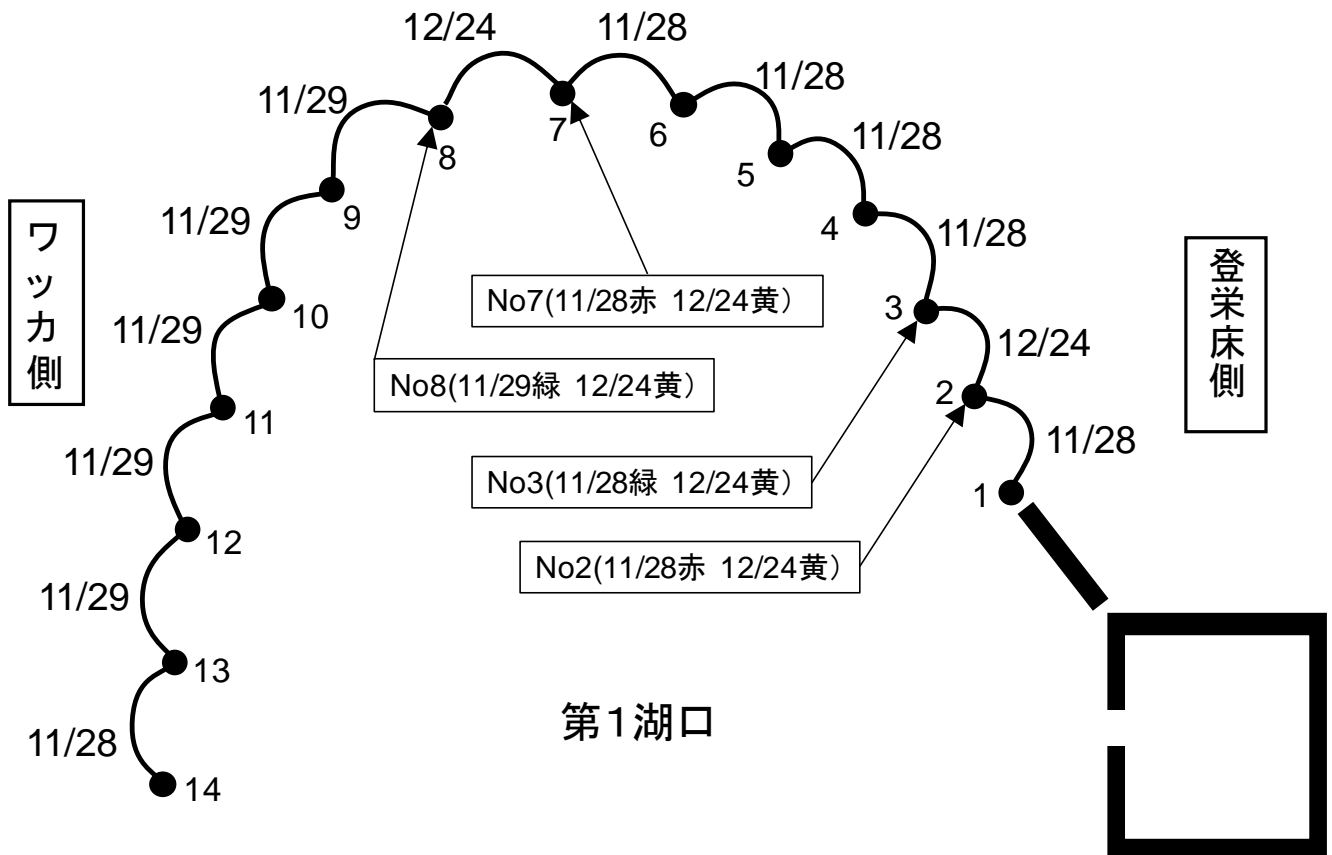
養殖センターだより (第52号)

平成26年11月17日
サロマ湖養殖漁業協同組合

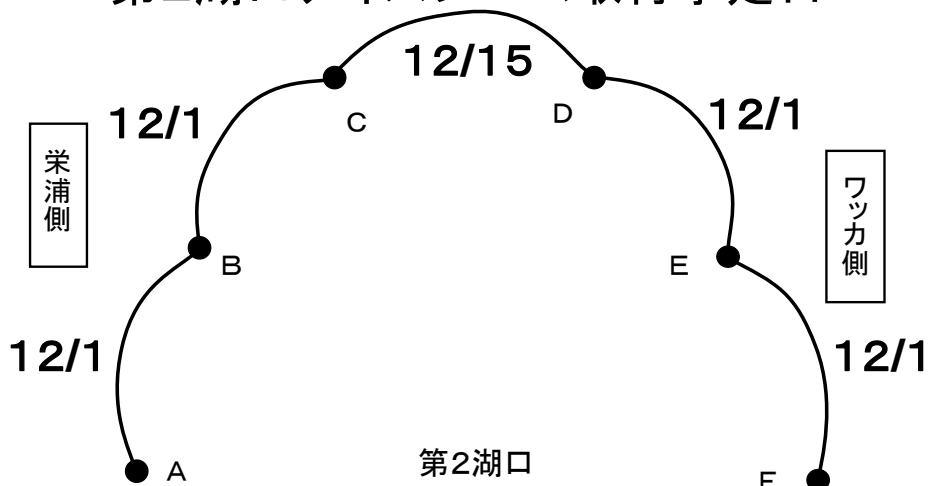
○アイスブーム取付日程について

アイスブームの取付日程は以下の通り予定しています。尚、天候により日程が変更になる場合があります。

第1湖口アイスブーム取付予定日 (標識灯切替日)



第2湖口アイスブーム取付予定日



◎ホタテガイ成長モニタリング調査結果

11月19日に養殖ホタテガイ(赤川・床丹)の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は平年よりも低く、殻高で平年値118.5mmに対し、114.0mmでした。また、全重量では平年値241.1gに対して220.1gでした。貝柱重量は平年値33.5gよりも低い値(31.9g)でしたが、歩留まりは平年値(13.9%)よりも高い14.4%でした。

2年貝の殻高は過去5年平均(93.1mm)よりやや低い91.7mm、重量は過去5年平均、(112.4g)よりも低い105.3gでした。11月の育成稚貝の殻高重量

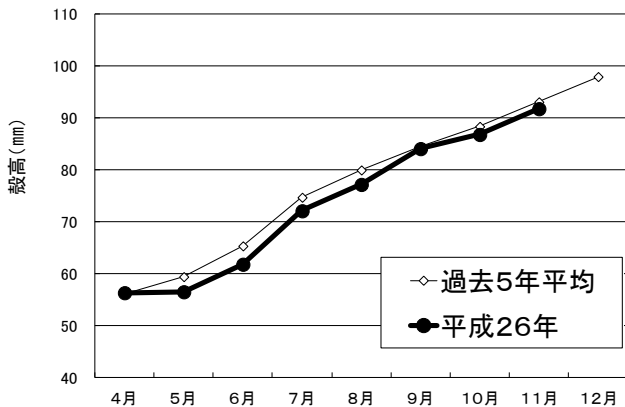
育成稚貝については昨年よりもやや成長がおそく、平成24年並でした。

養殖3年貝のモニタリング調査結果

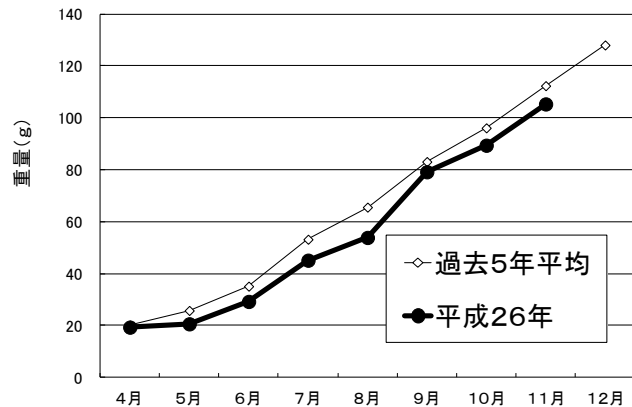
	11月(今回)	10年平均
殻高(mm)	114.0	118.5
重量(g)	220.1	241.1
貝柱(g)	31.9	33.5
歩留まり(%)	14.4	13.9

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
殻高(mm)	40.3	45.6	42.3	44.7	42.3
重量(g)	8.5	11.2	9.1	10.8	9.2

2年貝の成長状況(殻高)



2年貝の成長状況(重量)



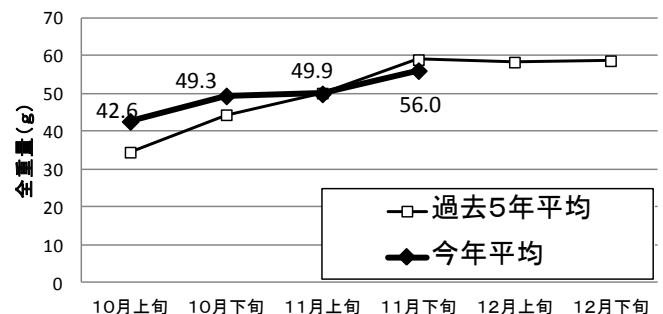
◎1年ガキ成長モニタリング調査結果(11月19日)

11月19日に1年ガキ(栄浦・富士・登栄床)の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均(58.9g)よりやや低い、56.0gでした。軟体部重量は過去5年平均(12.6g)並の、12.2gでした。

身入り具合を評価した熟度については、卵を持っている割合が前回は15%だったのに対し、今回は約4%と大幅に減少しほぼ卵は抜けました。

1年ガキの全重量



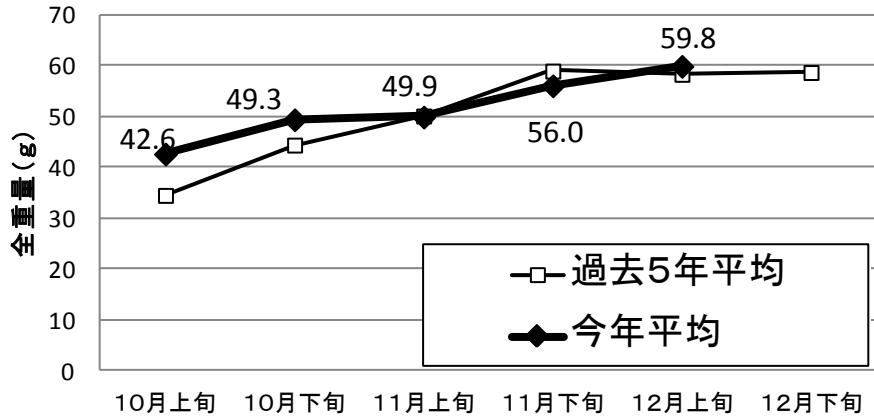
◎ 1年ガキ成長モニタリング調査結果（12月4日）

12月4日に1年ガキの成長モニタリング調査を行いました。

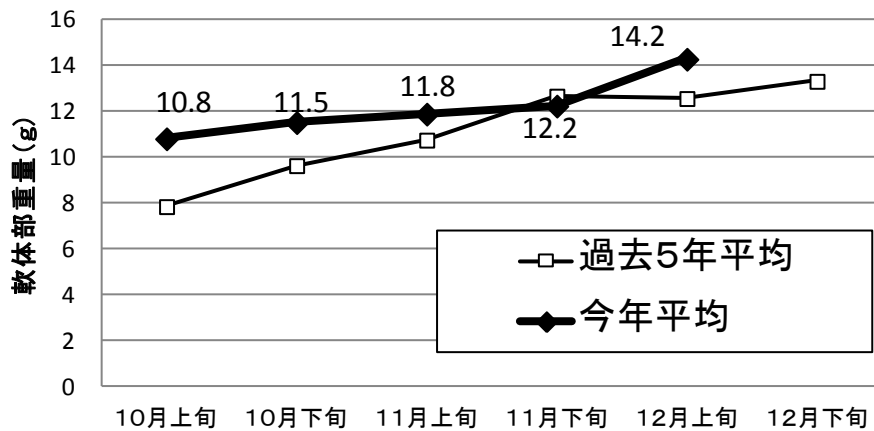
その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均（58.2g）並の、59.8gでした。軟体部重量は過去5年平均（12.5g）よりも重く、14.2gでした。

身入り具合を5段階評価した熟度（良：54321：悪）については、卵を持っている割合が前回は4%だったのに対し、今回は卵を持っていませんでした。また、熟度5が約9割となり、身入り状況はいい状態が続いています。

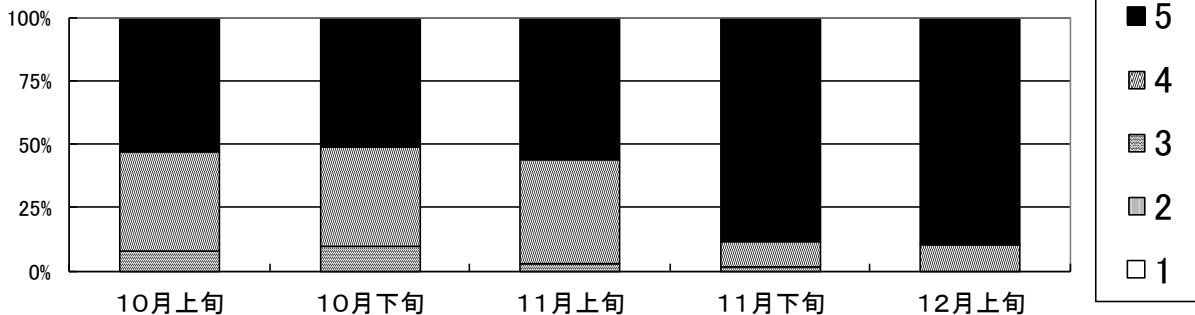
1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量



平成26年 熟度変化



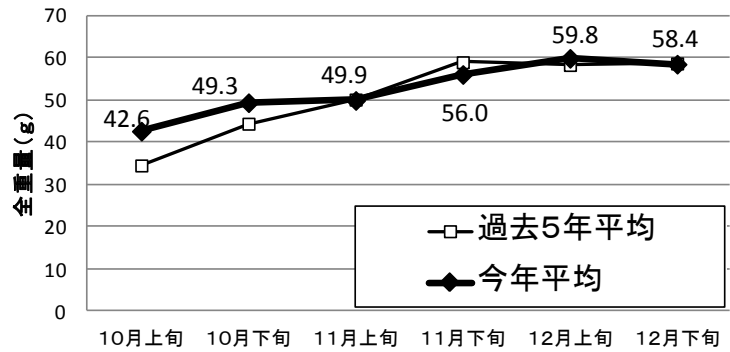
◎ 1年ガキ成長モニタリング調査結果 (12月16日)

12月16日に1年ガキ(栄浦、富富士、登栄床)の成長モニタリング調査を行いました。

その結果、1個体あたりの全重量は過去5年平均(58.6g)並の、58.4gでした。軟体部重量は過去5年平均(13.3g)よりも重く、14.3gでした。

身入り具合を5段階評価した熟度(良:54321:悪)については、熟度5が約9割となり、過去5年平均よりも身入り状況はいい状態が続いています。

1年ガキの全重量



1年ガキの軟体部重量

